

# 九州地区大学図書館協議会誌

第 56 号

2013

九州地区大学図書館協議会

## 目 次

### 【巻 頭 言】

- 図書館の入館者数減への効果的対策  
ーラーニング・コモنزの利用を促すー . . . . . 岩本 俊孝 . . . 1

### 【寄 稿 論 文】

- EigenFactor を活用した購読雑誌選定について . . . . . 寸田 五郎 . . . 3  
図書館のラーニング・コモنز化と学生にとっての居場所の共存の課題  
志學館大学図書館の場合 . . . . . 木佐木和代 . . . 6

### 【図 書 館 紹 介】

- 長崎大学附属図書館 . . . . . 11  
熊本大学附属図書館 . . . . . 15  
鹿児島県立短期大学附属図書館 . . . . . 18  
西日本工業大学図書館 . . . . . 20  
純真学園大学図書館 . . . . . 23

### 【加盟館ニュース】 . . . . . 25

### 【Library Lovers' キャンペーン 2013 実施報告】 . . . . . 52

### 【図書館活動報告】 . . . . . 57

### 【事務局報告】 . . . . . 69

### 【協議会総会記録】 . . . . . 71

### 【資 料】

- 九州地区大学図書館協議会会則 . . . . . 83  
九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則 . . . . . 84  
九州地区大学図書館協議会入会に関する細則 . . . . . 85  
九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規 . . . . . 89  
九州地区大学図書館協議会表彰規程 . . . . . 89  
研修会の補助に関する申合せ . . . . . 94  
副幹事館の役割 . . . . . 96  
九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について . . . . . 96  
加盟館一覧 . . . . . 98  
役員館一覧 . . . . . 102  
総会当番館一覧 . . . . . 106



## 図書館の入館者数減への効果的対策

ーラーニング・コモنزの利用を促すー

岩 本 俊 孝

■**図書館の役割の変化**：今、大学図書館の役割が大きく変わりつつあるようです。図書館の基本的業務は、毎年、納入手続きをして購入した雑誌や書籍に、きちんと日本十進分類番号をつけ、所定の位置に配架することでした。もちろん、貸出を記録し、かつ返却を確実にして、全書籍をあるべき場所に存在させるという管理業務もありますが。

これまで、図書館はこれらの業務さえ、滞りなく行っていれば、とくに大きな問題は指摘されませんでした。古来、図書館はあまり変わる必要のない部署であったように思います。ところが、私が2年前に宮崎大学附属図書館長に就任して以来、図書館に対する周りの期待、業務の多様化の要望は次第に大きくなってきたと、ひしひし感じています。すなわち、図書館は、単なる書籍が整理されて保管されている倉庫から、より付加価値の高い、多機能をもった施設への転換を求められていると思えるのです。これは、図書館施設の、新たな存在理由を問われてきているとも解釈できます。図書館は、書籍を並べて、受身的に来館者を待つだけの存在ではなく、どんどん新しいしかけを作り、利用者呼び込む施設に変わらなければならないわけです。

ここに至り、何故、図書館にも機能強化が求められるのでしょうか。それは、大学法人が総体として機能強化を求められていることと根は同じでしょう。どの組織も、厳しい国の財政状況の中で、あるいは少子化による競争的環境の中で、継続的に維持する価値があ

るかどうかが問われています。それをチェックする機能が、中期目標の達成度評価であり、かつ大学評価機構による認証評価です。国立大学の場合、平成27年度に第二期の中期目標期間が終わりますが、次の第三期中期目標期間ではより締め付けが厳しくなり、評価指標（数値目標）が大幅に取り入れられると言われています。図書館の場合、その努力の程度は、まずは、入館者数増で測られることになるでしょう。

■**ラーニング・コモنز**は入館者数回復の切り札か：入館者を増やす新しいしかけの一つが、中教審答申にも謳われ、かつ科学技術・学術審議会学術情報委員会答申に大々的に触れている、学生の主体的学習のための場の提供だと思われれます。平成24年度の中教審答申では、日本の大学生の勉強時間の短さを厳しく指摘し、彼らに受身的な学習姿勢を改めさせ自ら積極的に勉強させるよう、教育システムを変えなければならないと述べています。それを促す環境が、ラーニング・コモنزという、飲み物の持ち込みが自由で、グループで話し合いもできる場の整備です。このような施設は特に目新しいものではなく、すでに十数年前から、メディアセンターや、メディア教育館のような形で、都会の国立大学や大規模の私立大学のような一部の大学にはありました。しかし、ここ数年、ラーニング・コモنزの設置は大学での一種の「はやり」現象となっており、地方大学の最たるものであるわが宮崎大学でも、昨年度オープンした程

です。これにより、授業がない時間帯の学生の居場所として、またグループで学習するためのディスカッションの場として、あるいは単に自学・自習の場所として、新たな利用環境が準備されたわけです。そして、図書館全体の入館者数が大幅に増えることが期待できたはずでした。

さて、ラーニング・コモンズを設置した大学はどこでも、入館者数が飛躍的に伸びたでしょうか。宮崎大学の場合、まだ1年しか経っていないので、明確な結論は下せませんが、せいぜい減少傾向がわずかに緩やかになり、横ばい状態になった程度の効果しかみえていません。多分、この傾向はほとんどの大学で同じようなものだと思います。単に、自学・自習の場を提供する、あるいはディスカッションの場所を準備するだけでは間に合わない程の、入館者減の要因が見え隠れします。

図書館入館者数の伸び悩みなし減少の原因には大きく二つあると思います。一つは学生の活字離れ、もう一つはネットワーク環境の大幅な進展による学術雑誌の電子ジャーナル化です。この二つの要因は、実は同じ根に端を発しています。すなわち、紙媒体によるアナログ情報の価値が、相対的に下がっているということです。

**■教育組織との連携が必要**：このような、世の中のデジタル化という大きな流れの中でも、図書館の価値を上げ、かつ入館者増を達成するためには、よほどのしかけと努力が必要だと思われまます。

そのキーワードは、「教育組織との連携」でしょう。大学によって、図書館組織の位置づけは異なると思います。多くは、どの部署からも独立している組織であるか、あるいは情報部署と一緒にあった組織であるかだと思います。宮崎大学

の場合、後者です。

図書館に係わる様々な会議で何う限りでは、大学教育センターや、全学教育機構等の、教育企画・実施組織と連携が取れている図書館はそう多くないと思われまます。ラーニング・コモンズにせよ、図書の本の積極的な利用にせよ、授業あるいは学習・研究指導において、教員が図書館の空間ないし書籍の利用を積極的に学生に働きかけることなしには、学生はそう自発的に図書館の門をくぐり、そこで勉強するようになるとは思えまません。

この時、効果的なしかけは、授業で図書館の本を指定した宿題を出してもらい、グループのディスカッションを前提とした課題を科す、あるいは直接、授業でラーニング・コモンズの空間を使ってもらい、等の利用を促すことでしょう。さらに、パスファインダー等のシラバスと連携した参考図書の紹介、ラーニング・コモンズ内に授業で使う書籍や資料を配架する、あるいはアクティブラーニングが可能なようなプロジェクター、ホワイトボード、ポストイット・フェルトペン等の小道具を備えておくことも効果的でしょう。

もっと、効果的なことがあります。それはカリキュラムの改革です。宿題を課す、あるいはグループディスカッションを課すなどの授業科目を設定することです。これは、図書館組織としては、所掌外のことでしょうが、常に学内の教育改革の動きに注目し、教育組織と連携あるいは協力できる環境が図書館にはすでに揃っていることを訴えかけて行くことはできます。それが、利用者増を保証することになると思われまます。

いわもと としたか  
(宮崎大学附属図書館長)

## EigenFactor を活用した購読雑誌選定について

寸田五郎

## はじめに

宮崎大学では、2008 年から電子ジャーナルパッケージを全学共通経費で購読している。その一方で、医学分館ではパッケージ契約に含まれない外国雑誌について毎年選定調査を実施し、医学分館図書委員会で購読タイトルを決定している。2012 年は医学分館で 186 タイトルの外国雑誌を購読していた。しかし、外国雑誌の価格高騰の影響により、2013 年版選定の際に、購読金額で前年の 10% を削減することになった。このため、客観的な評価に基づき、より高評価で利用が見込まれるタイトルを選定する必要があった。

## EigenFactor について

EigenFactor (以下、E F) は学術雑誌を評価するための指標で、トムソン・ロイター社の Journal Citation Reports (J C R) に収録されている。ImpactFactor (以下、I F) と同様に文献の被引用数を元にした指標であるが、被引用文献ごとに重み付けを行って算出している点で異なる。

E F の算出方法は、グーグルが検索エンジンに用いているページランクと同様の原理による<sup>1)</sup>。ページランクでは、多くのページからリンクされている場合に評価が高くなり、リンク集のように多くのページへリンクしている場合に評価が低くなる。また、高い評価を得ているページからリンクされるとより評価が高くなる。E F でも、「被引用が多い雑誌

は重要度が高い」「引用する雑誌が少ないほうが重要度が高い」という点が反映されるように設計されている。

一般に、I F の欠点として以下の点が指摘されている<sup>2)</sup>。

- ・収録論文数が少ない雑誌で I F が高くなりやすい
- ・Review 誌の I F が高くなりやすい
- ・分野によって偏りがでる

E F では、これらの欠点が克服されているとされる。ただし、分野の偏りについては、引用の対象期間が原因との指摘がある<sup>1)</sup>。I F では過去 2 年分の引用を元にして算出するのに対して、E F では 5 年分である。分野間で査読速度、論文刊行速度に差がある場合、対象期間が短い I F では分野間で偏りが出やすいが、E F では対象期間が長い影響が小さくなる。

## なぜ EigenFactor か？

購読雑誌の選定にあたっては、以下の要件があげられる。

- ・客観的な評価に基づく
- ・高い評価を得ている雑誌を選定する
- ・より多くの利用が見込まれる雑誌を選定する

## 客観的な評価に基づく

雑誌を評価するために、I F や E F などの指標が候補としてあげられる。これらの指標

は、論文の引用・被引用関係のみに基づいて算出される。人間による評価が加わっていないため、客観的な評価といえる。

### 高い評価を得ている雑誌を選定する

IFでは、収録論文数が少ない雑誌やReview誌が高くなりやすい。このような問題点をさけるため、EFを用いるほうが適切と判断した。

### より多くの利用が見込まれる雑誌を選定する

一般に、雑誌の被引用数が多いほど多くの利用があると考えられる。EFと被引用数の間には強い相関があることが指摘されている<sup>3</sup>。

図1は、「Pediatrics」カテゴリに分類されるタイトルの被引用数を、EFの高い順に並べたものである。高い順位では被引用数が非常に高いが、順位がさがるにつれて被引用数が急激に減り始め、下位のものは被引用数にほとんど差がなくなっている。他のカテゴリにおいても同様の傾向が見られる。

図2は同様にしてIFの高い順に並べている。EFの場合に比べると、下位のタイトルでも被引用数にばらつきがある。このため、EF順で順位が高いものを選択することで、少ないタイトルで多くの被引用文献をカバーすることができ、効率的であるといえる。

図1に見られるように、各カテゴリのEF順で上位10~20%を境に被引用数が急激に下がっている。このため、EF順で上位10~20%を基準に継続・中止することで、被引用数の点で影響は比較的少なくなるように選定することができると思われる。

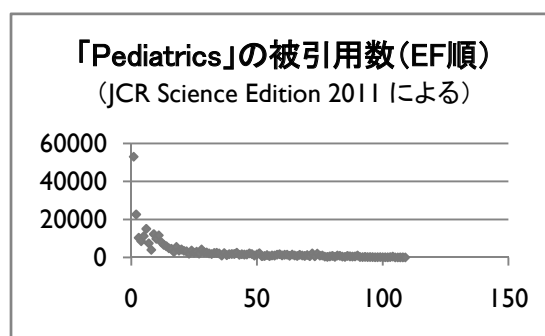


図1 「Pediatrics」カテゴリの被引用数（EF順）

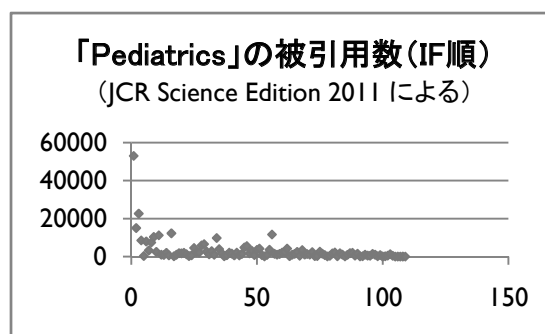


図2 「Pediatrics」カテゴリの被引用数（IF順）

### 選定方法

医学分館図書委員会で、EFを用いた外国雑誌選定方法を協議した。選定にあたっては、個別の雑誌や大学の状況も考慮すべきとの意見があった。例えば、本学の研究者による投稿が多い雑誌は継続すべきとの意見があった。また、そもそもJCRに収録されていない雑誌については、EFが算出されていないため、EFをもとにして選定することができない。

まず2012年購読中タイトルのうち、JCRのカテゴリ毎にEF順で上位20%以内に含まれているタイトルを継続することとなった。例えば、「Pediatrics」というカテゴリには109タイトルが分類されている。109タイトルをEFの高い順に並べ、109タイトルの20%にあたる上位21タイトルまでに含まれている購読中タイトルがあれば、継続タイトルとして選定した。なお、複数のカテゴリに分類

されているタイトルは、少なくとも1つのカテゴリにおいてE F順で上位 20%に含まれていれば、継続タイトルとして選定した。

上記の方法で2012年購読中の186タイトルのうち、116 タイトルを継続することになった。選定されなかった残り 70 タイトルについて、講座等を対象に選定調査を実施し、その結果をもとに医学分館図書委員会で協議し、最終的に継続するものとして155 タイトルを選定した。

### おわりに

外国雑誌購読タイトル数の大幅な削減にあたって、E Fによる方法と従来の希望調査による方法を組み合わせて選定をおこなった。選定にあたって利用者の理解を得るためには、E Fのような客観的なデータと根拠を示すこ

とが重要であると考える。

### 参考文献

1. 増田, 直., アイゲンファクターを知る. *統計数理* 2013, 61 (1), 147-166.
2. 中西印刷株式会社 Eigenfactor (アイゲンファクター) とは.  
<http://www.nacos.com/pdf/eigenfactor.pdf>.
3. 佐藤, 翔., 学術情報をめぐる新たな評価指標 : Impact Factor, h-index, Eigenfactor, Article Influence, Usage Factor. *薬学図書館* 2009, 54 (2), 121-132.

すんでん ごろう  
(宮崎大学附属図書館)



## 【図書館のラーニング・コモンズ化と学生にとっての居場所の共存の課題】 志學館大学図書館の場合

木佐木和代

### はじめに

本学の図書館が大きく変化したのは、1996年の図書館システム導入からである。それ以来図書館は、OPACの利用や用語・事項の検索手段の提供、更にデータベースや電子化資料へのアクセス手段の提供など、新しい情報資料に対応する「空間」「設備」「資料」「サービス」の提供により、自らを変化させてきた。これらの変化により学生にとっての図書館という場所の意味も変化してきたことは言うまでもない。

本論では、2012年中教審「質的転換答申」で強調されている「大学教育の質的転換による学生の能動的な学習」を受けて、本学の図書館が取り組もうとしているラーニング・コモンズの環境整備を紹介する。その上で、本学の学生にとって図書館という場所が、「資料を利用する」「自ら学習する」という古典的な意味だけでなく、「学びの交流」という面と、「くつろげる」「居場所となる」という面を両立させる場所となることを求められていることを述べる。

### 1. キャンパス移転による環境の変化

本学は、2011年4月に霧島市から鹿児島市へ移転した。移転前は、緑に囲まれた広大な敷地にある郊外型キャンパスであり、静かな学習環境の提供はできたが、交通の利便性や市街地までの距離などの面では、学生にとっての魅力に欠けていた。図書館は3階建ての

独立館で、総ガラス張りの天井の高い、明るくて落ち着いた雰囲気のある場所であった。各階とも仕切りのないワンフロアに書庫、閲覧席、学習席、ソファがあり、ゆったりとしているものの、仲間同士での談話やグループ討議ができる場所はなかった。

30名前後が利用できる演習室は2室あったが、通常は施錠されており教室や会議室として利用されることが多かった。開館時間は、主な通学手段のスクールバスの運行に合わせた時間であった。

移転後のキャンパスは、市街地の高台にあり、敷地や校舎は狭くなったものの最寄りの駅やバス停までの距離が近く、住宅が隣接する都市型キャンパスである。学生は交通手段や時間に拘束されず、授業、課外活動、アルバイトなど個々の活動を行っている。その結果、学生数は移転後3年間で1.36倍に増えている。校舎は、学園併設校の旧校舎に耐震工事と必要最小限の改修を行ったもので、大学施設の配置を既存の建物にあわせる形での移転であった。図書館は、講義室・研究室・カフェテリア・事務室などがある本館の地下1・2階に位置し、カフェテリアのすぐそばの階段から出入りする構造となっている。

移転前の2010年の調査で「移転後の図書館にあったらよいと思う場所・設備・サービス」についての自由記述の回答結果は、表1-1と表1-2のとおりであった。

表 1-1. 「移転後に図書館あったら良いと思う場所・施設・サービス」(学部生)

場 所	談話室・グループ学習室・自習室 飲食のできる場所・落ち着いた読書のできる場所
設 備	レポートで使えるPC・駐輪場・携帯電話の充電器・無料コピー機・本の入荷等が確認できる電子掲示板
サービス	日曜開館・本の企画展示コーナー ネットからの本の予約

表 1-2. 「移転後に図書館あったら良いと思う場所・施設・サービス」(大学院生)

場 所	飲食スペース・集中して勉強できる部屋・資料を読む個室・リフレッシュできる部屋・PCが利用できるスペース
設 備	専門書や雑誌が少ない
サービス	学部生への相互利用の指導頻度を増やしてはどうか 各階への館員の配置

学部生、大学院生を問わず個別に利用できる空間を求めていたことがわかる。サービスについては、学部生が空間や時間に関する事柄を挙げているのに対して、大学院生は人に対する支援を挙げているところが注目される。大学院生が求める学部生時代の利用指導は、移転後は心理臨床学科3年に対して教員と連携し、ゼミ単位で相互利用や論文検索などの講習会を実施している。各階への館員の配置や日曜開館は、図書館員の人数から考えると難しい。

移転後の図書館の構成は表2のとおりである。

表 2. 移転後の図書館の各ゾーンと内容

	名称	内容
地下一階	学生ラウンジ	新聞・寄贈雑誌・視聴覚席(12)・PC席(10)・談話席(38)
	グループ学習	グループ学習室(3)
	書庫・閲覧	事務室・カウンター・購入雑誌・参考図書・コピー機・自動貸出機・情報検索用PC・書庫
地下二階	書庫・閲覧1	閲覧席(40)・書庫・集密書庫
	書庫・閲覧2	閲覧席(6)・書庫
	書庫・閲覧3	閲覧席(12)・情報検索機(1)・書庫・グループ学習室(1)

表2の要望について新キャンパスでは、学生ラウンジを設置した。飲食のできるスペースについては、カフェテリア(学生食堂)が隣接しているので、あえて図書館内に設置する必要がないと判断し、蓋付の容器に入った飲み物の飲用のみを許可している。なお、個室の設置は、十分な広さの確保が難しいため断念せざるを得なかった。

図書館の施設面積の詳細は表3のとおりである。

表 3. 移転前と移転後の図書館施設と面積

	旧図書館	現図書館
管理(事務室等)	170.37 m <sup>2</sup>	39.74 m <sup>2</sup>
書庫・閲覧	1761.51 m <sup>2</sup>	1147.53 m <sup>2</sup>
演習室	98.80 m <sup>2</sup>	
グループ学習室		64.40 m <sup>2</sup>
視聴覚コーナー	79.92 m <sup>2</sup>	42.75 m <sup>2</sup>
PCコーナー	11.40 m <sup>2</sup>	43.22 m <sup>2</sup>
その他	197.30 m <sup>2</sup>	871.36 m <sup>2</sup>
総計	2319.30 m <sup>2</sup>	2209.00 m <sup>2</sup>
閲覧席	256 席	248 席
収容冊数能力※	132,200 冊	148,400 冊

(※収容冊数能力は90cm棚に25冊で算出)

移転後の総面積は狭くなったが、集密書架の導入により収容冊数能力は増加している。自由に使えるPCを10台配置したPCコーナー、談話席、新聞コーナー、視聴覚コーナーを、書庫、閲覧席、学習席から離れた場所に学生ラウンジとしてゾーニングした。また、旧図書館にはなかった大小3つのグループ学習室を新たに設置した。

グループ学習室は、狭く閉鎖的なイメージになるのを避けるために透明な仕切りにした。これは、環境面だけではなく、室内で活動する学生と通路を移動する学生との間に「見る」と「見られる」という関係を作り、互いの波及効果を期待したものである。グループ学習室の利用条件は、二人以上での利用、申込台

帳への記入および食べ物の持ち込み禁止のみである。目的や時間の制限は設けていない。このように利用制約が少ないため、授業やゼミ、サークルや友達同士など様々な単位が、勉強会、模擬授業、研究発表、打合せなど様々な目的で利用している。グループ学習室の利用状況は、目的別では「勉強会」が77%を占め、部屋の大きさでは、5～6名で利用できる小規模の部屋が80%を占める。

## 2. 「図書館の利用しやすさに関する調査」

移転前の2010年8月に旧キャンパスにおいて、私立大学図書館協会九州地区研究会が開催された。その際に筆者が「学生をひきつける図書館づくりーキャンパス移転を機にー」の演題で事例発表を行った。事例発表を行うにあたり、来館学生を対象とした「図書館の利用しやすさに関する調査」を実施した。同調査は、図書館の「空間」「施設」「資料」「サービス」について学生がどのように感じているかを知り、「学生にとっての図書館の意味」という観点を「滞在型図書館」の取組みへ反映することを目的としたものであった。移転後の2011年と2012年にも年1回ずつ学生がどのように感じているかの追跡調査を実施した。

本論では、移転前の2010年と移転後2012年の調査結果を中心に比較する。調査項目のうち、「今日の来館目的」「よく使う場所」の調査結果は、表4と表5のとおりである。いずれも複数選択可で全回答数に対する割合を示し、回答が多かった上位3項目を示した。

表4. 「今日の来館目的」

来館目的/調査年度	2010	2012
本を探す・借りる・返す	40%	49%
勉強	21%	18%
休憩・休息	12%	7%

表5. 「よく使う場所」

来館目的/調査年度	2010	2012
1人掛け学習机	23%	22%
本棚	22%	16%
OPAC検索端末	12%	7%
PCコーナー	1%	13%
4～6人掛け閲覧席	10%	6%

表4では、選択が多かった上位3項目は「本を探す・借りる・返す」「勉強」「休憩・休息」で変化はないが、詳細を見ると、「本を探す・借りる・返す」が移転後9%増加して、「勉強」「休憩・休息」が減少している。しかし、表5「1人掛け学習机」の割合が、移転前とほぼ変わらないことから、移転後は「勉強」や「休憩・休息」場所としての利用が減少したと判断することはできず、今後の推移を見守りたい。表5「PCコーナー」が移転前より突出して割合が伸びていることがわかる。1章で述べたように、PCコーナーは学生ラウンジにあり、移転前に比べ台数が2倍に増え、利用目的や時間制限などなく自由に使えるため、このような結果になったと思われる。移転後の図書館では、PCコーナーは滞在型の図書館として重要な場所の一つである。

表4の「休憩・休息」は選択が多かった3項目の一つではあるものの、移転後は1桁の割合で、ここから「くつろぐ」場所としての数値を読み取ることは難しい。そこで、移転後の2011年の調査から項目として追加した「あなたにとっての場所（図書館）の意味」に着目する。回答結果は表6のとおりである。

表6. 「あなたにとっての場所（図書館）の意味」

場所の意味/調査年度	2011	2012
勉強する場所	41%	27%
調べたり本を読んだりする場所	38%	28%
くつろげる場所	16%	21%
大学でひとりになれる場所		18%

いずれも複数選択可で全回答数に対する割合を示し、回答が多かった上位4項目を示した。注目するところは「くつろげる」の割合である。「今日の来館目的」(表4)では低い値であった「休憩・休息」に対応する「くつろげる場所」の割合が高い値を示している。調査当日には、「くつろぐ」場所として1割程度しか利用していないが、日常的には、図書館は「くつろげる場所」と考えていることがわかる。移転により必要な機能空間の確保のために、空間配置にゆとりや遊びが少なくなったことが理由であろう。また、2012年の調査で回答項目として「大学でひとりになれる場所」を追加した。この質問項目は、「くつろげる場所」とはまた違った意味をもつ。協同学習の場の必要性が叫ばれる中で、他者とのコミュニケーションがうまくとれない学生が増えているという事実がある。集団の中にいることに疲れた時、狭いキャンパスでどこに居場所を求めるかと考えた時に、図書館ではないかという仮定のもとに設定した項目である。今後の継続的な調査が必要な項目ではあるが、学生が新たに図書館に求める機能空間になる可能性はあるだろう。

### 3. 図書館内のラーニング・コモンズ化と学生が求める場所の共存

2012年8月の中央教育審議会答申で、学士課程教育の能動的教育への転換の必要性が打ち出された。これを受けて、本学図書館では、2013年度から3か年の中期事業計画において「学生のアクティブ・ラーニングに対応できるようなラーニング・コモンズの充実」を挙げた。

学生生活の中心となる本館では、学生が使用する空間として、教室、演習室、コンピュー

タ室の確保が優先され、新たなラーニング・コモンズの設置は難しい。このような中で、図書館がラーニング・コモンズの充実を挙げたのは、現在の大学の正課教育と図書館の連携の弱さという現実に対して、図書館の機能と空間を授業に取り込ませ、多様な場と方法で、授業や授業外学習と切り離されないことが必要だと考えたからである。

本学は、今年度の文部科学省「私立大学教育研究活性化設備整備事業」にラーニング・コモンズの図書館内での整備を取組み内容として採択され、図書館内を中心とした学内のラーニング・コモンズの整備が推進されることになった。

採択された整備事業では、図書館の学生ラウンジとグループ学習室を「グループ・ワーク」「PCコーナー」「AVコーナー」「コミュニケーション」「グループ学習」の5つのエリアに分けて整備を行う。今回の整備事業は、「能動的な学習」を実現できる場を整備することが目的である。現在、多くの学生はグループ学習室で「見る」「見られる」効果を体験しているので、5つのエリアを使い新しい効果が期待できるはずである。

それでは、「動」の場所であるラーニング・コモンズと本学の学生が図書館に求める「くつろぎ」「居場所」といった「静」の場所の共存は可能であろうか？学生にとっての「くつろぐ」とは、1人の場合と複数者の場合がある。複数者の場合は、コミュニケーションエリアが役立つだろう。また、1人で「くつろぐ」場合は、PCやAVコーナーで視聴、読書、ソファでの仮眠など、場所を見つけて「くつろぐ」様子は今でもみられる。では、「居場所」を求める1人はどうだろう。キャンパス全体でも1人でいられる場所は少ない。

他者とのコミュニケーションが苦手な学生には、1人でいることで何とか大学を続けられる学生もいる。図書館がそれらの学生の「居場所」としての役割の一端を担っている。「1人でいたい」学生の口に出さないニーズにも配慮し、ラーニング・コモンズとは別に「居場所」の配置が必要である。両方の空間を確保した上で、図書館では、両方の使い方が許容されるというメッセージを発することで、「1人でいたい」学生もいられる空間になるのではないだろうか。実際の実践はこれからである。

### おわりに

本論文は、2010年8月の事例発表をきっかけに、学生にとっての「場」としての図書館の意味と、全学での教育的な取組みの中で図書館に求められる方向とのバランスという観点から、学生にとっての図書館の意義を考えたものである。

ラーニング・コモンズと「居場所」の配置をどうするか、また両方の使い方が許容されるというメッセージをいかに発信するか、学生の図書館に対する意識を確認しながら、課題に取り組んでいかねばならない。

### 参考文献

- 1) 永田治樹「大学図書館における新しい『場』インフォメーション・コモンズとラーニング・コモンズ。」『名古屋大学附属図書館研究年報』(7) 2008.
- 2) 立石亜紀子「大学図書館における『場所としての図書館』の利用実態」『Library and information science』(67) 2012.
- 3) 加藤信哉、小山憲司編『ラーニング・コモンズ 大学図書館の新しいかたち』勁草書房, 2012.

きさき かずよ  
(志學館大学図書館)

## 図書館紹介

### 【長崎大学附属図書館中央図書館】

#### はじめに

長崎大学附属図書館は、文教地区の中央図書館、坂本地区の医学分館、片淵地区の経済学部分館の3館から構成されています。

各館とも老朽化及び狭隘化が進み、学修支援機能の低下をもたらしかねない状況にありました。

この中で中央図書館（別館を除く）は、平成24年度に耐震補強を伴う改修を行い、平成25年1月に竣工しました。3月21日に開館記念式典を行い、4月より新たにサービスを開始しました。

※別館とは、図書館・放送大学長崎学習センター棟の1階及び2階を指します。

#### 施設概要

このたびの改修では、学修環境の整備、安心安全な利用環境の整備を目指しました。そのため、事務用スペースを大幅に縮小し、利用者スペースの増加を図りました。その結果、座席数は改修前に比べ15%程増加しました。また、玄関を2階から1階に変更し、図書館に入りやすくしました。

建物としての変更として、上記のとおり玄関の位置を変え、外装を一新しました。内装については利用者スペースの壁面に木製のパネルを貼り、くつろいだ環境を提供しています。

1階にはギャラリーやラーニングcommons、グループ学習室などを設け、活気のある空間としています。2階には学生用図書を排架している開架図書閲覧室、3階には参考図書を排架している参考図書閲覧室としており、利用者には静かな環境を提供しています。さらに、地下1階には多目的ルームを設け、ミーティングやプレゼン予行のできる環境を整備しています。

当館の所有する「幕末・明治期日本古写真コレクション」や「グラバー図譜」の一部（複製）は、ギャラリーの一区画や館内の壁面でご覧いただけます。



図書館外観

建築面積 2,088 m<sup>2</sup>（別館 569 m<sup>2</sup>含む）  
延べ面積 6,281 m<sup>2</sup>（別館 954 m<sup>2</sup>含む）  
収容可能冊数 487 千冊

#### 閲覧座席数

地階	25 席
1 階	107 席
2 階	167 席
3 階	285 席
別館 2 階	167 席

#### 利用者用パソコン設置台数

学生用 101 台

#### 開館時間

##### <授業期>

平日 8:30～22:00

土・日・祝日 10:00～18:30

##### <休業期>

平日 8:30～17:00

土・日・祝日 10:00～17:00

#### 休館日

年末・年始 夏季一斉休業期間

## 館内案内

### ラウンジ



玄関入ってすぐ右にある新聞の閲覧や待ち合わせに利用できるスペースです。

### 展示架



ラーニングcommons内に全学モジュール（教養科目）のシラバス図書の一部を展示しています。

### ギャラリー



学内関係者が作品を展示するスペースです。貴重資料（複製）の一部も常時、展示しています。

### パソコンコーナー



ラーニングcommons内にパソコン 20 台を設置し、プリンタ（コイン式）も備えています。

### ラーニングcommons



可動式の机や椅子、ホワイトボードを備え、アクティブラーニングに対応しています。

### 視聴覚コーナー



ラーニングcommons内DVD等を視聴できる環境（4席）を整備しています。

### グループ学習室



20名用と8名用の2室があり、予約制で利用できます。

### 窓側カウンター席（2階のほか、1階・3階）



各階の一部はカウンター席となっており、席ごとにLED照明と電源コンセントを備えています。

### 開架図書閲覧室（2階）



学生用図書や長崎大学関係出版物、留学生用図書などを排架しています。

### テラス（2階）



2階の北側と東側にある飲食可能なりフレッシュできる環境です。

### キャレルスペース（2階及び3階）



通常の閲覧机とは別に、個人で学習できる環境も提供しています。

### 開架書架（2階）



学生用図書やグローバル化対応図書などを排架しています。



### 学生選書コーナー（2階）



学生の選書による図書の一部を展示しています。

### 参考図書閲覧室（3階）



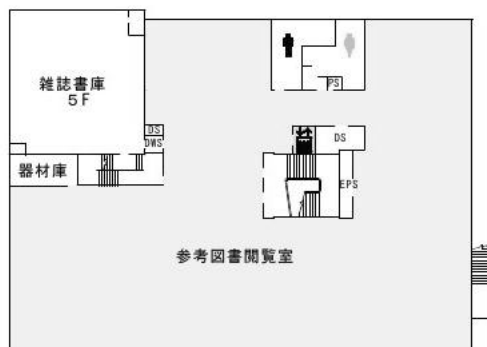
参考図書や郷土関係資料、学術雑誌などを排架しています。

### 多目的ルーム（地下1階）

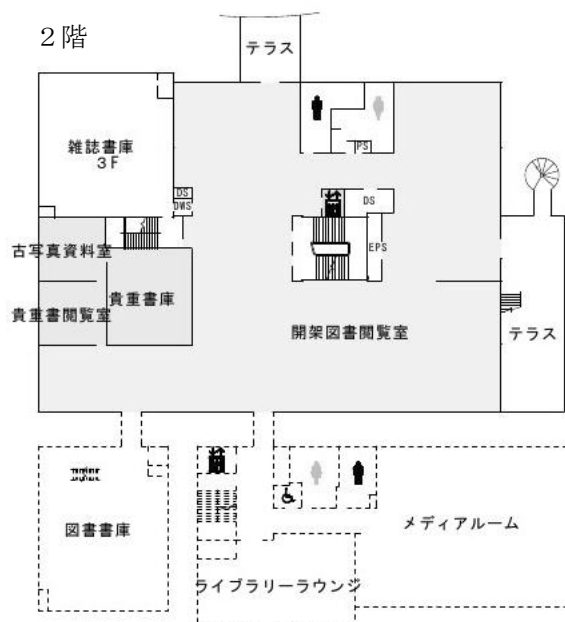


プレゼン機器や映像再生機器等を備え、ミーティングや模擬授業等に利用できます（予約制）。

### 3階

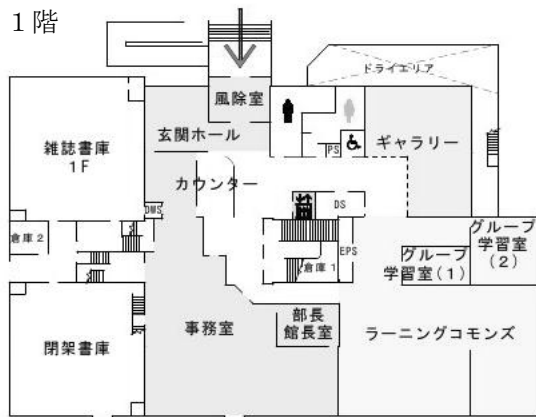


### 2階



〔図書館・放送大学長崎学習センター棟〕

### 1階



### 館内図

※地下1階の多目的ルーム、雑誌書庫2F及び雑誌書庫4F等の平面図は省略しています。

## 図書館紹介

### 【熊本大学附属図書館中央館】

#### はじめに

熊本大学附属図書館は3つの図書館から構成されており、黒髪キャンパスに中央館、本荘・九品寺キャンパスに医学系分館、大江キャンパスに薬学部分館があります。このうち、中央館は図書館の改修が終了し、平成25年10月1日にリニューアルオープンしました。

#### 図書館概要

今回リニューアルした中央館は地上2階、地下2階の構造となっており、これに放送大学と合築となっている南棟を加えた構成となっています。黒髪キャンパス北地区の通称「赤門」から入ってすぐに位置し、特に図書館前は緑が多くなっています。外観は図書館周りにガラスを巡らし、周囲の緑を映す形になっています。また内部にもガラスを多用し、明るく開放的になっています。

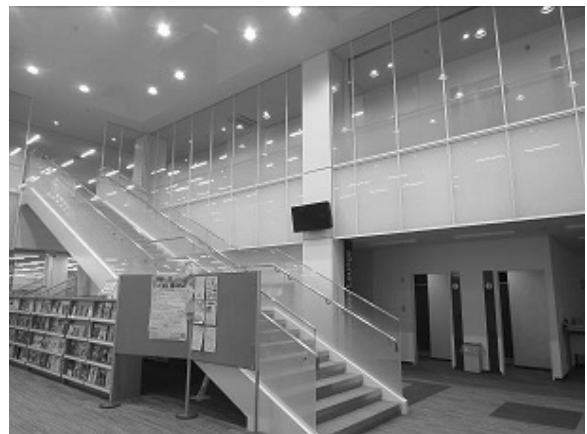
図書館内はフロアによって大きく2つに分けました。1階を「動」の空間とし、話し合いながら学習できるエリア、グループで利用できるグループ学修室を設け、2階を「静」の空間として、図書を集中して配架し、従来通り静かに学習できる場所としています。

#### 施設概要

- ・面積：6,300 m<sup>2</sup>
- ・閲覧席：494 席
- ・AV席：6 席
- ・パソコンコーナー：88 台
- ・蔵書検索用パソコン：4 台
- ・収容可能冊数（2階）：約11万1千冊



図書館外観



階段（ロビー）

#### 利用案内

- ・開館時間  
通常期の平日：8：40～22：00  
休業期の平日：8：40～17：00  
土・日・祝休日：12：00～18：00
- ・休館日  
第4水曜日（試験期期間中を除く）  
年末年始、夏季一斉休業日  
冬季・春季休業中の土・日・祝日  
その他図書館長が必要と認めた日

## 館内案内

### ・1階部分

玄関に入り、入館ゲートを通ると2階への階段があります。階段のあるところは2階までの吹き抜けとなっていますが、1階からの音を遮断するためガラスで覆われています。



ラーニングコモンズ (1)



ラーニングコモンズ (2)

1階は大半が話し合いをしながら学習できるスペースとなっています。1階に70席、パソコンコーナーが48席、パソコンコーナーの横にも36席を用意し、人数に合わせて机や椅子の配置を替えて利用できるようにしています。自由に利用できるホワイトボードも置いています。パソコンコーナーは2階にも40席準備しています。



グループ学修室

グループ学修室は全部で3室あり、各部屋ともホワイトボードとプロジェクターが準備されています。



リフレッシュルーム

入口近くには、自動販売機も設置された、軽い飲食のできるスペースがあります。



AVコーナー

中地下にはDVDなどが利用できる場所を設けています。

・ 2階部分



2階ロビー

ほとんどの図書は2階の中央部分に配置された書架に集中して配架しています。書架の周囲に閲覧席を設け、図書へアクセスしやすくなっています。



2階南東側閲覧席

2階には個人席を多く設けました。集中して学習できるスペースとなっています。



2階北西側閲覧席



2階西側閲覧席

西側の閲覧席には窓に向けてカウンター席を設けています。外の景色を見ながら学習できるようにしています。

## 図書館紹介

### 【鹿児島県立短期大学附属図書館】

はじめに 一小さくても快適、小さいから快適

鹿児島県立短期大学は南九州で唯一の公立短期大学です。学生数約 600 名、教職員数 60 名の小さな短大ですが、文学科、生活科学科、商経学科と多分野で構成され、第二部商経学科（夜間部）も設置されています。附属図書館は昭和 47 年に建てられ、その後、改修されてきましたが、平成 23 年から平成 24 年にかけて、大規模な改修と新館の増築が行われました。耐震が主な目的でしたが、小規模ならでは可能となった様々な工夫によって、利便性、快適性が格段にアップしています。以下、写真でご案内していきます。



外観です。木々の剪定で、キャンパスからの見通しを良くし、入りやすい雰囲気としました。左奥に増築された新館があります。



事務室兼用のカウンターです。平成 22 年には蔵書検索用の iPad を導入しました。現在は 6 台に増やし、館内貸出も行っています。



耐震のため、閲覧室と書架の間に X 型のブレスが入りましたが、メッシュ型の金板で覆うことで威圧感を軽減し、図書スペースに活用しています。



本館の 4 m 壁面書架です。収納数増加とアカデミックな雰囲気作りを両立させています。



壁面書架上部は、書籍を奥に傾け、地震の際は落下防止機具が作動するなど、安全に配慮しています。



本館2階のラーニングcommonsです。図書やiPadなどを活用しながら、少人数でのグループ学習に活用されています。図書館は本の貸し出しだけではなく、アクティブな学習環境を提供する場でもあると考えています。



新館の閲覧スペースです。カフェのような雰囲気です。学生に人気のスペースです。足下には荷物入れのバスケットもあります。



本館2階の視聴覚室です。講演会などに利用されます。



新館に設置された蔵書検索用のパソコンです。パソコン右にあるのはドキュメントスキャナで、本を傷めることなく、スキャンしたデータをUSBメモリに保存できます。



新館入り口のスペースをギャラリー展示室としています。教員秘蔵の図書や機器、学生の作品などを定期的に展示しています。撮影時は学生の書道作品の展示中でした。

### おわりに ー結局は学ぶ人と働く人

学生が快適に学び、教員が研究教育活動を行いやすくする、そのための細かい気配りが大切だということを図書館職員一同で考えています。予算等の制限はありますが、知恵と工夫で知的空間の創造を目指しています。

#### 利用案内

開館時間：9:00～21:10

(休業期間中は17時まで)

休館日：土日、祝日

学外者利用：館内閲覧のみ可

## 図 書 館 紹 介

### 【西日本工業大学図書館】

#### はじめに

本学は、昭和 42 年 4 月福岡県京都郡苅田町新津（現おばせキャンパス）に開学した。開学時は工学部 2 学科（機械工学科、電気工学科）で開校したが、翌年昭和 43 年には土木工学科、建築学科を増設し、現在の基礎となる学科でスタートした。

旧図書館（3 階建:2,824 m<sup>2</sup>）は昭和 45 年 4 月に竣工し、平成 24 年 11 月に新築移転するまでの間、42 年 8 ヶ月学生達の学習の支援、教員の研究のサポート等を行って来た。

平成 18 年には北九州市小倉北区室町に小倉キャンパスを開校し、新たにデザイ学部（建築学科、情報デザイン学科）を開設した。

小倉の中心部の商業施設に隣接するキャンパスは学生達の創造性を刺激している。

11 階建のキャンパスの 4 階部分に図書館（小倉キャンパス分室）があり、図書サービスを提供している。（蔵書冊数 約 6,000 冊）

おばせキャンパス及び小倉キャンパスは共に JR 九州の駅に隣接しており、25 分程度の時間でキャンパス間の移動を可能としている。

#### おばせキャンパス図書館の新築移転

平成 22 年 12 月に開学 45 周年記念事業（平成 24 年度）としておばせキャンパスのリニューアル計画が発表された。図書館もそれに伴い新築移転することが決定された。平成 23 年 12 月には建設予定地の解体工事、新館起工式が行われた。

新棟は 4 階建てで図書館は 3 階と 4 階の一部がエリアとなった。平成 24 年から図書館による本格的な移転の準備作業（除籍作業、配架棚計画、備品配置計画、引越し計画）を開始した。

平成 24 年 11 月 19 日～平成 25 年 1 月 6 日まで旧図書館を閉館し、引越しと開館のための書架整理等の準備作業を行った。

#### ■昭和 45 年頃のおばせキャンパス



中央に 3 階建の旧図書館が見える

#### ■小倉キャンパス



アメリカの建築家マイケルグレイヴスがデザインした校舎（4 階が図書館分室）

#### ■おばせキャンパス新 A 棟



3 階と 4 階の一部が図書館エリア

平成 25 年 1 月 7 日から新図書館を開館し、運用を開始した。

### 館内案内

3 階の図書館入口を入ると正面フロアに特注の図書配架家具を設置している。

右手が受付カウンター、左手に図書配架棚スペース、その奥は北側の窓に沿って個別閲覧・学習コーナーを配置し、一人で読書や勉強が出来るように静かな空間を確保している。

3 階中央は 4 階まで吹き抜けとなった階段が配置され、北側及び南側はすべてガラス張りとし、開放的で明るい空間を確保している。3 階中央階段のエリアは、図書館で企画するイベント開催等に使用できるよう自由スペースとしている。

右手奥には、雑誌の閲覧用ソファ、グループ閲覧・学習コーナー、PC 検索スペース、AV コーナーを配置している。

3 階及び 4 階の一番奥のエリアは、集密書架を設置し、3 階は開放型の開架として使用し、4 階は主に雑誌のバックナンバー等の保管庫として使用している。

#### 図書館概要

図書館面積	1.363 m <sup>2</sup> (3 階及び 4 階一部)
収容能力	約 20 万冊
蔵書数	図書 138,314 冊 (H25/3) 雑誌 1,594 タイトル
閲覧席数	116 席

#### 開館時間(通常期)

平日	9:00~18:30
土曜日	9:00~12:30

#### 休館日

日曜日、国民の祝日
開学記念日
夏期及び冬期休業中一定期間

### ■入口の図書配架用家具



右手が受付カウンターと奥が事務室

### ■北側の個別閲覧・学習コーナー



静かな個別空間を確保し好評を得ている

### ■中央階段部分の空間



4 階へ通じる中央階段部分の空間 (3 階部分は図書館の企画イベントの開催が可能)



■受付カウンター



受付カウンター奥が図書館事務室

■グループ閲覧・学習コーナー



個人でもグループでも利用されているコーナーです

■検索性PC



入口正面に高さを変えて所蔵検索性PCを設置

■AVコーナー



視聴したい資料を取り出して自由に視聴出来ます  
授業の空き時間によく利用されています

■図書館企画エリア



現在、学生選書コーナーを設置しています

■雑誌・新聞等閲覧コーナー



教職員もよく利用します

## 図書館紹介

### 【純真学園大学図書館】

#### 1. はじめに

純真学園大学は、平成 23 年度に九州地区で初の保健医療系 4 学科を同時設置し「看護学科/放射線技術科学科/検査科学科/医療工学科」を有する大学として開学しました。敷地内には、食物栄養学科/こども学科からなる純真短期大学、純真高等学校、純真保育園を有する総合学園です。福岡市の中心地にほど近く好立地に位置しており、学生・教員にとってアクセスのしやすい環境です。

学園訓「気品 知性 奉仕」の精神のもと、地域医療への貢献ができる医療系人材の育成に取り組んでいます。

#### 2. 施設概要

##### 図書館概要

図書館は、敷地中央に位置する本館の地階にあります。1 階には事務局、上階には教員研究室があり、学内の中心となります。地下ではありますが、自然光を取り入れた十分な採光と計算された書架配置により、閉塞感を感じさせません。開学 3 年目ということもあり、学生、教員の学習研究に寄与できるよう、医療系専門資料の充実を図ること、また、学習環境の整備に努めています。

- ・面積：2,700.57 m<sup>2</sup>
- ・閲覧席：339 席
- ・パソコンコーナー：10 台
- ・情報検索 PC：1 台
- ・収容可能冊数：約 4 万 5 千冊
- ・所蔵雑誌タイトル：約 140 種
- ・個別学習スペース：20 席



[こちらの本館の地階が図書館です]

#### 2. 利用案内

現在、通常期の開館時間は 9:00～19:00 です。試験期間前後には延長開館を行い、学生のニーズに対応しています。初めて迎える卒業論文や国家試験期間時期の対応など、図書館への期待や要望に細やかに対応しています。

- ・開館時間  
通常期の平日：9:00～19:00  
休館日：土・日・祝休日  
その他学園の定める日
- ・貸出冊数：学生 5 冊/教職員 10 冊
- ・貸出期間：学生 1 週間/教職員 1 カ月  
実習等特別貸出期間/冊数対応あり



エントランスを入るとすぐに目を引くのは「新刊架」で、短大・大学併せて6学科の新刊が順次入れ替えられています。また、円形ソファでの毎月の特集展示は学生、教員からもたいへん好評です。



本館前には人々の憩いの場となる純真の森が広がります。図書館での集中した後、学生・教職員の格好のリフレッシュスペースとなっています。



入ってすぐのパソコンスペースです。この後ろには可動式のテーブルとイスの一角もあり、学生利用の多いコーナーとなっています。



窓側には、対面式の4人掛けの閲覧席と6人掛けの閲覧席を配置しています。閲覧機は中仕切のあるものと無いものを設置し、利用者が好みに応じて選択できるように配慮しました。



カウンター前のフロア中央部の閲覧席では、資料を広げグループ学習する姿がいつも見られます。学習スペースとして間仕切られた独立スペースにはキャレルタイプの閲覧席を設置しています。

医療系大学図書館として、開館して間もない中ではありますが、だからこそ経験できる類まれ稀な日々に身の引き締まる思いです。



## 【大分大学】

### 1. 企画展示を実施

大分大学学術情報拠点（図書館）（以下「旦野原図書館」という。）では、リニューアル開館後、1階談話エリアを主な展示場として、次の企画展示を行いました。

○～Christmas～

期間：平成24年12月

○猫～ねこおもい～

期間：平成25年2月

○「大分大学入学おめでとう2013 ～新生活 お手伝いします～」

期間：平成25年4月

○写真部展示会

期間：平成25年5月

○拠点長写真展示会～パノラマ写真の魅力～

期間：平成25年5月～9月

○「イチオシ！まなビギナーズ いつ読むか 今でしょ！！」

期間：平成25年6月

○「追悼：山崎豊子氏 逝く」

期間：平成25年10月

○「本と人と。図書館写真展」

期間：平成25年11月



### 2. 拠点長プレゼンツ「ブックパル展」

旦野原図書館では、本や図書館に対する興味を持ってもらうため、本学の教職員が今までに読んだ本や印象深かった本を学生等に紹介するブックパル展を平成25年4月から9月まで実施しました。内容は月ごとに入れ替え、あわせて6名の教職員からのおすすめの本を展示しました。



### 3. 『行列のできない図書館だより』

旦野原図書館は、平成24年12月に『行列のできない図書館だより』を創刊しました。行列ができることを願っての題号です。

コラムは、「あなたの知らない図書館～ある日の図書館での会話～」、「図書館なう」、「企画展示」、「図書館事件簿」などがあり、利用者に興味を持ってもらい図書館に思わず来たくくなるような誌面作成に努めています。

特に目をひくのは「あなたの知らない図書館～ある日の図書館での会話～」で、図書館キャラクターの「にゃびえる」と「にゃーりん」が大分弁で会話をしながら、キャッチーな図書館のイベント情報、施設紹介を行っており、大分弁の普及に一役買っています。

第13号まで休刊なく毎月発行し、号外として平成25年5月1日（水）に『Library Hunting 特集』を、平成25年10月1日（火）に『リニューアル1周年記念特集』を発行しました。

行列ができる日が先か、ネタが尽きる日が先か。よだんを許さない状況です。



#### 4. 図書館広報イベント Library Hunting

且野原図書館は、リニューアルオープンを機に、館内の施設、設備をより広く利用者に知らせるために、平成25年5月13日（月）から3週間、図書館職員手作りの参加型推理ゲームイベント、「Library Hunting 且野原図書館殺人推理 図書係長の偽りの悲しい過去 QRコードに隠された驚愕の真実!!」を実施しました。このゲームは、クロスワード形式で館内12ポイントをまわり、各ポイントで出題される問題を解き、4人の容疑者の中から図書係長殺害の犯人を当て、犯行動機を推理するというものです。参加者の好奇心を誘うため、設問と次ポイントの案内は全てQRコードにしており、館内を順序良く、くまなく周ることができるように工夫しています。また、ゲーム終了時までには図書館資料を3冊以上借りることもクリア条件とし貸出冊数の増加を図っています。実際このイベントを行った5月は入館者数、貸出冊数とも他の月より増加していることが確認されました。

参加者アンケートによると「館内をくまなく歩くように指示されているので図書館内がよく分かり、楽しめた。」「問題を考えながら改めて図書館内の施設を確認することができたのでよかった。」「パンフや内容にも工夫があり図書館のいつも立ち入らない場所にも行ってとても楽しかった。」「たくさん図書館内を周り、本の場所などを知ることができ有益な時間でした。」など好評な意見が

多く聞かれ、図書館設備・施設の周知に有意義なイベントとなりました。

最後になりますが、本作品はフィクションであり、殺害された図書係長のモデルとなった係長は健在であることを申し添えます。



#### 5. オープンキャンパスへの参加

且野原図書館では、オープンキャンパスの平成25年8月8日（木）に、ラーニング・commons等を学生支援部や学生による相談ブースとして提供しました。このため、この日は多くの高校生が来館し、且野原図書館としても、オープンキャンパス企画として図書館スタンプラリーを実施し、高校生174名が参加し、102名がクリアしました。



#### 6. リニューアルオープン1周年記念の各企画を実施

##### (1) リニューアル1周年記念ロゴの制作

且野原図書館は、平成25年10月1日（火）

にリニューアルオープン1周年を迎えました。

それを記念して制作したこのロゴは数字の1と猫のしっぽをモチーフにデザインしており、猫は図書館の猫らしく読書をしています。身近な生き物である猫と同様、本も身近な存在であってほしいという願いをこめています。

このロゴで缶バッジを作り図書館イベントの景品としたところ、参加者に大変好評でした。



## (2) にゃびえる・にゃーりん新衣装総選挙

且野原図書館では、図書館公式キャラクターになりつつある「にゃびえる」、「にゃーりん」の新衣装を平成25年7月に募集しました。図書館利用者からは41点の衣装の応募があり、これを1階談話エリアに掲示しました。その後、8月には図書館利用者による総選挙（これだと思ふ衣装に理由を添えた投票）を行いました。

その結果「にゃびりん大賞」、「図書館賞」、「審査員特別賞」の作品が選考され、9月24日（火）には、受賞者に対して佐藤学術情報拠点長から表彰状と副賞（図書館1周年記念に当たり作成した特大記念バッジ）が手渡されました。早速、10月15日（火）発行の「行列のできない図書館だより」では、「にゃびりん大賞」受賞作の衣装をまとった「にゃびえる」と「にゃーりん」が登場しました。



## (3) 且野原図書館×リアル宝探し

且野原図書館は、11月4日（月）の大学開放イベントの日から2週間、「且野原図書館探偵倶楽部 豊後国に神のご加護を！～南蛮ロマン編～」を実施しました。これは平成25年5月に続く Library Hunting シリーズの第二弾で、今回は、宝探しゲームとなっています。

物語はある人物の回想から始まります。彼はイエズス会の宣教師らしく、キリスト教の布教に協力的だった戦国武将との友情の証に且野原図書館にある秘宝を隠したと語っています。

参加者は秘宝のありかを示す探偵マップを手掛かりに、四つの道しるべを探しに館内をまわります。道しるべに書かれた暗号を全てつなげると、秘宝の隠し場所がわかります。ある人物とは誰なのか？戦国武将とはいったい？そして且野原図書館に隠された秘宝とは？

子どもたちも多数参加し、280名もの名探偵が秘宝を手にすることができました。参加者アンケートでは、「楽しかった。」「また次もやってみたい。」「といったゲームの感想のほか、「図書館のことが知れてよかった。」「図書館を利用しようという気になった。」という図書館利用に結びつく感想も聞くことができ、大変有意義なイベントとなりました。

最後になりますが、この物語はもちろんフィクションであることを申し添えます。



#### (4) あまんきみこ氏の講演会等

且野原図書館は、平成 25 年 10 月 30 日（水）にラーニング・コモンズにおいて、本学高等教育開発センターとの共催であまんきみこ氏の講演会と、参加者による交流会を行いました。参加対象者は、大学生や学校などでの読み聞かせボランティアグループ等です。

あまんきみこ氏は、「ちいちゃんのかげおくり」、「白いぼうし」など教科書にも多くの作品が掲載されている絵本作家として知られます。今回は、絵本を作る上での核となる記憶や、言葉の始まりと終わりを大切にしていること、そして挿絵画家いわさきちひろさんとの思い出など一冊の本ができるまでが語られました。

「講演に来た方達は作品だけでなくあまんきみこさんご自身のファンになったことと思います。」という聞き手千竈八重子氏の言葉にうなづく参加者もいました。

最後に、あまんきみこ氏による自身の作品『きつねのおきゃくさま』の読み聞かせも行われ、ハンカチを手に涙ぐむ参加者もいました。



交流会は約 70 名が参加し、本学学生も各班のファシリテーターとして活躍しました。普段関わることのない読み聞かせボランティアグループ間の新たなつながりを見いだす場となりました。

## 7. Library Lovers' 2013 キャンペーン

九州地区大学図書館合同企画『収穫の秋 読書の

芋。～九州まるっと収穫祭～』において、且野原図書館は、ワーキンググループとキャンペーンに参加しました。キャンペーン期間は、平成 25 年 10 月 21 日（月）～11 月 17 日（日）の 28 日間です。

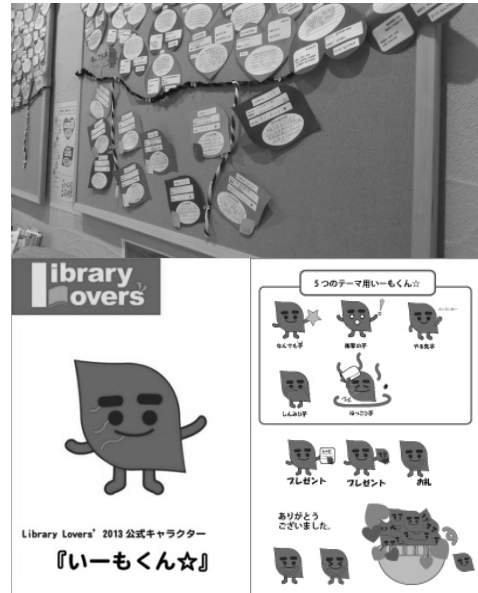
本学は芋班を担当し、公式キャラクターの「いーもくん☆」と芋の葉、芋のコメントテンプレートやホームページのコメント例等を作成しました。

「いーもくん☆」は本学のみで使用する予定でしたが、ワーキンググループに知らせたところ、「ぜひキャラクターに」との話になり公式キャラクターとなりました。

本学教員の芋の葉コメント数は、23 件と参加館の中でも多く集まり、学生・教職員の芋コメントは 24 件集まりました。

また、コメントされた資料を購入したことで、貸出の促進や本学資料を充実する機会となりました。

九州地区の国公私短期大学では、ホームページ、SNS（facebook、twitter）や、ブログなどで情報を共有することで、利用者に多くの情報を提供することができました。



## 【沖縄県立看護大学附属図書館】

閉架への入室をこれまで教職員、大学院生まで認めていましたが、平成 25 年 10 月より、蔵書利用の便宜を図り利用拡大するため、学部学生・別科専攻学生にも認めることにしました。

学生選書ツアーを平成 25 年 10 月、初めて実施

## 【鹿児島大学附属図書館】

### 1. ディスカバリサービスの導入

2013 年 3 月 7 日、膨大で多様な学術コンテンツをよりシンプルに判りやすく発見するためのディスカバリサービスを導入した (Serials Solutions 社の Summon を採用)。文献データベース、電子ジャーナル/ブック、機関リポジトリ、蔵書目録データベースなどに収録された様々な有用な学術コンテンツへ迅速かつスムーズに導くことを目的としており、強力な学習・研究支援ツールとなることが期待されている。なお、サービス名「まなぶた Search」は、先の 2 月 28 日にリリースした蔵書検索サービス「ブックマ Catalog」とあわせて当館公式キャラクターの名を冠したものを。

あわせて、同日付で図書館ウェブサイトを更新した。



### 2. リーディングアサインメントサービスの試行

Reading assignment とは、授業を受ける学生全員に予習用資料として読了を義務付ける文献のことをさしている。このような授業スタイルを実践する教員を支援するため、25 年度後期から以下の 3 つの授業について、リクエストされた文献を提供する試行的サービスを行っている。なお、授業

し、学生の希望する図書の収集に寄与した。

教員の人生にとって貴重な示唆を与えたと思われる一書その理由を添えて推薦してもらい、図書館内で展示する企画あり。

(平成 25 年 12 月予定)

終了時には教員レビューを提出していただくことになっており、これを判断材料にして、来年度以降のあり方について検討する予定である。

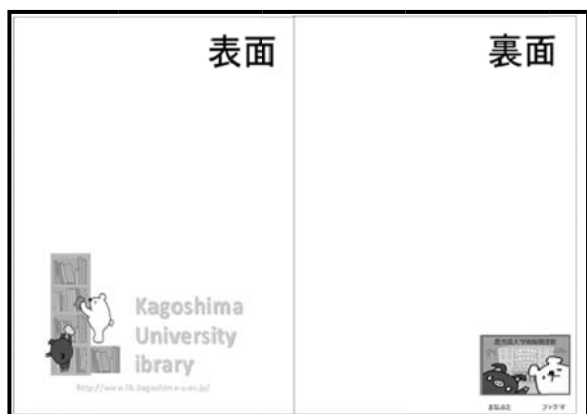
### 実施例

- 科学英語輪読ゼミ (水産学部)  
海洋学に関する総合的知識と当該分野の英文読解力を習得するための少人数ゼミ。  
テキストとなる英語図書 1 点 (複本 2 冊) を提供。
- 日本古典籍輪読ゼミ (教育学部)  
くずし字の読解力を付けることを目的とした国語科教育の少人数ゼミ。  
テキストとなる明治の女流歌人の著作のほか、参考資料であるくずし字解説書あわせて計 10 点を提供。
- 男女共同参画とキャリアデザイン (共通教育)  
男女共同参画の意識啓発を目的とした講義。  
教員が選定した予習・復習用図書 2 点 (複本各 2 冊) を提供。

### 3. 図書館キャラクターのクリアファイルを製作

利用者に図書館に親しみを持ってもらい、利用促進につなげることを目的として当館公式キャラクターである「ブックマ」と「まなぶた」を使ったクリアファイルを 3,000 部作製した。貸出ポイントカード利用者や図書館ガイダンスの出席者、オープンキャンパスのウォークラリー参加者などに配布して好評を得ている。

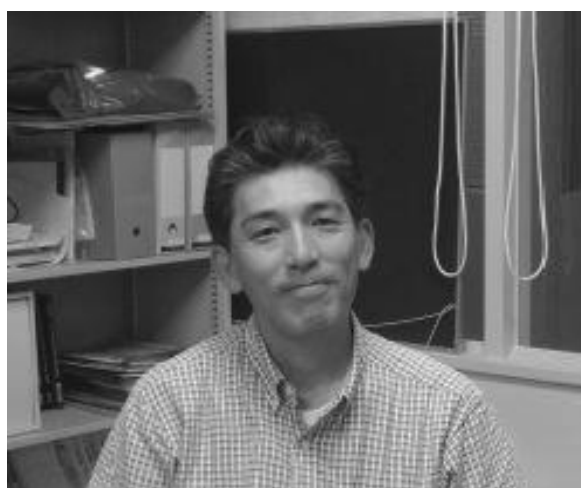




#### 4. 鹿児島大学リポジトリのコンテンツ数が1万件を突破

平成19年4月に公開開始し、今年で6年目を迎えた鹿児島大学リポジトリの登録コンテンツが1万件を突破した。これを記念して7月29日に1万件目の登録論文の著者の一人である半田利弘教授（本学理工学研究科）に記念インタビューを行った。

インタビューは半田教授の研究に関する話の他、天文学分野におけるオープンアクセスについての状況、今年度からの学位規則改正への対応に関する意見など多岐に渡った。詳細については鹿児島大学リポジトリ (<http://ir.kagoshima-u.ac.jp/>) に公開中である。



（理工学研究科 半田教授）

#### 5. 「学位規則改正に伴う博士論文のインターネット公表に関する研修会」開催

平成25年4月1日付けで学位規則（昭和28年文部省令第9号）の改正が施行され、平成25年4

月1日以後に日本国内で博士の学位を授与された者は、原則として授与された日から1年以内に、大学の協力を得てインターネットでその論文の全文を公表することが義務付けられた。この改正に適切に対応するため、図書館では本学教務課大学院係と協働し、9月24日に大学院連合農学研究科会議室において標記の研修会を開催した。信州大学附属図書館副館長の森一郎氏を講師に迎え、本件に関する著作権処理問題について講演をいただいた他、大学院係による学位規則改正内容の説明、図書館担当係による、リポジトリへの博士論文登録とインターネット公開に関する機能等の紹介、これまでに寄せられたQ&Aの解説等を行った。

研修会には学内外から38名の参加があり、質疑応答では活発な意見交換が行われるなど、大変好評であった。



（講師 森一郎氏）



（研修会場全景）

#### 6. 水産学部分館改修に伴う休館中のサービスについて

水産学部分館では、平成25年9月1日より学習環境整備のための全面改修工事に伴い休館となり、平成26年3月31日（予定）までILLの相互利

用受付業務を停止している。休館期間中の学内サービスは、中央図書館にて、水産学部分館所蔵のシラバス図書や新着資料など、学生に利用される資料を中心に図書館サービスを提供している。

平成 26 年 4 月以降の日程や詳細については、順

次ご案内する予定となっている。リニューアル後は 1 階が主として学習ラウンジやプレゼンテーションスペースを含めたラーニングコモンズとなり、2 階が図書資料を配架する書架スペースとなる。

## 【鹿屋体育大学附属図書館】

本館の平成 25 年度の主な活動を紹介する。

### (1) 図書館開館時間延長に関する調査

平成 24 年 10 月に実施した利用者アンケートにおいて、開館時間の延長の要望があり、6 月、及び定期試験期間の 7 月、2 月に開館時間を試行的に延長（平日夜 22 時まで、土曜日夜間・日曜日午前及び夜間の開館）した。今回の結果を踏まえ、開館時間の見直しを行う予定である。

### (2) 企画展示

昨年度実施した利用者アンケートを踏まえ、本年度より企画展示を開始した。4 月には新入生向けに大学での勉強法、レポートの書き方などを紹介した「大学生におすすめの本」、7 月からは夏休み中の英語学習用、資格試験勉強用として「TOEIC」「英語多読図書」コーナーを作った。



### (3) Library Lovers' キャンペーン

Library Lovers' キャンペーン「読書の芋」に参加した。九州地区各大学の教員等からの推薦図書及びコメントの掲示コーナーを設置し、コメントされている所蔵図書を展示し、利用者に貸し出しを薦めた。



### (4) クーベルタン生誕 150 年記念企画イベント

本学主催のクーベルタン生誕 150 年講演会とコラボし、来学した為末大氏の著作やオリンピック関連の図書等を展示した。身近にトップ

アスリートに接し、多くの学生が同氏の著作物に接することとなった。



## 【九州大学附属図書館】

### 満員御礼。池上彰氏講演会

1月26日（土）、ジャーナリストの池上彰さんを招き、「何のために学び、何のために伝えるのか」と題したフォーラムを開催した（九州大学・活字文化推進会議主催、附属図書館企画運営）。これは、附属図書館が24年度に初年次教育の授業と連携した取り組み「よむ・つたえる」の一環として企画したもの。

第1部では、東京工業大学リベラルアーツセンター教授として教壇に立つエピソードも交えながら、文系理系を問わず幅広く教養を身につけることの大切さ、既存の枠組みにとらわれることなく自ら問いを立てることの重要性についてご講演いただいた。

第2部では、本学21世紀プログラムの学生6名が登壇し、池上氏とのディスカッションに挑んだ。学生からの質問に切れのよい的確なアドバイスをいただき、時折「そんなことは自分で考えなさい」と手厳しく切り返しつつ、「そうやって悩み、迷うのが大学生の姿」と叱咤激励された。

フォーラムには、市民も含め約1800人が参加。九州大学をはじめ近隣の大学生、高校生が半数を占め、池上氏ご自身の体験と深い洞察に基づく分かりやすいお話に、みな真剣に耳を傾けていた。

「社会に出てあらゆるところで学ぶことができる。学ぶことの喜びを知り、生涯学び続けてほ

しい」というメッセージで、2時間半のフォーラムは締めくくられた。



21世紀プログラムの学生と熱く語る池上彰さん

### 盛り上がりました！Library Lovers' キャンペーン2013

九州大学では、参加館合同企画「読書の芋。」のほか、本学オリジナルの企画として以下のイベントを行った。

- 本のリユース
- ビブリオバトル首都決戦2013 九州大学予選会
  - ・箱崎・伊都キャンパスで実施
  - ・3名の学生を九州北部ブロック地区決戦に送り込んだ。
- 音楽の夕べ：SPレコード鑑賞会（九州大学大学図書館と共催）

- ・手回しの蓄音機でジャズ、クラシック、昭和歌謡等のSPレコードを鑑賞
- ・中央図書館ではキャンペーン期間中の毎週金曜夕方、芸術工学図書館では11月5日に開催

●キャンペーン特製しおり配布

- ・しおりのデザインを学生から募集
- ・18作品をしおりとして配布

●大学生協とのタイアップ

- ・芋コメント1点につき、大学生協主催「読書マラソン」のスタンプ1個押印
- ・生協食堂でお芋メニュー提供
- ・生協食堂に三角柱POP、ポスターを設置

「読書の芋。」では、コメント件数248個を集め、地区内でトップの収穫量となり、大いに盛り上がった。

今年度は、特に図書館の外での広報に主眼を置き、大学生協や大学文書館とコラボすることで、キャンペーンの認知度を高めることに努めた。



音楽の夕べ鑑賞会后。  
蓄音機を覗き込む学生たちは興味津々



食欲の秋もね? (by 生協食堂)



芋畑は大収穫♪

### 進化する新入留学生向け図書館ガイダンス

新入留学生のスタートアップとして、ここ数年、フリー参加の図書館ガイダンスや先輩留学生とのランチアワーなどを試みてきたが、ひとりでも多くの留学生にまずは図書館に来てもらうことを主眼に、25年度は留学生担当各部署と連携し、入学式やオリエンテーション等の日程の中に組み込んでもらい図書館ガイダンスを実施した。主なものは、下記の通り。

#### <図書館ツアー>

新入留学生オリエンテーションのオプションイベントとして、オリエンテーション後会場から希望者をそのまま図書館に誘導し、簡単なツアー

を実施。4月は箱崎キャンパスのみで実施し56名、10月は全キャンパスで実施し147名の留学生が参加した。

#### <部局・プログラム単位でのガイダンス>

学士課程国際コース、短期プログラム、農学部等の新入留学生向けに、特性に応じたガイダンス・ツアーを実施。

全体の参加者は、4月入学生は113名、10月入学生は338名で、新入留学生の6～7割をカバーしている。特に中央図書館では2日間で216名の留学生を案内し、館内は、インターナショナルな雰囲気にも包まれた。図書館学習サポーター(愛称:Cuter)の院生を活用することで、日英だけでなく、中国語でのツアーも実施でき、大変好評であった。

留学生担当部署は、国際部だけでなく、留学生センター、部局学生係など様々で全体像がつかみにくいですが、これまで図書館から個別にアプローチを続けてきたことにより、先方からガイダンスの依頼が寄せられるようになったことは大きな進展である。また、留学生のスタートアップをサポートするという目的は、今期のやり方で達成できたと思われる。ツアーの外、新入留学生向けの検索実習を授業の1コマで実施しているコースもあり、今後は、授業と連携しながら、次の研究導入段階のサポートに力を入れていきたい。



Cuter (一番右)による図書館ツアー実施中

#### 教育の質向上支援プログラム(EEP)「大学図書館による自律的学修支援体制の構築」

平成23年度からのEEP「ICTによる自律的学習・教育体制の構築」で軌道に乗せた学修支援基盤体制を活かし、取り組みをさらに充実・発展させつつ来年度以降の本学の学部教育改革後の自律的な学修を促す教育を支援するため、附属図書館とその付設教材開発センター、大学院ライブラリーサイエンス専攻が一体となって平成25年度よりあらたに2年間の継続プログラム「大学図書館による自律的学修支援体制の構築」を実施している。

このプログラムの中では、さまざまな取り組みを行っている。引き続き図書館学習サポーターを配置し、今年度からは3キャンパスの図書館およびラーニング・コモンズへ活動を拡大した。学習サポーターは、学生の学習相談にあたるほか、ウェブ上のガイド(Cute Guides)を作成したり、講習会のサポートや各種企画を実施している。また、学生のアクティブラーニングを支援する図書館職員を育成するワークショップを行ったり、他大学のライティング・センター、ラーニング・コモンズ等の訪問調査を行っている。

#### 「第20回医学図書館研究会・継続教育コース」を開催

11月6日から8日の3日間、特別非営利活動法人日本医学図書館協会主催の「第20回医学図書館研究会・継続教育コース」を病院キャンパス総合研究棟にて開催した。全国の医療系大学図書館、病院図書室等から計45名の参加があった。

前半の医学図書館研究会では8つの発表があり、活発な質疑応答が行われた。

後半の継続教育コース1では、「図書館職員のためのインストラクショナル・デザイン活用ワークショップ」と「医学・医療系の電子教材作成支援活動における課題と対策」についての講演を行った。講習会を企画する際の注意点として興味深い内容であった。

最終日の継続教育コース2では、PubMedと医中

誌 Web を使った文献検索演習中級編の端末実習を行い、文献検索の知識及び技術の向上を図った。



### 講演会「ディスカバリ・サービスの導入と新たな基盤整備」

2月22日、九州大学附属図書館を会場に、九州地区国立大学図書館協会の主催で、学術研究分野においてWeb上での電子的な学術コンテンツ利用が一般的となり、膨大な資料から目的とするコンテンツを即座に発見できるディスカバリ・サービスが注目を集める昨今の状況を鑑み、ディスカバリ・サービスのメリット及び導入方法、さらには今後大学図書館の目指すべきサービスの方向性をテーマとする講演会が開催された。

日本国内における先行導入事例である、佛教大学図書館および九州大学附属図書館のディスカバリ・サービスについて、各館の実務担当者が実体験や利用動向の分析に基づく事例報告を行ったことで、参加者からは、「サービス導入に際しての具体的なイメージを持つことができた」との意見が寄せられた。また、パネルディスカッションにおいては、ディスカバリ・サービスの先行導入館と導入予定館の担当者間で、率直な意見交換がなされ、参加者は熱心に聞き入っていた。ディスカッ

### 【九州工業大学附属図書館】

#### 分館にラーニングコモンズを設置

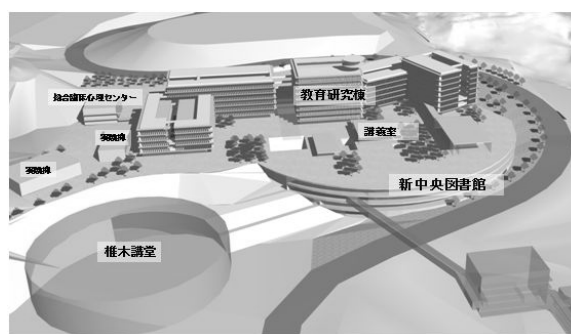
情報工学部分館では9月30日、2階にラーニングコモンズをオープンした。

ションの終盤では、国立情報学研究所の尾城氏より、「ディスカバリの先にあるもの」と題する話題提供がなされ、参加者各人が、大学図書館の新たな役割に思いを馳せる契機となった。

全国の大学図書館関係者や企業等から、計76名の来場があったほか、当日の講演会の様子はUstreamを用いてインターネット中継された。

### 新中央図書館計画と伊都キャンパスへの移転にむけた動き

29年に開館予定の新中央図書館の建設予定地である、伊都キャンパスの文系地区の基本設計がまとめられた。新中央図書館は4階建てで建設され、隣接地に現在建設中の椎木講堂と並び、これからの九州大学を象徴する景観を構成する予定である。新中央図書館は、大学のキャンパスモールを建物に取り込み、向かいに整備される基幹教育棟とはブリッジで連結されるほか、緑化された屋上は文系地区キャンパスの一部として機能する特徴的なデザインとなっている。9月からは建物基本設計が開始されており、今後急ピッチで計画が進められる。



文系地区基本設計計画説明書より

この設立にはアクティブラーニングに関わる教員が構築メンバーとなり、立案から指揮をとっている。キャンパス内にはアクティブラーニングを

支援する他の2つの施設もある。そのひとつは、2011年に開設した授業を中心とするインタラクティブ学習棟「MILAiS」、もうひとつは来春完成予定の「ラーニングアゴラ」である。この「ラーニングアゴラ」は学生食堂に隣接して設置され、飲食自由な交流の場である。当館ラーニングcommonsはこの2つの施設の間中に位置しており、少人数でのグループ学習の場として、3つのエリアから構成されている。

#### (1) アクティブラーニング・エリア

ホワイトボードやパソコンを利用してグループでのディスカッションが可能なエリア。

天井のフレームには間仕切りロールスクリーンを備え、5分割まで仕切ることのできるスペースもある。



#### (2) 学習コンシェルジェ・エリア

学習相談に専門分野の教員が応じる「学習コンシェルジェ」は、2010年から既に図書館の1階で実施してきた。ラーニングcommonsのオープンにともない新装となったエリアでは、数学・物理・情報・英語の基礎科目の学習を個別指導で支援し、学生の学習意欲を高め、学力の向上を目指している。

### 【九州国際大学図書館】

#### 1. 映画「ジンクス!!!」ロケ

1月8日、北九州フィルムコミッションが映画



#### (3) グローバルコミュニケーション・エリア

異文化理解を深め国際性を育成するエリア。

11月から毎日2名の留学生が16時から19時までの3時間、英語のフリートークに応じている。



また、12月中旬から学生による利用サポートを開始する予定である。この学生サポーターはアクティブラーニング支援のために学部が雇用しており、来春設置予定の「ラーニングアゴラ」と当館ラーニングcommonsのサポートを兼ねて行うことになっている。

現在、オープン後2ヶ月足らずだが、学生の利用は日々高まってきている。大学図書館としての新たな役割を担うために、アクティブラーニングを支える設備はもとより、学習支援のための人的サービスの充実にも一層努めていく方針である。

「ジンクス!!!」のロケ地選定のために、図書館を見学に訪れました。同月末にロケを行う事が決定

し、撮影スタッフが事前準備のため来館。撮影に際して、カウンターや配架など図書館業務に関する質問があり、職員が対応しました。

2月19日（クランクイン）と22日、カウンターや2階展示コーナー、3階書架で撮影が行われ本学学生もエキストラとして参加しました。

映画が公開された11月16日からは、公開中の別の映画も含めた関係資料の展示を行いました。



## 2. ビブリオバトル

4月から本学でも、1年生・2年生のゼミを中心に、図書館のグループ自習室をビブリオバトルの会場として提供し、図書館長・職員・学生アルバイトも参加し学生の指導に協力した他、各ゼミのチャンプ本を展示するコーナーを設けて、利用者にも活動をアピールしています。

次第に参加する学生が増え、9月のオープンキャンパスでは経済学部イベントと連動して学内予選会を実施、約60名が見学に訪れました。

10月26日の九州北部ブロック地区決戦には7名が参加。残念ながら決勝戦には進めませんが、その後もビブリオバトルに参加を希望するゼミは増えており、今後も継続していく予定です。



## 3. 選書ツアー

9月19日、6回目の選書ツアーをブックセンタークエスト黒崎店で実施。今年は新しい試みとして、参加学生にはテーマを事前に決めた上で選書してもらいました。（※「就活に備える！これから就活する後輩たちへ」「法について興味を持ってもらう本」「本が読みたい！と思わせる本」「つづきが気になる本」など）

また、翌月にはツアー終了後に報告会を行い、学生からの感想を聞き、展示コーナーで選書本と一緒に掲示しました。



## 4. わたしの好きな本～Favorite Book コンテスト

本学の教員組織である教養学会との共催による感想文コンテスト（応募期間9月27日～11月2日）では、教職員の広報活動のおかげで、69名の学生が応募してくれました。

年末には入賞者選考と表彰式を行い、入賞者に表彰状と賞品（クオカード）を贈る予定です。



## 5. 大学祭「橘祭」出店

11月に行われた第59回「橘祭」で、図書館も3年ぶりに模擬店を出店、図書館の学生アルバイトの協力でパンケーキとコーヒーを販売しました。

今回は北九州を九国大から盛り上げようという学生有志による「ブランド設立委員会」と共同で出店した他、映画「ジnkス!!!」の宣伝や、市立八幡西図書館の除籍本を無料配布する「ブックリサイクル」を行い、図書館の活動をPRしました。



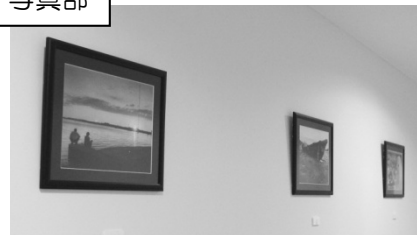
## 【九州産業大学図書館】

### 1. 学生サークル等作品展示

平成24年7月から、学生サークルや愛好会、芸術学部学生、芸術研究科生有志の作品を図書館内の壁面や棚を展示スペースとして提供しています。

期待される効果として、作品展示の「場」を提供することにより、学生の創作意欲の向上並びに一般の方に対する学生作品及び大学の情宣に繋がると考えています。

写真部



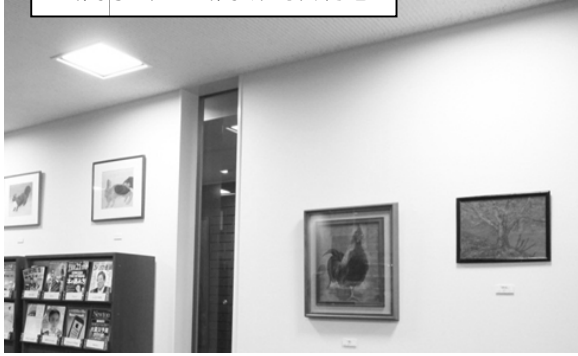
クリエイション愛好会



文芸部



## 芸術学部・芸術研究科有志



## 2. 卒業生まんがコーナー

九州産業大学出身のまんが家作品コーナーを設

### 【熊本大学附属図書館】

#### 熊本大学附属図書館中央館リニューアルオープン記念式典を挙

行。熊本大学は、10月1日に学内外関係者約70名の出席のもと附属図書館中央館リニューアルオープン記念式典を挙

行した。式典では、谷口功学長の式辞に続き、長澤公洋文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付学術基盤整備室長から祝辞があった。

続いて、図書館職員から利用者代表への記念品贈呈、利用者代表から大学関係者への花束贈呈、関係者によるテープカットが行われ、記念品贈呈からは、熊本県民を代表してくまモンも駆けつけ、みごとな（？）パフォーマンスを披露した。

式典の最後には、大熊薫附属図書館長から謝辞があり、引き続き施設見学会が行われた。

また、これもくまモン効果の賜か、同式典には非常に大勢の参列者が駆けつけ、学生、地域住民等を含め200名を超える盛大な式典となった。

今回の改修ではラーニングcommonsという新しい図書館機能を設けており、2階の「静」の空間、1階の「動」の空間、また地階の「蓄（アーカイブ）」の空間の棲み分けにも十分配慮し、図書館のこれまでの実績や新たなサービスを踏まえつつ、新時代の図書館にふさわしい機能の実現と意義ある諸サービスを提供することが可能なものとなっ

ています。

北条司氏「シティ・ハンター」や六道神士氏「エクセル・サーガ」など。



ている。

これら教育環境の整備に伴い、今後益々人材育成の更なる充実を図る拠点となることが期待される。



#### 学生図書選書員による図書選書を実施

平成19年度から実施している学生選書員による学生用図書の選書を今年度も実施した。この取り組みは、学生用図書を学生の視点でより充実させることを目的に、学生選書員に選書リストを作成して提出する方式により実施している。縮小開館中であったが、留学生3名を含む24名の参加があり、学生ならではの幅広い視点で、299冊の図書が選ばれた。

#### 第6回「東光原文学賞」を募集

平成20年度に創設した「東光原文学賞」の第6

回募集を行った。本賞は、学生の読書への関心を大いに喚起し、また、創作という能動的な知的活動の機会を提供することを目的に創設したものであり、今年度も本学の学生を対象にジャンルを短編小説として10月31日まで募集を行い、昨年を上回る19編の応募があった。学内外の審査員による選考委員会で選考し、1月に選考結果を発表予定。

### 貴重資料展・公開講演会・永青文庫セミナーを開催

第29回貴重資料展「永青文庫にたどる 物語史と絵」を熊本大学文学部附属永青文庫研究センターと共催で、11月2日（土）～4日（月）に開催した。

今回は、公益財団法人永青文庫からの寄託資料及び熊本大学附属図書館所蔵の仲光文庫資料の中から、文学史的にも美術史的にも重要と言われている写本、絵巻、絵本のうち20点を展示し、10

世紀から17世紀までの800年にわたる物語の豊饒な歴史をたどった。

また、初日には森正人熊本大学社会文化科学研究科教授による「物語史と絵」と題する公開講演会・第8回永青文庫セミナーを開催した。

展示会、講演会とも好評で、期間中合わせて300名を超す参加があった。



### 【熊本学園大学附属図書館】

#### 1. ラーニング・コモンズ(以下、LC)オープン

図書館1階を一部改修し、9月20日正式オープンしました。丸テーブルや電子ホワイトボードを設置し、利用者が入館の際、左手にオープンなLCスペースを見渡すことが可能となりました。



サポートデスクを設置し職員1名が常駐しています。図書館利用をはじめレポートの書き方や留学、就職などの相談に応じています。



また、学生コンシェルジュ（4年次）を配置し、学生目線の総合案内及び閲覧中の学生サポートを行っています。



利用者の長時間滞在をサポートするための自動販売機を設置しました。



学生の主体的な学びをサポートするため、ゼミの発表会・サークルの展示会・学生生活や就職などの情報発信スペースとして活用されています。



## 2. 「Library Lovers' 2013」の独自企画

本学では、独自企画の企画・実施に、図書館司書の資格取得を目指す学生たちが取り組みました。山田美幸商学部講師（図書館情報学）が担当する『図書館サービス特論』の受講生17名が講義の一環として参加しているもので、実施内容の企画立案、展示制作、広報活動を行いました。LCで行われた講義では、企画班と広報班に分かれてグループワークが実施されました。学生たちは、図書館内で集めた資料をもとにディスカッションしながら、企画案や広報展開について意見を出し合っていました。





### 3. 公式SNS運用開始

学生 300 名を対象に、1 月、図書館利用に関するアンケートを行いました。SNS サービスを利用している学生が 9 割以上を占め、図書館からの SNS による情報発信を希望する学生が 7 割以上いることが分かりました。そこで、4 月より「Facebook」と「Twitter」の運用を開始しました。双方の投稿内容は差別化し、「Facebook」は、図書館や学内情報を幅広く発信し、「Twitter」は図書館キャラクター「ひのと」が学生目線で日常会話を「ゆるーく」つぶやいています。

## 【佐賀大学附属図書館】

### 1. アメリカンシェルフ

アメリカンシェルフとは、アメリカ大使館・領事館が各地の図書館にアメリカを知るための図書を寄贈し、その本を使って文化交流を図るパートナーシップ・プロジェクトである。平成 24 年 12 月 18 日（火）に、在福岡アメリカ領事館広報部福岡アメリカンセンターと、佐賀大学附属図書館・佐賀大学アメリカ社会文化研究所との間で、パートナーシップの覚書を交わした。これにより、留学ガイド、英語学習書、旅行ガイドブック、小説等 238 冊の図書が寄贈された。当館では本館 3 階にアメリカンシェルフコーナーを設置し、平成 25 年 4 月 24 日（水）にオープニングセレモニーを開催した。



覚書調印式ではマイケル・チャドウィック在福岡アメリカ領事による記念講演、オープニングセレモニーではマーク・J・ディビッドソン米国大使館公使による記念講演が行われ、多数の学生が参加し、有意義な講演会となった。

今後このパートナーシップを活用し、講演会やセミナー等を開催して行く予定である。

## 2. Library Lovers' キャンペーン

九州地区大学図書館協議会の図書館キャンペーン事業に参加した。今年度は第4回目。今回は、「収穫の秋 読書の芋。～九州まるっと収穫祭～」というテーマで開催した。

## 3. 学生選書委員会活動

学生選書委員会の活動は、平成18年開始より8年目を迎え、選書ツアー（8月：福岡市天神の書店での選書+BIZCOLI、ブルックリンパーラー見学、9月：佐賀市の書店での選書+武雄市図書館見学）、職場体験及び館内展示等を実施した。

選書ツアー後は学生選書委員と職員とでミーティングを開催し、選書した本の審議を行った。

その後、学生選書委員は、図書館の仕事体験の一つとして、本のバーコード貼りや背ラベル貼りなどの装備をした。

本館は1階カウンター前、医学分館はエントランス近くの目立つ場所に、選書された本は並べられる。他の学生にもとても人気のあるコーナーとなっている。



## 4. ビブリオバトル

10月22日(火)「ビブリオバトル首都決戦2013」に向けての学内予選会を開催した。学生の読書離れに対する解決策のひとつと考え、今回、佐賀大学では初めての試みとして行った。紹介された本はバトラーそれぞれの思い入れのあるものであり、手持資料なしで、自分の言葉だけで勝負した。続いて観客とのディスカッションも大いに盛り上がり、90分間の熱いバトルが終了した。今後も積極

的にビブリオバトルを開催していく予定である。



## 5. イベント

### (1) 図書館月間講演会

当館では、11月を「図書館月間」として、市民・学生・教職員を対象とした講演会などを開催している。

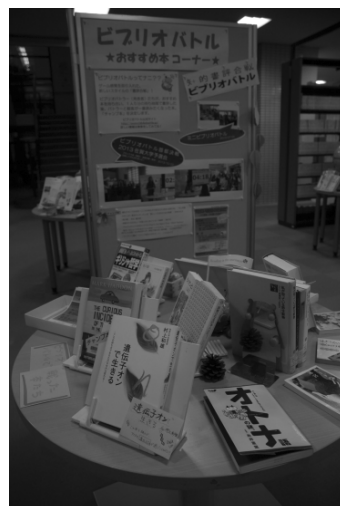
今年は「ビブリオバトルの勧めー社会で役立つ“プレゼン能力”を学ぼうー」をテーマに講演会を開催した。

日時：11月11日（月）14：00～15：30

講師：中山功一氏(佐賀大学大学院工学系研究科 准教授)

### (2) 図書館月間資料展示

11月1日（金）から29日（金）まで、当館1階でミニビブリオバトル大会等でのお薦めの本を展示した。



## 6. 除籍図書の無償譲渡

当館では、重複や保存の必要が無いとの理由により除籍した図書の再利用を目的として無償譲渡を行っている。平成24年度は、本館約1万冊、医学分館約1千冊、平成25年度上半期は本館約3千6百冊の除籍図書をエントランスホールに並べて、その中から本学の学生・教職員、一般利用者の方に先着順で譲渡を行った。



## 【長崎大学】

### 医学分館改修期間中のサービス

医学分館では、平成25年8月より耐震改修・書庫増築工事を行っている。そのため、医学分館に隣接するポンペ会館1階に医学臨時図書室を設け、図書館サービスを提供している。

同室には、約3000冊の図書資料、87タイトルの雑誌、400タイトルのDVDと、パソコン5台、閲覧座席7席を備えている。非常に手狭であるが、貸出冊数を1回5冊から10冊までに変更するなど、貸出中心のサービスを実施している。また、開館時間については、通常と同じく、平日は午前8時30分から午後10時、土・日・祝日は午前10時から午後6時30分である。

改修後の医学分館の完全なサービス再開は6月を予定しているが、5月初旬までに、改修後の建物の一部を利用して閲覧・貸出などのサービスを部分再開できるよう計画中である。



### 古写真展の実施

本年の長崎市立図書館との共催で、10月10日から27日にかけて、「職業写真師 上野彦馬の誕生」展を長崎市立図書館で開催した。

上野彦馬は、幕末に国内最初期の一人の職業写真家として著名ですが、今回の古写真展では、本学所蔵の古写真だけでなく、江崎べつ甲店所蔵の『上野彦馬撮影局-開業初期アルバム』、そしてオランダのライデン大学所蔵の『W. A. コックアルバム』に収められた貴重な写真が数多く公開された。

なお、本年は、附属図書館古写真事業の25周年にあたり、本事業はその記念事業である。

### ギャラリーでの展示

11月にDNAの二重らせん構造の共同発見者の一人であるJ. D. ワトソン博士の本学への訪問に合わせて、ギャラリーでWatson Week 2013を開催した。パネル展示のほか、博士の著書や科学関連啓蒙書の展示も行った。



図書館では、4月から11月までに井川名誉教授の現代美術展を2回、書道部・華道部の合同展示会、職員企画の伊藤秀三名誉教授寄贈のガラパゴス関連図書展示会、そして水産・環境科学総合研究科の博士研究員による官立長崎師範学校の教員であった玉木鶴亭の教育資料展示会を開催するなど、多彩な企画を実施している。

### 「ニュースを考えよう」ボードの設置

経済学部分館では、学生にニュースについて身近に考えて欲しいという思いから、階段踊り場に「ニュースを考えよう」ボードを設置している。ボードには職員が用意したニュース記事を貼り、余白にニュースを読んだ利用者が自由にコメントを残し、シールで賛成、反対等気軽に意見表明できるようにしている。

これまでに就活関連、問題ツイート、東京オリンピック開催などについての記事を使用した。



### 図書館サポーターの活動開始

中央図書館の改修工事の竣工を機に、新しい図書館サービスのひとつとして、図書館サポーターを募集したところ、現在までに各学部から6名の応募があった。

サポーターによる数回の打ち合わせを経て、今後の活動として、広報、企画、学生選書ツアーの補助、図書館モニターや定例ミーティングなどが決定された。

既にくつかりの活動も実施され、今後も図書館サービスをさらに活性化させるべく、サポーターの活躍が期待されている。

### 「English Café」を館内で開催

本学言語教育研究センターでは、学生がコーヒーを飲みながら、英語のネイティブ・スピーカーの先生を囲んで英語だけの会話を楽しむ「English Café」を前年度末から学内で開催していた。しかし、参加者の増加により当初の開催教室では手狭になったことから、平成25年5月末より、毎週木曜日16時10分から17時40分に中央図書館2階ライブラリ・ラウンジで開催されるようになった。

新装なった図書館では、学内の他部局に活動の場を提供することにより、学内機関との連携、施設の有効活用や利用者サービスの向上に寄与している。



### 学生選書ツアー

11月8日、長崎市内の大型書店にて学生選書ツアーを開催した。



このイベントは、九州地区国公立大学・高専図書館共同イベント「Library Lovers' キャンペーン」における本学独自企画の一つとして実施したもので、13名の参加者のほか、今年度より活動を開始した図書館サポーターが参加し、運営補助を行った。



## 【福岡教育大学】

### (1) 学生懇談会の実施

平成24年12月、学術情報センターを利用している大学院生および学生から参加者を募り、センター長との懇談会を実施した。参加者は9名だったが、図書館に対する意見や要望など活発な意見交換がなされた。懸案事項である図書館改修や各種講習会実施時の広報に対する意見もあり、今後図書館を運営・改善していくうえで、とても有意義な会であった。

また、懇談会の参加者には、他の学生にも薦めたい図書の選書をしてもらい、購入した図書は『学生選書コーナー』に配架され、利用者によく利用されている。



### (2) 利用者アンケート調査の実施

平成25年1月、今後の図書館サービスの改善と充実をはかるために、大学院生・学生を対象として、図書館資料や図書館利用に関するアンケート

を実施し、利用者のニーズや評価などの調査を行った。図書館の蔵書や施設に関する利用者の要望などを、図書館の収書方針や今年度進行中の図書館改修工事、また、改修後のサービス提供に活かす予定である。

### (3) 図書館活性化プロジェクト

平成24年7月の組織統合により誕生した「学術情報センター」に設置された研究部門「学術情報運用部門」において、最初の取り組みとして「図書館活性化プロジェクト」を立ち上げた。このプロジェクトの目的は学生、教員、学術情報課（図書館）の三者が協働して、下記の3つの事業を試行することにより、学習とコンテンツ（図書館資料）の近接による能動的学習を実現する場や制度を創出することである。

①子ども図書室プログラム

②先進的な取り組みを行っている図書館の視察

③「教師力」育成関連推薦図書リストの作成

特に、「③『教師力』育成関連推薦図書リストの作成」の一環として、「教師力育成」、「困らないためのレポートの書き方」、「知ろう！学問の最前線」「今月の本」の4つのテーマで選書した図書を購入・配架しており、利用者が足を止めることの多いコーナーとなっている。

#### (4) 大学オープンキャンパス協賛

平成 25 年 7 月 27 日開催のオープンキャンパス行事に参加し、「うた絵本をつくろう！」という企画と「ビブリオバトル」を実施した。

「うた絵本をつくろう！」は、これまで自主的活動として取り組んできた「子ども図書室」活動を、図書館活性化プロジェクトの一環としてオープンキャンパス特別企画という位置付けで実施したものである。高校生や中学生を対象に「うた絵本」作りを行い、絵本の楽しさやお話を元に工作をする楽しさなどを体験してもらうもので、予定数を超える 19 名の中高校生達が、意欲的に活動に取り組んでいた。

「ビブリオバトル」は、文芸部が主催した企画を図書館が支援するというかたちでの実施であったが、図書館が学生による文化活動・知の発信を支援するセンターとして機能することをねらいとする初めての取り組みとして大変有意義であった。



「うた絵本を作ろう！」

#### (5) 図書館改修工事

平成 25 年 9 月より、図書館耐震改修工事を行っている。工事は平成 26 年 3 月完了予定で、リニューアルオープンは 7 月を予定している。今回の改修においては、学内の情報関連管理機器の集約や、学習環境の整備としてラーニング・コモンズや研究個室の設置のほか、喫茶コーナーの設置などを予定している。

### 【宮崎大学附属図書館】

#### 1. 宮崎大学ビブリオバトル

10 月 17 日、ラーニングコモンズにおいてビブリオバトルを開催した。共通教育科目の授業と連携し、ビブリオバトル首都決戦 2013 の予選会も兼ねて実施した。5 名の発表者及び 41 名の聴衆者の参加があり、緊張の中にも和やかに繰り広げられ、チャンプ本を決定した。



ビブリオバトル首都決戦 2013 予選会

#### 2. 学生選書ツアー

10 月 25 日、市内の大型書店にて初めての学生選書ツアーを実施した。学生 7 名の参加があり、副館長 1 名、職員 4 名で選書ツアーを行った。学生はそれぞれ各フロアを回り、専門分野や興味のある本を選書していた。選書した図書は、学生手作りのポップをつけて展示する予定である。



### 3. Library Lovers' キャンペーン

今年度も九州地区の国公立大学等図書館による合同企画「収穫の秋 読書の芋。～九州まるっと収穫祭～」に参加した。コメントを寄せた学生には、「図書館オリジナルクリアファイル」と「手作りしおり」をプレゼントした。

また、オリジナル企画として、毎年好評の「しおり工房」も実施した。毎年秋のイベントとして定着してきている。

### 4. 大学開放事業「みやだい WakuWaku 体験 Day」

11月16日～17日に大学開放事業が実施され、図書館の開放とともに、廃棄図書のリサイクル市を実施し、訪れた一般市民・学生・教職員へ図書を無償配布した。

また、本館では「芥川賞・直木賞・本屋大賞」本の展示、医学分館では、「医学の歴史」についての企画展示を実施した。



リサイクル市

## 【琉球大学】

### (1) 企画展

平成20年5月より、本館ロビー正面に「企画展コーナー」を設置しています。このコーナーでは、約2か月毎にテーマを変えて、利用者みなさまへオススメする本等を紹介しています。

#### 【平成25年度実施企画展】

○4～5月「ブックハンティングに行ってきました！」



企画展示「医学の歴史」→

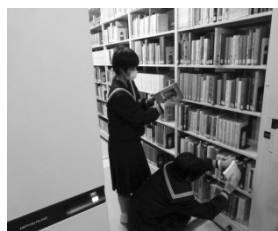
←企画展示「芥川賞・直木賞・本屋大賞」



### 5. 中学生の職場体験学習

地元の中学生在が11月に3日間、職場体験学習のため来館した。本館で2日間、医学分館で1日間、図書館業務の体験学習を実施した。

貸出業務をはじめ、受入から配架までの業務を一つ一つ丁寧にこなしていた。大学図書館の業務の多さや作業の大変さを実感したようだった。



○6～7月「環境展～地球ともっと仲良しになろう！～」

○8～10月「応募対象拡大！びぶりお文学賞募集☆」



## (2) EU資料展

琉球大学附属図書館はEU資料センターとして、例年5月から6月の間に、駐日欧州委員会代表部が主催する日本と欧州連合の友好週間イベント「日・EUフレンドシップウィーク」の一環で、欧州連合（EU）に関する理解を深めることを目的に「EU資料展」を開催しています。

今年は6月3日（月）から6月14日（金）までの2週間、附属図書館本館2階情報ラウンジにおいて「EU資料展 フランス～教養もお洒落もパリジェンヌ級で！～」を開催しました。

EUの紹介とともに、EU現加盟国の一つであるフランスを紹介するパネルや、フランスの文化に関する資料を展示しました。また、EUの広報資料も展示・配布しました。



## (3) 平成25年度貴重書展「文献資料にみる琉球・沖縄 いん 読谷」を開催

琉球大学附属図書館では、開館以来収集してきた沖縄関係資料のなかでも、普段一般に公開していない貴重書を中心に、多くの市民に見てもらおうと県内各所において毎年貴重書展を開催しています。平成25年度は9月4日（水）から9月15日（日）までの間、読谷村教育委員会との共催により読谷村立歴史民俗資料館にて開催されました。本学所蔵資料の中から県指定文化財、新収蔵資料、開催地である読谷村に係わる資料を中心に厳選した27点のほか、共催機関からの展示として読谷村立歴史民俗資料館蔵の1点、及び大正期から戦後の沖縄の風景を撮った写真パネル等55点が展示され、約800名が来場しました。また7日には、大城學氏（法文学部教授）による特別講演「読谷の文化と芸能」が開催され、約60名の来場者で大いに賑わいました。





#### (4) 「きじむんのどうーちゅいむにー」について

琉球大学附属図書館では、沖縄資料担当の職員によるコラム「きじむんのどうーちゅいむにー」の館内パネル掲示をはじめました。

「どうーちゅいむにー」とはウチナーグチで「独り言」を指しています。毎月、季節に応じた琉球の歴史・文化、年中儀礼に関する話題や関連する図書館の所蔵資料の紹介など、当館職員おすすめの情報を提供しています。本館内にてパネル掲示をするほか、PDFデータをバックナンバーとしてHPにて公開しています。



#### (5) 文芸ワークショップ「小説の書き方講座」を開催

7月10日、文芸ワークショップ「小説の書き方講座一目取真俊氏を迎えてー」を開催しました。前半は、本学出身であり、『水滴』で第117回芥川賞を受賞した目取真俊氏を講師に迎え、参加者10名の完全予約制で、約60分間の講演が実施されました。後半は、目取真俊氏への質疑が行われ、次々と質問が寄せられました。

本ワークショップは、今年で第7回となる琉球

大学びぶりお文学賞への応募を促すと同時に、県内大学の文学活動の更なる活性化を目指し企画されたもので、大きな反響を呼びました。



#### (6) 文芸ワークショップ「書くのよ！受賞者聞く、びぶりお文学賞受賞の秘訣」を開催

「小説の書き方講座」に続いて8月9日、文芸ワークショップ「書くのよ！受賞者聞く、びぶりお文学賞受賞の秘訣」を開催しました。このワークショップでは過去の受賞者をパネリストに迎え、90分間、参加者と質疑応答を交わす形で意見交換会を行いました。今回のワークショップ参加者は「次回のびぶりお文学賞へぜひ応募したい」と答える学生もおり、びぶりお文学賞への関心の高さもうかがえました。

#### (7) 附属図書館（本館）開館時間の延長について

附属図書館（本館）では、学生を中心に開館時間の延長を求める声が多数あり、その要望に応えるため平成25年度から開館時間を大幅に延長しました。これまで夜間開館のなかった休業期平日に夜間開館を実施し、閉館であった休業期の土日祝日においても開館を実施、また通常期の土日祝日の開館時間も延長しました。これにより先に開館時間延長を実施している医学部分館と同様に、休館日（年末年始等）を除き、ほぼ毎日、朝8時30分から夜10時まで開館することになりました。

また通常期の平日は、朝の開館時間を30分早めにして朝8時に開館する早朝開館も前年度から実施しています。

【附属図書館（本館）開館時間】

8:30～22:00（通年） ※ただし通常期の平日は早朝開館（朝8時開館）を実施

【休館日】

年末年始・入試期間中・開学記念日・琉大祭

(8) Library Lovers' キャンペーンに参加

九州地区の国公立大学図書館による合同企画「Library Lovers' キャンペーン」（10月21日～11月17日）に参加しました。合同企画「収穫の秋 読書の芋。～九州まるっと収穫祭～」のほか、11月1日より当館の独自企画として以下のイベントを実施しました。

◎本のリユース

図書館利用者から不要になった本を集め、無償で提供する場を設けました。期間中、約100冊の本が集まりました。

◎国語教科書と私

思い出の国語教科書の作品のコメントを募集するイベント。コメントが寄せられた作品のうち、図書館に所蔵されているものは展示も行いました。期間中、10件のコメントが寄せられました。

◎迷子の本を探せ！

使用后、誤って別の場所に戻された等の理由で図書館内で不明になってしまった本を探索す

るイベント。期間中、10冊中4冊の本が見つかりました。



合同企画の様子



本のリユース

## Library Lovers' キャンペーン 2013 実施報告

九州大学附属図書館 北島 光朗

### 1. Library Lovers' キャンペーン 2013 の企画

#### 1-1. キャンペーン実施にあたって

10/21 (月) ~11/17 (日) の一ヶ月間、秋の読書週間に合わせ Library Lovers' キャンペーン 2013 を開催した。本キャンペーンは大学図書館の利用促進・学生の読書推進を目的に九州地区の大学図書館が合同で実施しており、今回で4年目となる。昨年度からは九州地区大学図書館協議会事業となり、さらに、今年度から3年間の継続実施が決定している。

昨年度の反省としては、企画内容の敷居の高かった事、企画運営を行うワーキンググループ(以下WGとする)メンバーの負担が大きかった事が挙げられた。そこで今回は、企画段階からキャンペーンに関与できるよう、協議会加盟館全館より企画案を募集した。また、WG作業の効率化を図るため、WG会議の日程を昨年の半日から1.5日に延ばし、この間に可能な限り企画準備作業を進めることとした。さらに、会議に先立ち、広報等に関する事前研修資料を配布し、WGメンバーのスキル向上と意識合わせを図った。

#### 1-2. 参加館募集までの流れ

参加館募集までのスケジュールは以下の通りである。

5月中旬～ 協議会加盟館からキャンペーン企画案募集およびWGメンバー募集

↓

5/29 キャンペーン企画案募集締切

↓

7/2 WGメンバー決定 9大学(国立7、私立2)11名

↓

WGメンバーで企画案検討・絞り込み(メーリングリスト上)、事前研修

8/8,9 WG会議開催

キャンペーン合同企画決定

↓

9/9 加盟館宛参加館募集

↓

9/20 参加館募集締め切り

### 2. キャンペーン開始まで

#### 2-1. コンセプトの決定

8月8日午後から9日夕方にかけて、九州大学において、WG会議を行った。会議初日には、まずWGの中でのチーフ2名を選出した上で、合同企画についての議論から開始した。キャンペーンの九州全体での活性化を狙い、合同企画を決定する基本意識として、

- ・九州全体で共有できるもの
  - ・どの学生にとっても参加しやすいもの
  - ・参加館の心理的、物理的負担が少ないもの
- とすることをメンバー間で確認した。

#### 2-2. 合同企画の決定/内容

上記を踏まえ決定した今年度の合同企画が「収穫の秋 読書の芋。～九州まるっと収穫祭～」(以下「読書の芋」という)である。

「読書の芋」は、「さつま芋」型の用紙を用いてお勧め本のコメントを募集し、芋畑を模した台紙に貼付してゆく展示企画である。芋畑をモチーフとしたのは、下記のような理由からである。

- ・「育つ」展示はキャンペーンの進行と共に変化を楽しめる
- ・さつま芋に九州らしさ、親しみやすさがある
- ・読書と芋をかけ合わせ、収穫の秋をイメージさせる

また、キャンペーン開始直後の展示が物寂しくならぬよう、キャンペーン前に教員からのお勧め本のコメントを集め、「芋の葉」として予め

貼付することとした。これは『教員からのコメント（芋の葉）を養分に、学生の芋が実る』というコンセプトも含み、さらに、芋の葉を参加館で共有することで、九州の大学の英知を集約する目的もある。

この企画では、本のみならずお勧めの音楽、映画も投稿可とし、参加の敷居を下げるよう試みた。また、お勧め本のジャンルとして、「やる気芋（やる気が出る本）」「ほっこり芋（癒される本）」「しみり芋（涙が出るような本）」「衝撃の芋（衝撃を受けた本）」「なんでも芋（<sup>いーも</sup>その他ジャンルの本）」を設定し、参加館は任意でテーマを選択できることとした。

### 2-3. 実施準備

WG会議2日目以降、企画準備に携わる「芋班」と、広報に携わる「Web 広報班」に分かれて実施準備を進めた。

#### 【芋班】（7名）

主に企画内容の精査と、展示のための作業を担当した。会議中には合同企画の実施要項の作成、作業の洗い出し、担当決めを行い、会議後は分担して作業を行った。

芋班の重要な役割の一つが、展示に使用するテンプレート等を可能な限り準備し、参加館の作業負担を軽減することである。まず、WGメンバーが事前に教員から集めたコメントを、芋の葉の用紙に加工して参加館へ配布した。この他にも、学生用の芋コメント用紙、合同企画のタイトルロゴ、装飾等、各種テンプレートを作成し、参加館が自由に使用できるようにした。

また、班員の一人が、キャンペーンキャラクター「いーもくん」を考案し、これが後に大好評となった。

#### 【Web 広報班】（4名）

本班では、会議中に、ポスターの制作及び使用するウェブツールの選択と準備を行った。ウェブツールについては、キャンペーン

の様子や投稿コメントを九州全体で共有するため、また、より多くの学生へのキャンペーン周知のため、学生に身近な下記のツールを使用した。

- ・ブログ…キャンペーンホームページ、参加館によるブログ
- ・ブクログ…投稿コメントの共有
- ・Twitter…学生への広報
- ・Facebook…各大学の展示写真共有、学生への広報

昨年、展示写真の公開のため、上記以外に「フォト蔵」というツールを使用した。使用するツールが多すぎるとアカウントの管理も煩雑になるため、写真公開はFacebook 内で行うこととした。会議後は、おのおのウェブツールのコンテンツ作成を行った。



キャンペーンポスター（上）  
いーもくん（下）

### 2-4. 参加館募集

1-2 のスケジュールに則り、協議会加盟館宛にキャンペーン参加館募集を行った。キャンペーンへの参加スタイル及び参加大学数は以下のと



おりである。

1. 合同企画に参加  
26 (国 10 公 3 私 12 短 1)
2. 独自企画のみ実施  
3 (私 3)
3. 広報のみ参加  
16 (国 1 公 3 私 6 短 6)  
+ 鹿児島県大学図書館協議会  
計 45 大学 (国 11 公 6 私 21 短 7)  
+ 鹿児島県大学図書館協議会

今回、私立大学図書館協議会の九州地区研究会等でもキャンペーンの紹介をしたところ、九州地区大学図書館協議会非加盟館からも多くの参加表明があり、前年度より大幅に増加した。

### 3. キャンペーンスタート

#### 3-1. 合同企画「収穫の秋 読書の芋。～九州まるっと収穫祭～」

合同企画の実施スケジュールは以下のとおりである。

- ～10/4 教員からのコメント収集
- 10/22 キャンペーン開始  
合同企画初期写真の掲載
- 11/5 合同企画中間報告  
写真の掲載
- 11/17 キャンペーン終了
- 11/18 合同企画最終報告  
写真の掲載

芋の葉(教員コメント)のみ貼付した状態で、芋畑の展示を開始した。展示の近くに芋のコメント用紙を設置し、学生が自由にコメントを投稿できるようにした。各大学の芋畑の写真は、キャンペーン開始時、途中、終了時に Facebook で公開し、九州各地で芋畑が育ってゆく様子を学生が閲覧できるようにした。立体的な芋畑や地を這う芋畑など、各館工夫を凝らした芋畑が登場し、芋が実ってゆく様子は非常に嬉しいものであった。また、投稿されたコメントを九州地区全体で共有するため、日々の投稿されたコメントは各館でブックログに登録した。ブックログ

も、テーマ毎、大学ごとの芋の数が日に日に増えていき、非常に見ごたえがあるものとなった。コメント投稿数は、キャンペーンが進むにつれて徐々に増加し、最終的には 1025 冊、1137 件のコメントが集まった。

#### 3-2. 広報

キャンペーン期間中、ウェブ上でも、以下のようなウェブツールを用いて、広報を行った。

##### ① キャンペーンホームページ



<http://librarylovers2013.blog.fc2.com/>

キャンペーン全体の広報を行う。合同企画のみならず、参加大学が写真を交え自館の概要・キャンペーンの様子を紹介した。

##### ② ブックログ



<http://booklog.jp/users/librarylovers13>

各参加館で投稿されたおすすめ本およびそのコメントを登録し、九州地区全体で共有した。日に日に本棚の中身が更新されており、非常に見ごたえがあった。

### ③Twitter



[https://twitter.com/library\\_lovers](https://twitter.com/library_lovers)

キャンペーンに関するトピックを逐一投稿した。

ハッシュタグを#ll\_imo に統一し、キャンペーンに関する速報を届ける役割を果たした。

### ④Facebook



<https://www.facebook.com/LibraryLoversKyushu>

キャンペーン開始時・中間・最終の3回にわたり合同企画の各館の報告写真を掲載した。九州各地の工夫を凝らした芋畑が育つ様子は、非常に面白いものであった。

### 3-3. 独自企画

キャンペーン中、11大学が独自企画を行った。図書館内に事件が起き謎解きをする「Library Hunting」、「図書館のなぞを解け！狙われた能面」や、不明本を捜索してもらう「迷子の本を探せ！」等、図書館に足を運ばせる、また実際の業務にも役立てられるような企画が実施された。また、

「ビブリオバトル」や「本のリユース」など、複数の大学で実施されたイベントもあり、キャンペーンの過去の取り組みが共有、評価された結果であると思われる。

## 4. 総括

### 4-1. 合同企画について

キャンペーン中は学生、教員から 1025 冊、1137 件ものコメントが集まり、昨年の「九州文学地図」のおよそ 2 倍の投稿数となった。投稿しやすい企画テーマを設定し、学生にとっての企画参加の敷居を下げた効果が現れたと思われる。アンケートからは、展示を熱心に見ていく学生が多かった、芋畑の展示によって館内が明るくなったという声が多く聞かれた。一方、投稿を促すのが難しかった、募集テーマを分けすぎて企画説明の掲示が煩雑になったとの意見もあり、可能な限り企画内容をシンプルにし、学生にとっても参加館にとってもより気軽に参加できるような企画にする必要性を感じた。また、「広報のみ」で参加する館の学生も、よりキャンペーン内容を楽しめるような工夫があるとよいと感じた。

総じて今回の合同企画内容については好意的な意見が多かった。とりわけ、参加館、学生ともにキャンペーン公式キャラクター「いーもくん」の評判が非常に良かった。

### 4-2. キャンペーンの進め方について

WGによる企画運営については、最初のWG会議を 1.5 日に伸ばし、企画の詳細決定及び作業準備まで行ったことで、各メンバーの作業負担が大幅に軽減できた。また、芋班、Web 広報班の作業分担も適切で、効率的に作業を進めることができた。

スケジュールについては、参加館募集やテンプレートの公開等、当初の予定より遅れ気味になってしまい、参加館の準備期間が若干余裕のないものになってしまった。スケジューリングや準備事項等に関する情報も毎年蓄積し、全く

新しいメンバーでもスムーズにキャンペーンを進められるようにする必要がある。

参加館は、前年度より大幅に増加した。とりわけ、初参加の大学からは好意的な意見が多く、今後も協議会の枠を超え広く参加呼びかけをしていくとよいと思われる。アンケートによると、参加館の準備の負担を減らすためテンプレート等を配布したことが大いに役立ったようである。また、「他館のアイデアで今後参考にしたいものがあった」という回答が多く、キャンペーン外でも各館における活性剤となる役割を果たしたと思われる。

#### 4-3. 来年度に向けて

合同企画の方向性としては、今回の「読書の芋」のようなシンプルな企画の路線で、より多くの学生が参加しやすく、親しみやすいものにするのがよいと思われる。企画内容とともに、学生が自然と参加したくなるような展示の工夫、

雰囲気作りが求められる。また、参加を促すためのインセンティブとなるようなものがあるとよい。館によっては、自費でオリジナルグッズを作成していた。今後は、協議会でのキャンペーンの予算化、学内他組織とのコラボ、企業からの協賛等を目指したはたらきかけが必要かもしれない。

若手職員のスキルアップ、人的ネットワークの形成という点では、毎年実をあげていると思われる。今後も企画運営のノウハウやウェブサービスの技術等を蓄積し、継承していくとよいだろう。

また、来年度も更なる参加館の増加と満足度アップに期待する。九州地区全体で、教員・学生の知の共有及び各図書館のアイデアの共有を進めることで九州地区の大学図書館が今以上に活性化し、図書館の学内での存在感アピール、ないしは全国での注目度アップにつながることを期待する。

# 図書館活動報告

## 福岡県・佐賀県大学図書館協議会

### 【平成 25 年度総会】

日 時：平成 25 年 5 月 24 日（金）13:30～16:10

会 場：九州共立大学 深耕館 S349 教室

参加館：35 館（50 名）

当番館：九州共立大学附属図書館

協議事項

- (1) 福岡県・佐賀県大学図書館協議会会則の改正について
- (2) 平成24年度決算報告および監査報告について
- (3) 平成25年度事業計画および予算案審議について
- (4) 次期理事館および監事館の選出について  
理事館 九州大学附属図書館  
監事館 福岡工業大学附属図書館
- (5) 福岡県図書館協会理事の選出について  
九州大学附属図書館（2名）

地区研究会報告

- (1) 北部地区  
近畿大学産業理工学部図書館  
学術情報センター長 長谷川 徹也 氏

(2) 福岡地区

筑紫女学園大学・短期大学部附属図書館  
図書館課課長 福田 千代子 氏

(3) 南部地区

有明工業高等専門学校図書館  
学生課長 野口 修 氏

報告事項

- (1) 平成25年度第99回全国図書館大会について

承合事項

- (1) 図書館の学習支援体制について

その他

- (1) 平成25年度「北部地区研究会目録講習会」  
（中級コース）について

西日本工業大学附属図書館

主事 中田 輝美 氏

講 演

演 題：「図書館員のための健康づくり」

講 師：九州共立大学附属図書館館長

森川 壽人 氏（スポーツ学部教授）

見 学

九州共立大学附属図書館

## 福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会

### 【第 1 回研究会】

日 時：平成 25 年 6 月 20 日（木）13:30～16:15

会 場：産業医科大学 大学本館 2 号館

出席者：14 館 24 名

当番館：産業医科大学図書館

議 事

1. 平成 24 年度会計決算及び監査報告
2. 平成 25 年度予算（案）
3. 目録講習小委員会について報告

承合事項

1. 高校への広報媒体としての図書館について
2. 選書ツアーの実施について

協議事項

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会の理事館、監事館について

その他

特になし

講 演

演題：「大学職員のメンタルヘルスについて」

講師：産業医科大学 図書館長 中村 純

次回当番館の確認

第2回当番館 西日本工業大学図書館

※閉会后希望者のみ図書館見学

### 【第2回研究会】

日時：平成25年12月13日(金)13:00～16:10

会場：西日本工業大学 おぼせキャンパス

出席者：14館19名

当番館：西日本工業大学図書館

議 事

1. 平成25年度表彰者について

該当者 西南女学院大学

渡橋 英子 (オリハシエイコ) 氏

2. 報告事項

「平成25年度目録講習会」について報告

3. 協議事項

特になし

承合事項

1. 図書、雑誌の廃棄について

2. 機関リポジトリの対応について

その他

1. 平成26年度当番館確認について

2. 平成27年度当番館選出について

事例発表

図書館の新築移転について

西日本工業大学図書館

講 演

演題：「ウォシュレットの登場とトイレの進化」

講師：TOTO 歴史資料館 館長 山村 幹夫 氏

※閉会后希望者のみ図書館見学

## 福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会目録講習小委員会 平成25年度 北部地区研究会目録講習会（中級コース）開催報告

### 1. 目的

講習会の目的は目録業務担当者が共通に理解しておくべき、総合目録所在データベースの構成、内容、データ登録の考え方を再認識し、各図書館員のスキルアップを目指す。

### 2. 実施状況

日時：平成25年8月20日(水)9:30～17:00

場所：九州女子大学・九州女子短期大学

附属図書館 3F 多目的学習室

申込定員：30名

申込者数：11名

講師及び講師補助：

九州共立大学附属図書館（上井、築地）

九州国際大学図書館（坂田）

近畿大学産業理工学部図書館（白石）

九州女子大学・女子短期大学

附属図書館（矢崎）

西日本工業大学図書館（中田）

### 3. 講習内容

- ・目録検索、所蔵登録（再確認）
- ・書誌修正、流用入力・書誌新規入力(再確認)
- ・グループ演習説明
- ・グループ演習／個人回答
- ・グループ演習／グループ討議
- ・情報源の取り方・演習回答説明

テキストや登録課題、データベース環境は国立「今後の課題として以下の2点があげられる」学研究所から提供を受け、北部地区独自の課題も作成した。演習とグループディスカッションを重視した。個人で回答となる目録データを作成し、それを基にグループディスカッションを行った。

### 4. 実施結果

日常的に一人で業務を遂行している参加者も多く、目録作成における問題点や疑問点を相談できる環境にいない。そうした参加者にとって

はグループディスカッションで課題を解決していくことは有意義であった。また、目録小委員会メンバーがファシリテーターとして参加することで、講習会実施側の質的改善も図れた。

## 5. 今後の課題

今後の課題として以下の2点があげられる。

① 講習会の実施は目録小委員会の充実と継

続性が必要である。会場校や委員会メンバーの負担も少なくない。人材育成や北部地区研究会の相互協力という観点から積極的な運営体制が求められる。

② ワークショップ形式の講習会を継続し、各図書館における目録担当者のスキルレベル向上を目指す。

## 平成25年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会 福岡地区研究会記録

日 時：平成25年11月29日(金)13:30～16:40  
(受付開始 13:00)

会 場：九州産業大学図書館4階 多目的ホール

出席者：12館 23名

当番館：西南学院大学図書館

九州産業大学図書館

東海大学福岡短期大学図書館

報告者：九州産業大学図書館

図書館職員 永井 淳 氏

(2) 題 目：本と学生と社会を繋げる

－「西南学院大学書店」の試みから見たもの－

報告者：西南学院大学図書館

図書館職員 八尋 芙美子 氏

### 1. 研究会開会 (13:30～13:40)

・当番校館長挨拶

九州産業大学図書館 館長 横山 秀司 氏

### 2. 講 演 (13:40～14:50)

・演 題：「図書館職員に求められるもの  
－もう一つの貸し出しが把握できますか－」

・講演者：くまもと森都心プラザ

館長 田中 榮博 氏

### 3. 休 憩 (14:50～15:10)

### 4. 事例報告 (15:10～16:10)

(1) 題 目：学部の特化した図書館利用者サービスの取組みについて  
－芸術学部移動図書館 実績報告－

### 5. 承合事項 (16:10～16:30)

・平成25年度図書館開館状況及びサービス内容等について

提案大学：九州産業大学

九州産業大学より提案理由および、回答に対してお礼が述べられた。

### 6. 平成26年度福岡地区研究会当番館の紹介

(16:30～16:35)

・次期当番館として、福岡教育大学 学術情報センター図書館、福岡女学院大学図書館、九州情報大学附属図書館が紹介され、当番館を代表して、福岡教育大学から挨拶があった。

### 7. 閉 会 (16:35)

※閉会后、希望者を図書館へ案内した。

## 福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会

### 【平成 24 年度 第 2 回研究会・総会】

日 時：平成 25 年 3 月 28 日(木)14:00～16:30  
会 場：保健医療経営大学大会議室（本館 2 階）  
出席者：10 館 13 名  
当番館：保健医療経営大学情報メディアセンター  
図書館

#### 議 題

##### 研究テーマ

- (1) 電子ジャーナルの購読における、問題や有効な利用、可能性について

##### 協議事項

- (1) 平成 25 年度研究テーマについて
  - ①学生の学習支援のための環境整備について  
（「ラーニング・コモンズ」のあり方・運用を中心に）
  - ②教員や他部署との連携による学習・教育支援について

##### 承合事項

- (1) 蔵書点検について
- (2) 主に洋書において、スクラッチ式の電子版の運用について

#### 講 演

演 題：「電子書籍と NetLibrary のご紹介」  
講 師：株式会社紀伊國屋書店  
電子承認営業部 太田黒 弘昭 氏

#### その他

- (1) 平成 24 年度南部地区研究会のまとめについて

#### 総 会

- (1) 平成 24 年度決算について
- (2) 平成 25 年度予算（案）について
- (3) 平成 25 年度幹事館及び当番館の選出について

### 【平成 25 年度 第 1 回研究会】

日 時：平成 25 年 10 月 17 日(木)13:30～16:00  
会 場：九州龍谷短期大学図書館 本館 2 階  
出席者：13 館 16 名  
当番館：九州龍谷短期大学図書館

#### 議 題

##### 研究テーマ

- ①学生の学習支援のための環境整備について  
（「ラーニング・コモンズ」のあり方・運用を中心に）
- ②教員や他部署との連携による学習・教育支援について

##### 承合事項

- (1) 盗電について
- (2) 業務委託について
- (3) 絵本の配架の仕方

#### 講 演

演 題：「大学図書館近代化への一試み」  
ー公立図書館民営化・学校教育 ICT 化の視点からー

講 師：九州龍谷短期大学教授 内野 安成 氏

#### その他

- ・当番館のローテーションの検討

## 佐賀県大学図書館協議会

### 1. 平成 25 年度総会

日 時：平成 25 年 8 月 20 日(火)11:00～13:00  
当番館：西九州大学短期大学部附属図書館  
会 場：西九州大学短期大学部附属図書館  
学習室  
出席者：8 名

#### 協議事項

- ① 平成 24 年度決算報告について
- ② 平成 25 年度予算（案）について
- ③ 平成 26 年度幹事館および監査館の選出について
- ④ その他

報告事項

- ① 各大学図書館の活動状況について
- ② 佐賀県読書推進運動協議会・総会の報告について

承合事項

- ① 所蔵されている電子ジャーナルの数とタイトルについて
- ② 臨時職員（嘱託やアルバイトを含む）について

懇談会及び情報交換

## 長崎県大学図書館協議会

### 1. 平成 25 年度総会

期 日：平成 25 年 7 月 5 日(金)15:00～17:00

会 場：活水女子大学

出席者：11 館 20 名（外に長崎県公共図書館等協議会より 1 名）

議 題：

- (1) 平成 24 年度事業報告について
- (2) 平成 24 年度決算・監査報告について
- (3) 平成 25 年度事業計画（案）について
- (4) 平成 25 年度予算計画（案）について
- (5) 平成 25 年度役員館等の選出(案)について
- (6) その他

報告等：

- (1) 各館の当面する諸問題について
- (2) その他

### 2. 研修事業（平成 25 年 1 月～12 月）

- (1) 長崎大学附属図書館(新中央図書館)見学会  
日 時：平成 25 年 5 月 17 日(金)15:00～17:00  
会 場：長崎大学附属図書館(新中央図書館)

内 容：平成 25 年 4 月にリニューアルオープンした長崎大学附属図書館（新中央図書館）の概要説明及び見学

参加者：14 名

- (2) 公共図書館等協議会との合同研修講演会

テーマ：レファレンス

日 時：平成 25 年 9 月 2 日(月)10:00～16:00

会 場：長崎大学情報メディア基盤センター

内 容：

「インターネットで使えるレファレンスツール」

講 師：佐藤 菜緒恵 氏（国立国会図書館サービス企画課情報サービス企画係）

「児童書・児童書関連資料の調べ方」

講 師：檜山 未帆 氏

（国立国会図書館 国際子ども図書館資料情報課書誌情報係）

参加者：90 名（大学 8 名，公共等 82 名）

## 熊本県大学図書館協議会

### 1. 平成 25 年度熊本県大学図書館協議会総会

日 時：平成 25 年 6 月 4 日(火)15:00～17:00

会 場：熊本学園大学付属図書館会議室(4 階)

出席者：12 館 25 名

議 事：

- (1) 平成 24 年度総会議事録の確認
- (2) 平成 24 年度事業報告について
- (3) 平成 24 年度収支決算並びに監査報告に

ついて

- (4) 平成 25 年度事業計画(案)及び予算(案)について

- (5) 次年度世話館について

- (6) その他（照会事項等）

- (7) 意見交換会



## 2. 平成 25 年度熊本県大学図書館職員研修会・ セミナー

日 時：平成 25 年 9 月 19 日(木)10:00～16:00

会 場：熊本学園大学付属図書館  
地下 A V ホール

### ① 午前の部（報告会）

『学術機関リポジトリ報告会 ～現状と課題～』

報告者：熊本大学 森下 和博 氏

熊本学園大学 廣松 亜矢子 氏  
九州ルーテル学院大学

水谷 江美子 氏

出席者：10 館 22 名

### ② 午後の部（講演会）

『JAIRO Cloud について』

講 師：国立情報学研究所 山地 一禎氏

出席者：10 館 21 名

## 大分県大学図書館協議会

### 1. 平成 25 年度総会

日 時：平成 25 年 9 月 5 日(木)16:00～17:00

当番館：立命館アジア太平洋大学ライブラリー

会 場：立命館アジア太平洋大学 第 1 会議室

出席者：18 名

協議事項等

〔協議題〕

(1) 平成 24 年度事業報告及び決算報告(案)、  
監査報告(案)について

(2) 平成 25 年度事業計画(案)及び予算(案)  
について

(3) 平成 26 年度役員館(案)及び当番館(案)  
について

(4) 「大分県大学図書館間相互利用実施要  
項・別表」の改正について

〔承合事項〕

(1) 他大学からの研究紀要及び学術系資料の  
取り扱いについて

(2) 学生の図書館利用促進、読書推進の一環  
として九州地区大学図書館協議会で実施  
する「Library Lovers' キャンペーン 2013」

への参加を検討しているが、各館の状況  
を伺いたい。について

(3) 冊子体と電子版の両方で可読な逐次刊行  
物の取り扱いについて

### 2. 講演会

日 時：平成 25 年 9 月 5 日(木)15:10～15:50

会 場：立命館アジア太平洋大学 第 1 会議室

講 師：立山 博邦氏（立命館アジア太平洋大  
学准教授）

演 題：「初年次科目とラーニングコモンズの  
連携について」

参加者：18 名

### 3. 研修会

日 時：平成 25 年 3 月 8 日(金)13:30～15:00

場 所：大分県立看護科学大学 中会議室

演 題：「効果的なレファレンスサービスの方  
法について」

講 師：森口 由利子氏（国立国会図書館 レ  
ファレンス係）

参加者：27 名

## 宮崎県大学図書館協議会

### 1. 平成 25 年度宮崎県大学図書館協議会総会

日 時：平成 25 年 9 月 19 日(木)14:30～16:00

会 場：宮崎産業経営大学 1 号館 3 階  
第 3 会議室

出席者：加盟 7 大学、1 高専及び宮崎県立図書  
館（オブザーバー館）

計 16 名

議 事：

- (1) 平成 24 年度 決算報告及び監査報告
- (2) 平成 25 年度 事業計画及び収支予算
- (3) 協議事項
  - ① メディアセンター化に向けて職員(含・館長)の研修の機会が設けられているか。また、研修内容はどうかあるべきか。
  - ② 図書館スタッフのスキルアップについて
  - ③ アクティブラーニング支援と教員との連携について
- (4) 承合事項
  - ① 「宮崎県大学図書館協議会と宮崎県公共図書館連絡協議会における図書館資料の

現物貸借要領」に基づく実績について

- ② 利用者教育(講習会等)について
- ③ 機関リポジトリの構築状況について

## 2. 平成 25 年度宮崎県大学図書館職員等研修会

日 時：平成 25 年 11 月 22 日(金)13:30～16:30

会 場：宮崎大学附属図書館 3 階 共同研究室

参加者：10 機関 20 名

第一部：「ビブリオバトル入門と実践」

講 師：元野 明 氏

(ビブリオバトルかごしま)

第二部：「展示のための図書のポップの作り方」

講 師：森下 直哉 氏 (紀伊國屋書店)

## 鹿児島県大学図書館協議会

### 1. 第 33 回鹿児島県大学図書館協議会総会

日 時：平成 25 年 5 月 31 日(金)15:00～17:00

場 所：鹿児島県立短期大学本館 2 階大会議室

出席者：加盟館 10 大学 1 高専 26 名

議 事：

- (1) 平成 24 年度会務報告
- (2) 平成 24 年度決算報告及び監査報告
- (3) 平成 25 年度事業計画

(4) 平成 25 年度予算審議

(5) 協議題審議

- ・鹿児島県大学図書館共同開催イベント「Library Lovers'」キャンペーンの継続実施について
- ・電子書籍 (iPad など) への対応について
- ・「加盟館の館員の県外研修への参加補助」の実現に向けて検討すべき課題について

## 沖縄県大学図書館協議会

### 1. 平成 25 年度 (第 41 回) 総会

日 時：平成 25 年 9 月 25 日(水)14:30～15:10

会 場：沖縄国際大学 5 号館 106 教室

出席者：31 名

議 題：平成 24 年度事業報告

平成 24 年度決算報告

平成 24 年度監査報告

平成 25 年度事業計画 (案)

平成 25 年度予算 (案)

平成 26 年度の当番館及び平成 25 年度監査館の選出

### 2. 講演会・研修会

(1) 平成25年度第1回沖縄県大学図書館協議会講演会

日 時：平成 25 年 9 月 25 日(水)15:25～16:35

会 場：沖縄国際大学 5 号館 106 教室

テーマ：「著作権と大学図書館」

講 師：山口 真也 氏 (沖縄国際大学総合文化学部教授)

出席者：32 名

(2) 平成25年度第1回沖縄県大学図書館協議会研修会

日 時：平成 25 年 12 月 17 日(水)14:00～17:00

会 場：琉球大学附属図書館オープンサテラ  
イト  
テーマ：「インターネットで使えるレファ  
レンスツール」  
「レファレンス協同データベース事  
業の紹介」

「国立国会図書館の図書館向けサー  
ビス「複写」「貸出」「レファレンス」  
の申込み方」  
講 師：濱川 今日子 氏（国立国会図書館  
関西館 アジア情報課アジア第二係）  
出席者：25名

### 平成25年度 第43回九州地区国立大学図書館協会総会

日 時：平成25年4月18日(木)13:30～17:00

場 所：博多都ホテル 4階「桔梗A」

出席者：11大学 35名

協議事項

- (1) 国立大学図書館職員の採用試験について
- (2) 九州地区国立大学図書館協会の代表館・副  
代表館選出について
  - ①代表館・副代表館選出について
  - ②その他
- (3) 九州地区大学図書館協議会等の運営について
  - ①平成25年度九州地区大学図書館協議会の  
役員館の選出について
  - ②平成26年度九州地区国立大学図書館協会  
総会の当番館について

③その他

- (4) 図書館の活用による能動的学修環境整備の  
在り方について
- (5) 電子ジャーナルの高騰について
- (6) 国立大学図書館協会の運営等について
  - ①第60回総会のワークショップで取り扱う  
テーマについて
  - ②その他
- (7) その他

承合事項

- ①医学図書館（分館）における学習支援サービ  
スのあり方について
- ②電子ジャーナルの値上がり対応等について

### 平成25年度九州地区国立大学附属図書館館長懇談会

日 時：平成25年11月20日(水)13:30～15:00

会 場：九州大学附属図書館会議室（新館4階）

出席者：10大学 11名

懇談会

・テ ー マ

1. 図書館が直面している課題について
2. その他

### 平成25年度九州地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

日 時：平成25年11月20日(水)13:30～15:00

会 場：九州大学附属図書館視聴覚ホール（新館  
4階）

出席者：11大学 19名

議 事

・報 告

1. 国立大学図書館協会理事会報告
2. 平成25年度九州地区国立大学図書館  
協会実務者連絡会議報告
3. その他

- ・協議題
  1. 平成 26 年度九州地区国立大学法人等職員採用合同図書系二次専門試験について
  2. 「総会等の日程の見直し」について
  3. 国立大学図書館協会地区助成事業について
  4. その他

### 平成 25 年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課長）長会議

日 時：平成 25 年 11 月 20 日(水)15:30～17:00  
 会 場：九州大学附属図書館視聴覚ホール（新館 4 階）

出席者：11 大学 29 名

#### 議 事

- ・報 告
  1. 館長懇談会報告
  2. 事務（部・課）長会議報告
  3. 国立大学図書館協会理事会報告
  4. その他

#### ・協議題

1. 九州地区国立大学図書館協会総会当番校及び九州地区大学図書館協議会役員館の選出について
2. 平成 27 年度国立大学図書館協会総会当番校について
3. 「総会等の日程の見直し」について
4. 学修支援の具体的な方策について
5. その他

### 平成 25 年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議

#### 第 1 日目

日 時：平成 25 年 10 月 31 日(木)13:30～17:00  
 場 所：福岡教育大学 事務局棟 第一会議室  
 出席者：11 大学 13 名

#### 1. 協議事項

- (1) 図書館ボランティアの募集・活動状況について
- (2) 一般市民の図書館利用状況、問題利用者への対応について
- (3) 電子ジャーナルの価格高騰に対する対応策について
- (4) 新しい図書館サービスの展開について

#### 2. 承合事項

- (1) 全学共通経費による電子ジャーナル等導入コンテンツの見直し基準の策定状況について

- (2) ラーニング・コモンズの整備状況について
- (3) 「多目的ホール」等の施設の活用事例・飲食のルールについて
- (4) グループ学習室の予約受付の運用方法について
- (5) 図書館における学修支援について

#### 第 2 日目

日 時：平成 25 年 11 月 1 日(金)9:30～12:00  
 場 所：福岡教育大学 事務局棟 第三会議室  
 及び 宗像大社 神宝館（見学）

講 演「宗像大社所蔵資料～概要と修理と保存～」  
 （講師：宗像大社 文化財管理事務局 学芸員 河窪 奈津子氏）

見学説明：宗像大社 文化財管理事務局 学芸員 福嶋 真貴子 氏

私立大学図書館協会 西地区部会  
2013（平成25）年度 九州地区協議会

日 時：2013（平成25）年4月18日（木）

14：00～17：00

会 場：博多都ホテル

出席者：46館 80名

当番校：近畿大学産業理工学部

④協会ホームページ委員会報告

⑤協会関連事項報告

⑥次期役員校、総会当番校の選出について

⑦第74回総会・研究大会の開催

⑧行事・会議予定

### I. 報告事項

(1) 九州地区協議会関係

①第1回定例幹事会

②研究会準備委員会

③第2回定例幹事会

(2) 九州地区大学図書館協議会関係

①九州地区大学図書館協議会総会

(2013年4月19日開催)について

(3) 西地区部会関係

①2012年度西地区部会会務報告

②2013年度西地区部会事業計画(案)及び予算(案)

③2013年度予算の暫定執行

④2013年度西地区部会総会開催概要(案)

⑤2013年度西地区部会研究会開催概要(案)

⑥西地区部会関連2013年度予定表

⑦役員校・当番校等一覧

(4) 私立大学図書館協会関係

①2012年度協会会務報告

②2012年度協会賞審査委員会・研究助成委員会報告

③国際図書館協力委員会報告

### II. 協議事項

(1) 九州地区協議会関係

①九州地区協議会研究会について

(2) 九州地区大学図書館協議会関係

①2013年度九州地区大学図書館協議会の役員校について

### III. 確認事項

(1) 九州地区協議会HP及びMLの運用について

(2) 外国新聞分担保存について

(3) 九州地区協議会役員校等ローテーション表(2013年度版)の解説

(4) 九州地区協議会年度別幹事校

(5) 本会関係行事・会議等スケジュール

### IV. その他

(1) 2013・2014年度の当番校・幹事校・役員校等の紹介

### V. 講演会

「文部科学省における大学図書館政策」

首東 誠氏

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会  
2013（平成25）年度 第1回定例幹事会

1. 日 時：2013（平成25）年6月7日（金）

13：45～15：00

2. 会 場：中村学園大学 中央本館1階会議室

3. 当番館：中村学園大学図書館

4. 参加者：6館10名

5. 内 容：

I. 協議事項

(1) 2013年度九州地区研究会企画(案)について

(2) 2013年度九州地区研究会予算(案)に

ついて

- (3) 九州地区協議会予算について
- (4) 次年度の協議会(総会)での講演について
- (5) 西地区部会研究会の発表者について

- (1) 九州地区協議会年度別幹事校について
- (2) 九州地区協議会役員校等ローテーション表について
- (3) その他 協会賞について

## II. 確認事項

### 私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会 2013(平成 25)年度 九州地区研究会

- 1. 日 時 : 2013 (平成 25) 年 9 月 5 日 (木)  
10 : 00 ~ 16 : 00
- 2. 会 場 : 中村学園大学 西 2 号館 5 階  
2505 教室
- 3. テーマ : 大学図書館の利用促進  
ーより親しまれる図書館を目指してー
- 4. 参加者 : 34 館 53 名
- 5. 幹事館 : 中村学園大学図書館
- 6. 内 容 :
  - 講 演 「日本史余話ー文化遺産としての本とその消息ー」  
中村学園大学教育学部教授 占部 賢志
  - 事例発表 「親しまれる図書館を目指して: 中小規模大学図書館ができることへの一考察ー米国ボストン市及び近郊の大学図書館訪問事例を参考にー」  
中村学園大学図書館係長 今藤 覚
  - 事例発表 「大学図書館の役割ー研究資料の公開と利用促進の方法をめぐってー」  
福岡工業大学社会環境学科教授 徳永 光展
  - 特別報告 「Library Lovers' キャンペーンを通じた図書館利用促進の取り組み」  
九州大学附属図書館利用支援課 サービス企画係長 堀 優子
  - 事例発表 「大学図書館の学習支援と読書推進

### 私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会 2013(平成 25)年度 研究会準備委員会

- 1. 日 時 : 2013 (平成 25) 年 11 月 1 日 (金)  
14 : 00 ~ 15 : 00
- 2. 会 場 : 筑紫女学園大学 飛翔会館 3 階会議室
- 3. 当番館 : 筑紫女学園大学
- 4. 参加者 : 7 館 13 名
- 5. 内 容 :
  - (1) 2013 年度九州地区研究会について
    - ①研究会開催記録
    - ②研究会会計報告 (仮)
  - (2) 2014 年度九州地区研究会について
    - ①研究会開催 (案)
  - (3) その他

## I. 協議事項

九州地区私立短期大学図書館協議会  
2013(平成 25)年度夏期研修会

第 1 日目

日 時：平成 25 年 8 月 23 日(金)13:00~17:00

場 所：精華女子短期大学 情報機器実習室

出席者：13 館 16 名

1. テーマ：忙しい図書館員のための PC 使い  
倒し「超」実用講座—省力効果絶  
大な便利技をマスターしよう！—

講 師：帝京大学総合教育センター

仁上 幸治氏

2. 内 容

講 義：「忙しい」という万能の言訳

ワーク 1：パソコン入門

ワーク 2：メーリングリストを作る

ワーク 3：Word からやり直す

ワーク 4：Excel を使いこなす

ワーク 5：ウェブアンケートで転記作業ゼ  
ロに

第 2 日目

日 時：平成 25 年 8 月 24 日(土)9:00~13:00

場 所：精華女子短期大学 情報機器実習室

1. 初日復習

ワーク 6：PowerPoint はプロの必需品

ワーク 7：発表と討論まとめ

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会  
2013(平成 25)年度 第 2 回定例幹事会

1. 日 時：2013(平成 25)年 12 月 6 日(金)  
13:55~15:40

2. 会 場：尚綱大学図書館本館  
グループ学習室 1

3. 当番館：尚綱大学

4. 参加者：7 館 10 名

5. 内 容：

I. 協議事項

(1) 2013 年度九州地区協議会総会の報告につ  
いて

(2) 2013 年度九州地区協議会・研究会の会計  
報告について

(3) 2014 年度九州地区協議会総会実施計画  
(案)について

(4) 西地区部会 2014 年度研究会研究発表者  
の推薦について

(5) 私立大学図書館協会役員校・当番校の選  
出について

(6) 2014 年度九州地区大学図書館協議会の私  
立大学部会の表彰委員館・編集委員館の  
選出について

II. 確認事項

(1) 本会関係の次年度以降の役員校・当番校  
について

(2) その他

## 事務局報告

### 平成25年度九州地区大学図書館協議会 幹事館・副幹事館会議

平成25年12月11日（水）に書面回議により開催の結果、「第64回九州地区大学図書館協議会総会議事要録（案）」について、字句等の間違いが2ヶ所あったので、修正ののち承認された。

#### 議 題

##### 1. 平成26年度九州地区大学図書館協議会総会について

次期当番館 大分大学学術情報拠点(図書館)から「平成26年度九州地区大学図書館協議会等実施計画(案)」の提出がありました。(資料1)

日程等内容をご確認ください。

鹿児島大学附属図書館より、以下の意見があった。

「九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則」の8では「総会と同時に研修会を開催し、研究発表者は九州地区内の大学図書館職員とし3年位に1回の割合で、文部省・国会図書館或は他地区の大学より最適任者を招聘する。」とされています。平成20年(2008年)第59回総会(当番館:長崎大学)以降、文部省・国会図書館或は他地区の大学から講師は招聘されていないため、26年度の総会では検討する必要があるのではないかとと思われる。また、予算上の課題等でこの対応が難しいということであれば、細則の一部改正について総会に諮ることも視野に入れて、今後の対応を検討する必要があるかと考えます。

##### 2. 第64回九州地区大学図書館協議会総会議事要録(案)について

今年度当番館 福岡教育大学学術情報センター図書館から第64回九州地区大学図書館協議会総会議事要録(案)の提出がありました。(資料2)

内容をご確認ください。

鹿児島大学附属図書館、久留米大学附属図書

館より、字句等の訂正の意見があり修正のうえ承認された。

##### 3. その他

###### ① 九州地区大学図書館協議会総会における講演、協議事項等について

ご意見等がございましたらお知らせください。

なお、協議事項等は別途当番大学から照会予定です。

###### ② 副議長について

総会における副議長は、平成11年度からの副幹事館制度の発足により、副幹事館の図書館長により次の順番で執り行われておりますので、平成26年度につきましても、副幹事館のうちのいずれかの図書館長にお願いいたします。

#### <参考>

平成11年度(公立大学部会副幹事館長)

福岡女子大学

平成12年度(私立大学部会副幹事館長)

鹿児島国際大学

平成13年度(私立短大部会副幹事館長)

沖縄キリスト教短期大学

平成14年度(国立大学部会副幹事館長)

福岡教育大学

平成15年度(公立大学部会副幹事館長)

宮崎公立大学

平成16年度(私立大学部会副幹事館長)

筑紫女学園大学・短期大学

平成17年度(私立大学部会副幹事館長)

九州東海大学



平成18年度（国立大学部会副幹事館長）  
長崎大学

平成19年度（国立大学部会副幹事館長）  
熊本大学

平成20年度（公立大学部会副幹事館長）  
宮崎県立看護大学

平成21年度（私立大学部会副幹事館長）  
九州産業大学

平成22年度（国立大学部会副幹事館長）  
大分大学

平成23年度（私立大学部会副幹事館長）  
熊本学園大学

平成24年度（公立大学部会副幹事館長）  
長崎県立大学

平成25年度（私立大学部会副幹事館長）  
久留米大学

③ 副幹事館、表彰委員館、編集委員館の交代について

表彰委員館、編集委員館の任期は1年間（再任は妨げない。）ですので、各部会で当番館の検討を併せてお願いします。

《参考》九州地区大学図書館協議会役員館一覧

なお、幹事館、副幹事館は、交代の年度ではありません。（任期：H25～H26）

④ 平成27年度の総会は南部地区の当番で国立大学部会の当番館は宮崎大学に内諾を得ていますので、各部会でも当番館をお決めになるときは考慮していただくようお願いします。

第64回九州地区大学図書館協議会総会記録

日 程 表

1. 期 日 平成25年4月19日(金)
2. 会 場 博多都ホテル 3階「孔雀」  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-1-1  
電話 092-441-3111 F A X 092-481-1306  
<http://www.miyakohotels.ne.jp/hakata/>
3. 日 程 9:30 受付開始
- 10:00 1. 開 会  
2. 当番館長挨拶  
3. 幹事館長挨拶  
4. 会議日程・資料等の説明  
5. 議長選出・議長挨拶  
6. 副議長選出・副議長挨拶  
7. 新任館長等紹介  
8. 表彰式  
9. 新規加入館の承認  
10. 国立、公立、私立、私立短大各部会報告  
11. 平成24年度決算及び監査報告  
12. 平成25年度予算(案)
- 11:05 13. 幹事館報告
- 12:05 昼 食
- 13:05 14. 講 演  
講師：服部一啓  
演題：「書の可能性を求めて」
- 14:30 休 憩
- 14:45 15. 協議事項  
16. 承合事項  
17. 次期役員館の選出  
18. 次期当番館の挨拶  
19. 議長、副議長の解任
- 15:50 20. 閉 会

## 出席者名簿（○は新任者）

### 【国立大学】

九州工業大学附属図書館		教育研究推進部長	○山崎雅彦
附属図書館長	鶴田隆治	図書館ユニット長	城川由美
図書館・情報推進課長	酒見史博		

#### 大分大学学術情報拠点（図書館）

福岡教育大学学術情報センター図書館		学術情報拠点長	佐藤誠治
学術情報センター長	大坪靖直	研究・社会連携部長	○原田道雄
学術情報副センター長	○清水紀宏	学術情報課長	河野泰久
学術情報課長	○米納寿孝	総務係長	山田哲敬

#### 九州大学附属図書館

附属図書館長	川本芳昭
副館長	吉田素文
事務部長	益森治巳
図書館企画課長	渡邊俊彦
利用支援課長	○渡邊由紀子
伊都地区図書課長	田中由紀子
図書館企画課長補佐	印藤憲一

#### 宮崎大学附属図書館

附属図書館長	岩本俊孝
情報図書部長	上村茂樹
図書課長	黒木俊弘

#### 鹿児島大学附属図書館

附属図書館長	野呂忠秀
学術情報部長	飯田昇平
情報管理課長	松田孝三

#### 佐賀大学附属図書館

附属図書館長	稲岡司
学術研究協力部長	○寺田浩一
情報図書館課長	○木村伸子

#### 鹿屋体育大学附属図書館

附属図書館長	西菌秀嗣
学術図書情報課図書サービス係長	山下智久

#### 長崎大学附属図書館

附属図書館長	○森望
学術情報部長	菅原親雄
学術情報サービス課長	小川稔

#### 琉球大学附属図書館

附属図書館長	伊澤雅子
事務部長	○大城清隆
情報サービス課長	大山努

#### 熊本大学附属図書館

附属図書館長	○大熊薫
--------	------

出席館 11館 36名  
欠席館 なし

### 【公立大学】

#### 北九州市立大学図書館

図書館長	○松尾太加志
学術情報課長	江上照明
図書館係長	鈴木吉美

#### 九州歯科大学附属図書館

図書館長	○鱒見進一
学務部長	○田中祐二

北九州学術研究都市学術情報センター  
学術情報担当部長 都 築 信 男  
学術情報担当課長 平 野 富士男  
学術情報担当主任 柳 澤 裕 幸

福岡女子大学学術情報センター（図書館）  
図書館長 ○月 野 文 子  
副センター長 ○大久保 順 子  
事務主査 梅 崎 真由美

福岡県立大学附属図書館  
附属図書館長 佐 藤 香 代  
学務部長 ○猪 口 憲 行

長崎県立大学附属図書館  
附属図書館長兼シーボルト校附属図書館長 ○松 本 幸 子  
佐世保校附属図書館長 ○柳 田 芳 伸  
佐世保校附属図書館図書グループリーダー 石 橋 和 弘  
シーボルト校総務企画課長兼図書課長 濱 口 孝

熊本県立大学学術情報メディアセンター  
事務長 ○野 尻 洋 一

大分県立芸術文化短期大学附属図書館  
企画情報課長 ○三 好 民 郎

大分県立看護科学大学附属図書館  
職員 白 川 裕 子

宮崎公立大学附属図書館  
企画総務課長 ○伊 豆 真 一  
主査 赤 澤 央 臣

宮崎県立看護大学附属図書館  
附属図書館長 ○串 間 敦 郎  
主査 尾 曲 美智男

鹿児島県立短期大学附属図書館  
附属図書館長 岡 村 俊 彦

沖縄県立看護大学附属図書館  
附属図書館長 ○神 里 みどり  
主査 幸 地 哲

沖縄県立芸術大学附属図書館  
主任 ○新 里 浩 晃

名桜大学附属図書館  
附属図書館長 住 江 淳 司  
図書課長 ○赤 嶺 達 也

出席館 15館 30名  
欠席館 なし

## 【私立大学】

西日本工業大学図書館  
図書館長 池 森 寛  
図書課長 黒 岩 壽

西南女学院大学図書館  
図書課長 ○西 川 忍

九州国際大学図書館  
事務室長 ○増 田 恵次郎

九州共立大学附属図書館  
図書館長 森 川 壽 人  
係長 上 井 由美子

九州女子大学・九州女子短期大学附属図書館  
業務課長 松 尾 伸 二

福岡工業大学附属図書館  
館長 ○阿 山 光 利  
課長補佐 重 松 亮

福岡女学院大学図書館		聖マリア学院大学	
図書館長	二階堂 整	司書	山口 真由美
図書館課長	○原 修 一		
九州産業大学図書館		久留米大学附属図書館	
事務室長	宮 丸 由美子	館長	石川 捷 治
庶務係長	○繁 森 隆	事務部長	古賀 正 規
		課長	熊谷 まゆみ
		課長補佐	二又 紅美子
福岡大学図書館		国際医療福祉大学九州地区キャンパス図書館	
図書館長	則 松 彰 文	図書館長	藤城 直 二
事務部長	○戸 崎 悟 郎	事務	長野 弘 毅
学術情報課長	○谷 口 義 和		
中村学園大学図書館		西九州大学附属図書館	
図書館長	青 峰 正 裕	図書館長	○進 藤 直 文
図書館課長	辻 原 陽 一	図書館課長	中 島 哲 男
図書館係長	今 藤 覚		
西南学院大学図書館		活水女子大学図書館	
図書館事務部長	岩 佐 俊 司	図書館長	○野 中 和 孝
図書館情報課長	古 庄 敬 文	図書館課長	森 茂 樹
第一薬科大学図書館		長崎総合科学大学附属図書館	
館長	原 口 浩 一	課長補佐	山 川 邦 子
司書	野 中 麻 有		
九州情報大学附属図書館		長崎外国語大学教育研究メディアセンター	
附属図書館長	南 俊 朗	室長補佐	○別 所 佐和子
筑紫女学園大学・短期大学部附属図書館		長崎純心大学早坂記念図書館	
図書館長	大 津 忠 彦	図書館事務室長	岩 崎 由希子
図書館課課長	福 田 千代子		
図書館課主任	東 野 善 男	長崎国際大学図書館	
福岡国際大学・福岡女子短期大学図書館		図書館課長	飯 島 芳 典
課長	大 橋 祐 子		
久留米工業大学図書館		崇城大学図書館	
室長	萩 尾 文 子	課長	原 みゆき
		九州ルーテル学院大学図書館	
		図書館課長	水 谷 江美子

熊本学園大学附属図書館

館長 堀 正 広  
課長 津 村 秀 夫  
閲覧係長 井 上 貴 雄

南九州大学・南九州短期大学図書館

図書館長 中 根 忠 洋  
学務部長 中 村 稔

東海大学附属図書館熊本・阿蘇図書館

課長補佐 板 東 弘

鹿児島国際大学附属図書館

図書館長 ○吉 田 春 生  
図書館課長 仮 屋 淳 子

熊本保健科学大学附属図書館

司書 山 崎 栄 子

鹿児島純心女子大学附属図書館

図書館長 坂 井 恵 子  
図書課長補佐 岩 永 眞 佐 子

九州看護福祉大学附属図書館

図書館長 佐 藤 林 正  
図書課長 田 上 康 樹

志學館大学図書館

図書館長 河 原 晶 子  
図書館係長 木 佐 木 和 代

日本文理大学図書館

課長補佐 小 平 正 典

沖縄国際大学図書館

課長 ○富 里 珠 美  
課長補佐 山 城 篤 男

立命館アジア太平洋大学ライブラリー

課員 大 勢 美 穂

沖縄キリスト教学院大学図書館

課長 多 根 宏 治

別府大学附属図書館

館長 佐 藤 瑠 威  
事務長 ○平 野 純 治

出席館 41館 69名

欠席館 6館

九州保健福祉大学附属図書館

事務室主任 内 田 ゆかり

【私立短期大学】

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学図書館

館長 山 田 千 秋  
司書 八 野 梓

鹿児島純心女子短期大学図書館

館長 ○三 島 盛 武  
図書課長 西 眞 知 子

鹿児島女子短期大学附属図書館

館長 古 川 恵 子

出席館 3館 5名

欠席館 1館

【オブザーバー】

純真学園図書館

館長 佐 藤 幸 光  
司書 中 村 綾

出席館 1館 2名

## 第 6 4 回九州地区大学図書館協議総会議事要録

### 1. 開会

当番館の福岡教育大学学術情報課米納課長より、開会宣言があった。

### 2. 当番館長挨拶

当番館である福岡教育大学学術情報センター図書館大坪センター長より、挨拶があった。

### 3. 幹事館長挨拶

幹事館である九州大学附属図書館川本館長より、挨拶があった。

### 4. 会議日程・配布資料の説明

米納課長より、日程及び配布資料について説明があった。

### 5. 議長選出、挨拶

「九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則」第2項に基づき、当番館の館長である福岡教育大学学術情報センター図書館の大坪センター長が選出され、続いて挨拶があった。

### 6. 副議長選出、挨拶

議長より、副幹事館である久留米大学附属図書館の石川館長が副議長として指名され、続いて挨拶があった。

### 7. 新任館長等紹介

今年度は新任者が多数のため、資料1の出席者名簿に基づき、確認された。また、オブザーバー館として、純真学園図書館が出席している旨説明があった。

### 8. 表彰式

「九州地区大学図書館協議会表彰規程」に基づき、12名が表彰された。被表彰者を代表して、熊本保健科学大学附属図書館の山崎栄子氏へ表彰状が授与された。

#### (1) 勤務時間 20 年以上の者で退職または転職した者（表彰規程第 2 条第 2 項）

(所属機関、氏名の 50 音順)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第2号	九州大学附属図書館	こが ゆき なり 古 賀 幸 成
2	〃	九州大学附属図書館	いち き たか こ 一 木 隆 子
3	〃	九州大学附属図書館	はやし けい こ 林 恵 子
4	〃	福岡教育大学学術情報センター図書館	いし だ なお こ 石 田 直 子
5	〃	福岡教育大学学術情報センター図書館	なべ やま あき こ 鍋 山 明 子

#### (2) 勤務期間 20 年に達した者（表彰規程第 2 条第 1 項）

(所属機関、氏名の 50 音順)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第1号	九州大学附属図書館	こ だま ひろ のり 児 玉 浩 憲
2	〃	九州大学附属図書館	あき づき かず み 秋 月 和 美
3	〃	九州産業大学図書館	し がき み さ お 紫 垣 美 佐 緒
4	〃	熊本保健科学大学附属図書館	やま さき えい こ 山 崎 栄 子

5	第2条第1号	志學館大学図書館	かま した あき こ 鎌 下 昭 子
6	〃	長崎大学附属図書館	かな まる あき ひこ 金 丸 明 彦
7	〃	長崎大学附属図書館	ひら ばやし のぼる 平 林 昇

## 9. 新規加入館の承認

「九州地区大学図書館協議会入会に関する細則」に基づき、紹介を依頼された第一薬科大学から入会申込館の概要等の説明がなされ、入会資格基準を満たしていることから新規加入館として承認された。その後、純真学園図書館より挨拶があった。

## 10. 国立、公立、私立、私立短期大学部会報告

### (1) 国立大学部会報告

福岡教育大学学術情報センター図書館の大坪センター長より、九州地区国立大学図書館協会総会の報告があった。

### 協議事項

- 1) 「国立大学図書館職員の採用試験について」  
今年度の試験日程、実施方法、経費負担等が承認された。
- 2) 九州地区国立大学図書館協会の代表館・副代表館選出について  
代表館に九州大学、副代表館に大分大学が選出された。
- 3) 九州地区大学図書館協議会等の運営について  
平成 25 年度九州地区大学図書館協議会の役員館について、副幹事館には鹿児島大学、表彰委員館には鹿屋体育大学、編集委員館には宮崎大学が選出された。  
平成 25 年度九州地区大学図書館協議会総会の当番館には大分大学が選出された。
- 4) 図書館の活用による能動的学修環境整備の在り方について  
各大学より、各館の理念や取り組み状況及び今後の方針について説明があり、それらに基づき意見交換を行った。
- 5) 電子ジャーナルの高騰について  
電子ジャーナルの高騰について、どのように

して電子ジャーナルの利用を継続しているのか、各大学で取り組んでいる方策について意見交換を行った。

### 6) 国立大学図書館協会の運営等について

第 60 回総会のワークショップで取り扱うテーマについて、各大学から提案のあったテーマについて説明があり、九州大学で取りまとめることとなった。

### 承合事項

- 1) 医学図書館（分館）における学習支援サービスの在り方について、2) 電子ジャーナルの値上がり対応等について、各大学からの回答を参考にすることとなった。

### (2) 公立大学部会報告

北九州市立大学図書館の松尾館長より、九州地区大学図書館協議会公立大学部会の報告があった。

### 協議事項

- 1) 公立大学部会を開催するための費用を会費制で処理することについて  
部会開催のための費用を、協議会から各部会に対しての活動費として支出できないかとの要望があり、協議を行った。

### 承合事項

- 1) 蔵書統計の取り方で、一定期間刊行が継続する学術及び行政の報告書の図書または逐次刊行物に区分する基準について
- 2) 指定図書（シラバス掲載図書等）の収集及びコーナーの設置状況について
- 3) 各館資料費の内訳の5年後の予測値について
- 4) 学生リクエスト等を断ったケースについて
- 5) 教員と図書館職員が選書する範囲について
- 6) 傘の水とり「しずくりん」について  
各大学の現状・問題点について情報交換が行われた。



### (3) 私立大学部会報告

久留米大学附属図書館の熊谷課長より、私立大学図書館西地区部会九州地区協議会の報告があった。

#### 報告事項

九州地区協議会関係、九州地区大学図書館協議会関係、西地区部会関係、私立大学図書館協議会関係について、了承いただいたとの報告があった。

#### 協議事項

##### 1) 九州地区協議会関係

久留米大学より、西地区研究会本会からの研究発表者の推薦について説明し、また 2013 年 9 月 5 日に開催される九州地区研究会について、当番校の中村学園大学から説明があった。

##### 2) 九州地区大学図書館協議会

2013 年度九州地区大学図書館協議会の役員館について表彰委員館には九州共立大学、編集委員館には聖マリア学院大学が選出された。

#### 確認事項

- 1) 九州地区協議会HP及びMLの運用について
  - 2) 外国新聞分担保存について
  - 3) 九州地区協議会役員校等ローテーション表(2013年度版)及び同表解説について
  - 4) 九州地区協議会年度別幹事校
  - 5) 本会関係行事・会議等スケジュール
- 以上の5点について、確認された。

#### その他

2013年度の当番校・幹事校・役員校等について紹介があった。

また、文部科学省研究振興局情報課・首東誠氏に「文部科学省における大学図書館政策」について講演して頂いた。

### (4) 私立短期大学部会報告

鹿児島女子短期大学附属図書館の古川館長より、九州地区私立短期大学図書館協議会総会等の報告があった。

1) 総会では、平成 24 年度事業報告、平成 24 年度決算報告及び監査報告、平成 25 年度事業計画及び予算について審議され、承認された。

2) 研修会においては、九州大谷短期大学表現学科助教・司書・梅野智美氏に講演して頂いた。

承合事項では、①休学者に対する本の貸出の可否、その期間等について、②ブックポストの設置について、意見交換が行われた。

フリーディスカッションでは、オリエンテーション期間中の図書館の利用について意見交換が行われた。

### 11. 平成 24 年度決算及び監査報告

幹事館より、資料 5 に基づき報告があった。

広告掲載料 17 社中 7 社が未収となっており 25 年度の収入となることが説明された。続いて監査館である筑紫女学園大学より、監査の結果、通帳・出納簿ともに適切な会計処理が行われているとの報告があり、審議の結果、承認された。

### 12. 平成 25 年度予算(案)

幹事館より、資料 6 の予算案に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

### 13. 幹事館報告

幹事館の九州大学益森事務部長より以下の3点について、報告があった。

#### 1) 加盟館数について

平成 24 年度の新規加盟館は 2 館であり、平成 24 年度の退会館は 3 館であった。また、平成 25 年度 4 月 1 日現在の加盟館は、国立 11 館、公立 15 館、私立 47 館、私立短大 4 館の、合計 77 館である。

#### 2) 九州地区大学図書館協議会誌について

平成 25 年 2 月に「九州地区大学図書館協議会誌第 55 号」を刊行し、既に加盟館には発送済みである。琉球大学の高田前館長の巻頭言に加え、沖縄国際大学、佐賀大学、琉球大学より各 1 点の論文が寄せられ、充実した協議会誌となった。編集に携わった方々にも感謝する。

#### 3) Library Lovers' キャンペーンについて

平成 24 年度総会において、本協議会の事業として Library Lovers' キャンペーンを行い、平

成 25 年度総会において実施報告、その上で本年度以降の活動について検討することが決まっていた。資料報告に加え、発表という形でも報告を行う。

九州大学より、平成 24 年度の Library Lovers' キャンペーン実施概要について、国立大学 10 館、公立大学 5 館、私立大学 15 館、私立短期大学 1 館、計 31 館及び鹿児島県大学図書館協議会が参加した旨報告があった。

参加大学である中村学園大学、志學館大学より活動についての報告があり、参加館として各館の対応に感謝したいとの説明があった。

九州大学より、報告大学以外の大学の企画の紹介が行われ、平成 24 年度の活動のまとめが行われた。

(昼食)

#### 14. 講演

「書の可能性を求めて」

福岡教育大学美術教育講座准教授 服部一啓氏  
福岡教育大学米納課長より講師の紹介があり、学生による書道パフォーマンスが行われた。パフォーマンス終了後に学生へのインタビューが行われ、その後、服部氏による講演が行われた。

(休憩)

#### 15. 協議事項

協議題「Library Lovers' キャンペーンの継続実施について」

九州大学より、提案理由について説明があり、平成 25 年度以降の継続実施については、実施報告をしたうえで今年度の総会において協議することとなっていた旨説明があった。本キャンペーンが全国の大学図書館界から注目されており、九州地区の事業として定着しつつあることから、平成 25 年度から 3 年間継続実施したいとの提案があった。なお、秋に行われた国立部会において本総会において提案することが決定してい

た旨報告があった。副議長より承認について諮られ、審議の結果、承認された。

#### 16. 承合事項

承合事項 1 「学生の読書を促進するための図書館としての支援について」

提案大学の志學館大学より、多数の回答に対して感謝の意が表され、この件について持ち帰り今後の参考としていただくこととなった。

承合事項 2 「学外館入館手続きの規定、様式、方法について」

提案大学の沖縄県立看護大学より、多数の回答に対して感謝の意が表され、この件について持ち帰り今後の参考としていただくこととなった。

承合事項 3 「自動書庫設置の有無について」

提案大学の琉球大学より、提案理由について説明があった。多数の回答に対して感謝の意が表され、今後の参考としていただくこととなった。また今後も相談させていただきたい旨要望があった。

承合事項 4 「防犯カメラ運用上の留意点について」

提案大学の長崎大学より、提案理由について説明があった。多数の回答に感謝の意が表され、この件について持ち帰り今後の参考としていただくこととなった。

#### 17. 次期役員館の選出

副議長より、「九州地区大学図書館協議会会則」第 6 条に基づき、幹事館の選出について説明があり、副議長提案により幹事館に九州大学が推薦され、承認された。また昨日の各部会での検討の結果、副幹事館は鹿児島大学、鹿児島県立短期大学、久留米大学、鹿児島女子短期大学が推薦され、承認された。

幹事館の九州大学より、監査館は幹事館に近い福岡市内の大学にお願いしているため、西南学院大学にお願いして内諾を得ているとの説明があり、承認された。

幹事館の九州大学より、昨日の各部会での検討の結果、表彰委員館は鹿屋体育大学、北九州

市立大学、九州共立大学、鹿児島純心女子短期大学が推薦され、編集委員会は宮崎大学、九州歯科大学、聖マリア学院大学、鹿児島純心女子短期大学が推薦され、承認された。

幹事館の九州大学より、次期当番館の選出について今年度は中部地区から選出することとなっており、大分大学へ打診し内諾を得ている旨説明があり、承認された。

#### 18. 次期当番館の挨拶

次期当番館の大分大学学術情報拠点(図書館)の佐藤拠点長より、挨拶があった。

#### 19. 議長、副議長の解任

予定していた議事が全て終了したため、議長・副議長が解任された。

#### 20. 閉会

当番館の福岡教育大学米納課長より、閉会宣言があった。

平成24年度決算

一般会計

(単位:円)

科 目	収 入 の 部			支 出 の 部		
	予 算	決 算	備 考	予 算	決 算	備 考
会 費	468,000	480,000	6,000×80館	300,000	300,000	当番館:鹿兒島大学
協議会誌代	124,800	126,400	54号:158部	250,000	210,000	55号(2012)200部
広告掲載料	250,000	160,000	10社	30,000	16,200	会誌送料、通信費、会議費等
広告掲載料	110,000	110,000	7社	372,800	350,200	総会関係研修事業補助
小 計	952,800	876,400		952,800	876,400	

積立金会計

(単位:円)

科 目	収 入 の 部			支 出 の 部		
	予 算	決 算	備 考	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	107,587	107,587		69,000	68,775	13名(1号該当9名、2号該当4名)
預金利息	100	58	8月27円、2月31円	50,000	50,000	総会講演謝金等
一般会計から繰入	372,800	350,200		180,000	120,000	各県協議会(7地区)研修経費補助
小 計	480,487	457,845		480,487	457,845	

平成25年3月28日

監査館 筑紫女学園大学・短期大学部附属図書館

課長 福田 千代子 監査済



平成25年度予算(案)

一般会計

(単位：円)

		収入の部		支出の部	
科目	予算	備考	科目	予算	備考
会費	462,000	@6,000×77館	総会運営費	300,000	当番館：福岡教育大学
協議会誌代	124,000	55号(2012)@800円×155部	協議会誌発行費	210,000	56号(2013)200部
広告掲載料	270,000	17社	事務費	20,000	会誌送料、通信費、会議費等
広告掲載料	110,000	7社 24年度分	積立金会計へ繰入	436,000	総会関係研修事業補助
小計	966,000		小計	966,000	

積立金会計

(単位：円)

		収入の部		支出の部	
科目	予算	備考	科目	予算	備考
前年度繰越金	219,070		表彰経費	64,000	12名(1号該当7名、2号該当5名)
預金利息	100		研究会経費	50,000	総会講演謝金等
一般会計から繰入	436,000		研究会補助費	180,000	各県協議会研修経費補助(9地区×20,000円)
			次年度繰越金	361,170	
小計	655,170		小計	655,170	

## 九州地区大学図書館協議会会則

昭和25年11月27日施行  
昭和32年9月12日改正  
昭和41年6月2日改正  
昭和51年4月23日改正  
昭和55年5月9日改正  
平成9年4月25日改正  
平成10年4月24日改正  
平成20年4月18日改正

(名 称)

第 1 条 本会は九州地区大学図書館協議会と称する。

(会 員)

第 2 条 本会は別に定める資格を有する九州地区の大学図書館等（以下「大学図書館」という。）をもって組織する。

会員は大学等の機関をもって一会員とする。

本会に入会するには、所定の入会申込書を提出し、総会の議決を経るものとする。

(目 的)

第 3 条 本会は会員の緊密な連絡と協力によって、大学図書館の施設、管理及び運営等の健全な進歩発達をはかり、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第 4 条 本会は前条の目的を達するためにつぎの事業を行う。

1. 図書館の研究・調査に関する事項
2. 研究会・講習会等の開催に関する事項
3. 日本図書館協会等の連絡提携に関する事項
4. 学術図書文献の調査及び総合目録の調整に関する事項
5. 学術図書文献の収集、保存及び活用に関する事項
6. その他必要とする事項

(役 員)

第 5 条 本会に幹事館、副幹事館及び監査館を置く。

幹事館は会務を総括し、本会を代表する。

副幹事館は、幹事館とともに会務を処理する。

監査館は、会計を監査する。

第 6 条 幹事館は、総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

副幹事館は、国立大学、公立大学、私立大学及び私立短期大学の各部会からそれぞれ1館を総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

監査館は、総会で互選し、その任期は1年とする。但し、再選できない。

(事務所)

第 7 条 本会の事務所は幹事館内におく。

(会議)

第 8 条 本会は毎年 1 回総会を開催する。但し必要に応じ会員の 3 分の 1 以上から請求があった場合は、臨時総会を開くことができる。

第 9 条 総会の運営は、輪番に定められた当番館が幹事館と協議してこれに当たる。

第 10 条 総会は次の事項を行う。

1. 事業計画
2. 決算の承認
3. 予算の決定
4. 幹事館、副幹事館及び監査館の選任及び当番館の決定
5. その他必要なる事項の決定

第 11 条 総会の票決権は 1 大学等の機関につき 1 票とし、議決は多数決による。可否同数の時は幹事館の決するところによる。

(会計)

第 12 条 本会の経費は会費その他をもってあてる。

第 13 条 会費は年額 6,000 円とし、毎会計年度始めに幹事館に納入するものとする。

第 14 条 本会の予算は毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受け次の総会において承認を得なければならない。

第 15 条 本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

(会則変更)

第 16 条 本会則の変更は総会にはからなければならない。その決定には出席会員の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

## 九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則

昭和32年 9 月12日決定  
昭和37年10月 2 日改正  
昭和48年 5 月11日改正  
昭和53年 5 月12日改正  
平成11年 4 月23日改正

1. 本協議会総会の運営は簡素を尊重し、輪番に当番を引受け易くするためにこの細則を定める。
2. 総会の議長は当番館の館長とする。
3. 議長は副議長を指名することができる。
4. 当番館は幹事館及び副幹事館と協議の上、2ヶ月前に会員宛日程・場所等を通知し、出席者の職氏名及び協議事項・承合事項の提出を求める招請状を送ること。  
但し、緊急を要する臨時総会等の場合はこの限りでない。

5. 当番館は協議事項をまとめ、議題として提案理由、又は簡単な説明を付して、出席者に配付し、調査研究の余地を充分与えるように努めること。
6. 当番館は総会の議事録を作成し、会員に配付するものとする。
7. 幹事館及び副幹事館は当番館と協力して、総会で決議された要求事項を貫徹するよう努力する。
8. 総会と同時に研修会を開催し、研究発表者は九州地区内の大学図書館職員とし3年位に1回の割合で、文部省・国会図書館或は他地区の大学より最適任者を招聘する。
9. 会員以外の出席を許すことがある。但し票決権はない。
10. 当番館は加盟館の所属県を次の三地区に分け、地区ごとに等しく持ち廻る。

福岡地区	福岡県
中部地区	長崎県、佐賀県、熊本県、大分県
南部地区	鹿児島県、宮崎県、沖縄県
11. 総会の経費は主として会費及び出席者から徴収する金員より支出し、総会の議決を経た予算案によって実行するものとする。
12. 研修会の講師招聘に要する旅費、謝礼等の費用は、毎年会費の内から積立てて支弁する。

## 九州地区大学図書館協議会入会に関する細則

昭和32年9月1日施行  
平成9年4月25日改正  
平成20年4月18日改正

1. 本協議会へ入会を希望する大学図書館（以下「入会申込館」という。）は、最寄りの本協議会 会員の紹介書（別記様式1）により、入会申込書（別記様式2）を、総会の3ヶ月前までに幹事館に提出する。
2. 紹介を依頼された会員は、総会において入会申込館の概略を説明する。
3. 入会資格の基準は下記のとおりとする。
  - (1) 大学、短期大学又はこれに準じる教育研究機関の図書館施設であること。
  - (2) 本協議会の目的及び事業に賛同し、熱意が十分認められること。
4. 入会申込館は、総会当日は、入会承認まではオブザーバーとして出席することができる。



別記様式 1

## 九州地区大学図書館協議会入会紹介書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

下記の図書館は、本協議会の目的及び事業に賛同され、また熱意が十分認められますので、本協議会への入会を紹介します。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 図 書 館 名：
4. 図 書 館 長 名：
5. 所 在 地：

別記様式2

## 九州地区大学図書館協議会入会申込書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

貴協議会の趣旨に賛同し、平成 年度からの入会を申し込みます。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 大 学 設 置 年：
4. 学 生 数：
5. 図 書 館 名：
6. 所 在 地：  
(電話、FAX 番号)
7. 図 書 館 長 名：
8. 図 書 館 の 概 要：(別紙)
9. 紹 介 館 名：

別紙

## 図 書 館 の 概 要

図 書 館 名			
事務責任者職・氏名	(電話番号 )		
図 書 館 職 員 数	人 (内、司書数 人)		
図 書 館 延 床 面 積	m <sup>2</sup>	閲覧座席数	席
蔵 書 冊 数	冊 (内 和書 冊、洋書 冊)		
年間受入図書冊数	冊	年間受入雑誌種数	種
年 間 開 館 日 数	日	通常開館時間	時 分～ 時 分
土 曜 開 館	1 実施                      2 未実施		
日 曜 祝 日 開 館	1 実施                      2 一部実施                      3 未実施		
奉 仕 対 象 学 生 数	人	奉仕対象教職員数	人
年 間 貸 出 冊 数	冊		
図 書 館 相 互 協 力	図書貸借	1 実施                      2 未実施	
	文献複写	1 実施                      2 未実施	
学外者へのサービス	1 実施                      2 未実施		
コンピュータの導入	1 導入済                      2 未導入		
コンピュータの適用業務	1 貸出 2 図書受入 3 図書整理 4 雑誌管理 5 OPAC		
ネットワーク環境	1 学内 LAN 接続済                      2 インターネット接続済		
国立情報学研究所との接続	1 接続 (1 NACSIS-CAT/ILL 2 NACSIS-IR 3 その他) 2 未接続		

## 九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規

平成2年4月20日施行

平成5年4月23日改正

平成11年4月23日改正

1. (1) 本協議会誌は、総会記事のほか各部会報告、ニュース等を掲載し、九州地区大学図書館間の情報誌としての機能を果たすこととする。  
(2) 本協議会誌編集のために編集委員会を設ける。
2. (1) 編集委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された編集委員館で構成する。  
(2) 幹事館及び総会当番館は、業務上の必要から編集委員館として参加することとし、上記2-(1)の編集委員館を兼ねることができる。  
(3) 各部会の編集委員館は、幹事館の近隣地区から選出されることが望ましい。  
(4) 編集委員館の任期は1年とし再任を妨げない。
3. (1) 編集委員館は、それぞれの所属する各部会の記事の提出を担当する。  
(2) 総会当番館は、総会記事を担当する。  
(3) 幹事館は、編集に関する事務を担当する。
4. 本協議会誌発行のため、印刷代、送料、編集会議費、原稿執筆等謝礼は、毎年会費の内から支弁する。
5. 本協議会誌に掲載された論文・記事は、九州地区大学図書館協議会ホームページに掲載することとする。

## 九州地区大学図書館協議会表彰規程

(目 的)

第1条 この規程は、九州地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に加盟の大学図書館職員を表彰するため、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰を受ける者)

第2条 表彰は、次の各号の1に該当し、かつ勤務成績が良好である者について行う。

- (1) 勤務期間20年に達した者
- (2) 勤務期間20年以上の者で退職または転職した者
- (3) 図書館学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者

(表彰状の授与)

第3条 表彰は、協議会が別紙様式による表彰状を授与することによって行う。

2 第2条に該当する者については、前項の表彰状にあわせて記念品を贈呈することができる。

(被表彰者の選考)

第4条 表彰をうける者は、所属図書館長の推薦（別紙様式による）に基づき、表彰委員会が選考し、協議会の総会の承認を経て決定する。

(表彰委員会)

第5条 表彰委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された表彰委員館各1館で構成し、任期は1年として再任を妨げない。

(表彰の日)

第6条 表彰は、協議会の総会において行う。

(勤務期間の計算)

第7条 第2条第1号および第2号の勤務期間は、国公立大学図書館およびその他の図書館等に在職した期間とし、10年以上を加盟の大学図書館等に勤務したものでなければならない。

2 次の各号に掲げる期間は、勤務期間から除算する。

(1) 休職の期間（公傷病の期間は除く）

(2) 懲戒処分により停職された期間

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、表彰の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和55年5月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月18日から施行する。

文書番号

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会幹事館

〇〇大学附属図書館長 殿

〇〇大学（附属）図書館長

〇 〇 〇 〇

## 平成 年度表彰者の推薦について

下記の者を本年度の総会における被表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。  
なお、別紙のとおり表彰者調書を提出します。

# 表彰者調書

〇〇大学(附属)図書館

職名		ふりがな 氏名		生年月日	年 月 日
表彰の区分	第2条第1号 第2条第2号 第2条第3号				
勤務成績					
第7条第2項第2号該当の有無 有 ・ 無					
履 歴 事 項					
年 月 日	勤 務 内 容 等	勤 務 期 間			
		加盟館での勤務期間		その他の図書館等での勤務期間	
～		年 月 日	年 月 日		
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
計					
			合 計 年 月 日		

- 注 (1) 勤務期間の計算は暦日数によるものとし日を月に換算するときは30日をもって1月とすること。
- (2) 第7条第2項各号の除算期間は朱書すること。
- (3) 第2条第3号に該当する場合は、「勤務成績」欄は「業績」と書きかえて記入し、参考となる資料等を添付すること。

表彰状様式（1）第2条第1号および第2号該当者

## 表 彰 状

殿

あなたは 年のながい間大学図書館関係の業務に精励されその功労はまことに大きいものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

---

表彰状様式（2）第2条第3号該当者

## 表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会



## 研修会の補助に関する申合せ

平成6年9月20日決定  
平成7年9月1日改正  
平成8年4月24日改正  
平成9年4月25日改正  
平成10年4月25日改正  
平成15年4月25日改正  
平成24年4月20日改正  
九州地区大学図書館協議会

地区の大学図書館活動を発展させるため、研修会、講演会等（以下「研修会」という。）の経費を補助する申合せ事項を次のとおり定める。

1. 研修会経費を補助する対象は、九州地区大学図書館協議会に加盟している大学図書館が主体となって構成する県又は地区単位の組織とし、別紙のとおりとする。
2. 補助する経費の金額は、年間1組織に対して2万円を限度とする。
3. 研修会に要する経費の補助を受けようとするときは、別記様式による申請書を幹事館に提出するものとする。
4. 経費の補助を受けた組織は、本協議会誌に活動報告を掲載するものとする。
5. 経費の支出は、積立金会計を適用する。
6. 新たな組織から経費の補助の申し出があったときは、総会において承認を得るものとする。
7. これに関する事務は、幹事館で行う。

## 別 紙

### 経費を補助する県又は地区単位の組織

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（北部地区）
2. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡地区）
3. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）
4. 長崎県大学図書館協議会
5. 熊本県大学図書館協議会
6. 大分県大学図書館協議会
7. 宮崎県大学図書館協議会
8. 鹿児島県大学図書館協議会
9. 沖縄県大学図書館協議会

別記様式

## 平成 年度九州地区大学図書館協議会・研修会経費補助申請書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

幹事館 殿

組織名  
代表者  
(所属大学)

九州地区大学図書館協議会の研修会経費の補助を受けたく、下記のとおり申請します。

記

研 修 会 名 及 び 内 容	
開 催 期 間	自 平成 年 月 日 ( ) 時 分 至 平成 年 月 日 ( ) 時 分
開 催 場 所	
参 加 機 関 数	
参 加 人 数	
必 要 経 費 (具体的に)	ア. 講 師 謝 金 _____ イ. 資 料 代 金 _____ ウ. 会 場 借 上 費 _____ エ. そ の 他 _____ 合 計 _____
連 絡 担 当 者	氏名 職 電話

\*研修内容は、大学図書館活動を促進させるテーマであること。

## 副幹事館の役割

平成10年 8 月31日  
幹事館・副幹事館会議

- 1 通常時
  1. 年度の事業・活動についての立案・協議
  2. 所属部会との連絡調整と情報の提供
  3. 入会の勧誘等、協議会の広報（特に所属部会の各大学に対して）
  4. ホームページ充実のための提言案、意見具申
- 2 会誌発行時  
各部会から編集委員館は選出されているため、特に役割はないと思うが  
・所属部会の情報（研究発表等、原稿情報）の提供等
- 3 総会時
  1. 副議長職に館長を選出等、当番館及び幹事館と協力しての総会運営
  2. 前日決定された各部会における役員館の事務局への連絡
  3. 総会終了後、当番館作成の議事録の確認
- 4 その他  
別段ある場合は、適宜副幹事館から提案

## 九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について

平成10年 8 月31日  
平成20年 1 月30日改正  
幹事館・副幹事館会議

1. 九州地区大学図書館協議会ホームページ（以下、「ホームページ」という。）は、九州大学附属図書館のサーバに置く。  
(URL <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>)
2. ホームページの管理、維持（デザイン・構成を含む）は、九州地区大学図書館協議会事務局（以下、「事務局」という。）が行う。
3. ホームページに掲載する事項は当面以下のものを中心に構成するものとし、それぞれ以下の館が作成する。
  - ・トピックス&NEWS  
加盟館、各設置部会毎協議会、各県毎協議会等からの原稿に基づき事務局が作成  
総会議事録は総会当番館が原稿を作成

- ・加盟館一覧 事務局が作成
  - ・役員館一覧 事務局が作成
  - ・当番館一覧 事務局が作成
  - ・九州地区大学図書館協議会誌  
事務局が作成（論文等執筆者に対しては原稿依頼時にホームページ掲載方の承諾を得るものとする。）
  - ・地区内の図書館活動  
各設置部会毎の図書館協議会等及び各県毎協議会が作成
  - ・各種関連資料集 事務局が作成
  - ・関連サイトへのリンク集 事務局が作成
  - ・地区内各館の相互利用案内 各加盟館からの原稿に基づき事務局が作成
  - ・フォーラムページ  
協議会が設定するテーマに対する加盟館からの自由な意見・回答のページで、投稿は直接電子メールによる
4. 「3.」のほか、ホームページに文書・記事等の掲載を希望する副幹事館及び加盟館は、HTML形式等で原稿を作成し、事務局に送付するものとする。  
事務局は内容を確認のうえ、ホームページに掲載する。

# 九州地区大学図書館協議会加盟館一覧

26.1.1 現在

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ( )内はFAX番号
国 立	九州工業大学 附属図書館 (館長 鶴田隆治, 図書館・情報推進課長 酒見史博)	804-8550	北九州市戸畑区仙水町1の1	093-884-3072 (093-884-3075)
	福岡教育大学 学術情報センター図書館 (センター長 大坪靖直, 学術情報課長 米納寿孝)	811-4192	宗像市赤間文教町1番5号	0940-35-1257 (0940-35-1705)
	九州大学 附属図書館 (館長 川本芳昭, 事務部長 益森治巳)	812-8581	福岡市東区箱崎6丁目10の1	092-642-2325 (092-642-2330)
	佐賀大学 附属図書館 (館長 稲岡 司, 学術研究協力部長 寺田浩一)	840-8502	佐賀市本庄町1	0952-28-8902 (0952-28-8909)
	長崎大学 附属図書館 (館長 森 望, 学術情報部長 菅原親雄)	852-8521	長崎市文教町1の14	095-819-2193 (095-819-2196)
	熊本大学 附属図書館 (館長 大熊 薫, 教育研究推進部長 山崎雅彦)	860-8555	熊本市中央区黒髪2丁目40の1	096-342-2213 (096-342-2210)
	大分大学 学術情報拠点 (拠点長 宮町良広, 研究・社会連携部長 原田道雄)	870-1192	大分市大字旦野原700	097-554-7482 (097-554-7488)
	宮崎大学 附属図書館 (館長 岩本俊孝, 情報図書部長 上村茂樹)	889-2192	宮崎市学園木花台西1丁目1	0985-58-7759 (0985-58-2896)
	鹿児島大学 附属図書館 (館長 野呂忠秀, 学術情報部長 飯田昇平)	890-0065	鹿児島市郡元1丁目21の35	099-285-7415 (099-285-7413)
	鹿屋体育大学 附属図書館 (館長 西菌秀嗣, 学術図書情報課長 森 規昭)	891-2393	鹿屋市白水町1	0994-46-4874 (0994-46-4157)
	琉球大学 附属図書館 (館長 伊澤雅子, 事務部長 大城清隆)	903-0214	中頭郡西原町字千原1	098-895-8153 (098-895-8154)
公 立	北九州市立大学 図書館 (館長 松尾太加志, 学術情報課長 江上照明)	802-8577	北九州市小倉南区北方4丁目2の1	093-964-4404 (093-964-4437)
	九州歯科大学 附属図書館 (館長 鱒見進一, 学務部長 田中祐二)	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2丁目6の1	093-582-1131 (093-583-7388)
	北九州学術研究都市 学術情報センター (学術情報担当部長 都築信男, 学術情報担当課長平野富士男)	808-0135	北九州市若松区ひびきの1番3号	093-695-3150 (093-695-3152)
	福岡女子大学 学術情報センター(図書館) (館長 月野文子, 経営管理部長 今田 今朝仁)	813-8529	福岡市東区香住ヶ丘1丁目1の1	092-661-2411 (092-661-2416)
	福岡県立大学 附属図書館 (館長 佐藤香代, 学務部長 猪口憲行)	825-8585	田川市伊田4395	0947-42-1760 (0947-42-9457)
	長崎県立大学 附属図書館 (館長 松本幸子, 佐世保校館長 柳田芳伸, 佐世保校図書館課長 柴田昌造, シーボルト校図書館課長 濱口 孝)	858-8580	佐世保市川下町123	0956-47-5958 (0956-26-2100)
	熊本県立大学 学術情報メディアセンター (センター長 三浦 章, 事務長 野尻洋一)	862-8502	熊本市月出3丁目1番100号	096-321-6614 (096-383-2999)
	大分県立芸術文化短期大学 附属図書館 (館長 根之木英二, 企画情報課長 三好民郎)	870-0833	大分市上野丘東1の11	097-545-4235 (097-545-4235)
	大分県立看護科学大学 附属図書館 (館長 市瀬孝道, 総務グループリーダー 朝倉泰三)	870-1201	大分市大字廻栖野2944-9	097-586-4330 (097-586-4373)
	宮崎公立大学 附属図書館 (館長 山口裕司, 事務長 伊豆真一)	880-8520	宮崎市船塚1丁目1番地2	0985-20-4814 (0985-20-4806)
	宮崎県立看護大学 附属図書館 (館長 串間敦郎, 総務課長 古場昭良)	880-0929	宮崎市まなび野3-5-1	0985-59-7756 (0985-59-7773)
鹿児島県立短期大学 附属図書館 (館長 岡村俊彦, 副館長 山之内俊文)	890-0005	鹿児島市下伊敷1丁目52番1号	099-803-4475 (099-803-4473)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ( )内はFAX番号
公立	沖縄県立看護大学 附属図書館 (館長 神里みどり, 主査 幸地 哲)	902-8513	那覇市与儀1-24-1	098-833-8806 (098-833-5134)
	沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館 (館長 島袋君子, 主任 小川浩幸)	903-8602	那覇市首里当蔵町1-4	098-882-5038 (098-882-5068)
	名桜大学 附属図書館 (館長 住江淳司, 図書課参与 又吉 純)	905-8585	沖縄県名護市字為又1220-1	0980-51-1062 (0980-51-1065)
私立	西日本工業大学 図書館 (館長 池森 寛, 事務部長 山崎倫明)	800-0394	福岡県京都郡苅田町新津1-11	0930-23-7729 (0930-24-7900)
	西南女学院大学 図書館 (館長 谷川弘治, 課長 西川 忍)	803-0835	北九州市小倉北区井堀1丁目3の5	093-583-5959 (093-592-1885)
	九州国際大学 図書館 (館長 島浦一博, 事務室長 増田恵次郎)	805-8512	北九州市八幡東区平野1丁目6の1	093-671-8919 (093-671-8920)
	九州共立大学 附属図書館 (館長 森川壽人, 業務課長 岡部憲宗)	807-8585	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3036 (093-603-2260)
	九州女子大学・短期大学 附属図書館 (館長 屋代彰子, 業務課長 松尾伸二)	807-8586	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1	093-693-3124 (093-603-0494)
	福岡工業大学 附属図書館 (館長 阿山光利, 事務長 江口典明)	811-0295	福岡市東区和白東3-30-1	092-606-0691 (092-606-7389)
	福岡女学院大学 図書館 (館長 二階堂 整, 課長 原 修一)	811-1313	福岡市南区曰佐3丁目42の1	092-575-6402 (092-575-4605)
	九州産業大学 図書館 (館長 横山秀司, 事務部長 川上祐二)	813-8503	福岡市東区松香台2丁目3の1	092-673-5382 (092-673-5999)
	福岡大学 図書館 (館長 則松彰文, 事務部長 戸崎悟郎)	814-0180	福岡市城南区七隈8丁目19の1	092-871-6631 (092-865-3794)
	中村学園大学 図書館 (館長 青峰正裕, 図書課長 辻原陽一)	814-0198	福岡市城南区別府5丁目7の1	092-851-2573 (092-841-7762)
	西南学院大学 図書館 (館長 後藤新治, 事務部長 岩佐俊司)	814-8511	福岡市早良区西新6丁目2の92	092-823-3426 (092-823-3480)
	純真学園大学 図書館 (館長 上松弘明, 事務部長 )	815-8510	福岡市南区筑紫丘1丁目1番1号	092-541-1527 (092-541-1542)
	第一薬科大学 図書館 (館長 原口 浩一, 職員 原 直好)	815-8511	福岡市南区玉川町22の1	092-541-0161 (092-542-9776)
	九州情報大学 附属図書館 (館長 南 俊朗, 図書館司書 藤 理恵子)	818-0117	太宰府市宰府6丁目3番1号	092-928-4000 (092-928-3200)
	筑紫女学園大学・短期大学部 附属図書館 (館長 大津忠彦, 課長 福田 千代子)	818-0192	太宰府市石坂2丁目12の1	092-925-9910 (092-925-3318)
	福岡国際大学・福岡女子短期大学 図書館 (館長 宇賀田克子, 課長 大橋祐子)	818-0193	太宰府市五条4丁目16-1	092-922-3604 (092-922-3596)
	久留米工業大学 図書館 (館長 森 和典, 事務室長 萩尾文子)	830-0052	久留米市上津町2228-66	0942-22-2345 (0942-22-2385)
	聖マリア学院大学 図書館 (館長 鷺尾昌一, 司書 山口真由美)	830-8558	久留米市津福本町422番地	0942-37-1138 (0942-37-1138)
	久留米大学 附属図書館 (館長 石川捷治, 課長 熊谷まゆみ)	839-8502	久留米市御井町1635	0942-44-4015 (0942-43-0348)
	保健医療経営大学 情報メディアセンター図書館 (センター長 川島秀樹, 図書係 古澤亜紀)	835-0018	みやま市瀬高町高柳960-5	0944-67-7007 (0944-63-3003)
	国際医療福祉大学 九州地区キャンパス図書館 (館長 藤城直二, 長野弘毅)	831-8501	大川市榎津137-1	0944-89-2143 (0944-86-6000)
	西九州大学 附属図書館 (館長 進藤直文, 課長 中島哲男)	842-8585	神崎市神崎町尾崎4490-9	0952-37-9299 (0952-53-7869)
	活水女子大学 図書館 (館長 野中和孝, 課長 森 茂樹)	850-8515	長崎市東山手町1の50	095-822-4107 (095-823-3701)

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ( )内はFAX番号	
私	長崎総合科学大学 附属図書館 (館長 横山正人, 図書課長 吉田政則)	851-0193	長崎市網場町536	095-838-5140 (095-838-2072)	
	長崎外国語大学 教育研究メディアセンター (センター長 マラ クラウディア, 事務室長補佐 別所佐和子)	851-2196	長崎市横尾3-15-1	095-840-2005 (095-840-2205)	
	長崎純心大学 早坂記念図書館 (館長 岩下康夫, 事務室長 岩崎由希子)	852-8558	長崎市三ツ山町235	095-846-0084 (095-845-4279)	
	長崎ウエスレヤン大学 附属図書館 (館長 亙 明志, 司書 植松久子)	854-0082	諫早市西栄田町1212-1	0957-26-8203 (0957-26-0244)	
	長崎国際大学 図書館 (館長 正山征洋, 図書課長 飯島芳典)	859-3298	佐世保市ハウステンボス町2825-7	0956-20-5560 (0956-39-4894)	
	崇城大学 図書館 (館長 井芹浩文, 課長 原 みゆき)	860-0082	熊本市西区池田4丁目22の1	096-326-3419 (096-359-3002)	
	九州ルーテル学院大学 図書館 (館長 百武玉恵, 司書 坂本美樹)	860-8520	熊本市中央区黒髪3丁目12-16	096-343-2494 (096-343-0354)	
	熊本学園大学 付属図書館 (館長 堀 正広, 事務部長 宮原由美子)	862-8680	熊本市中央区大江2丁目5の1	096-364-5161 (096-362-5967)	
	東海大学 付属図書館 熊本・阿蘇図書館 (館長 岩橋正國(熊本), 梶田聖孝(阿蘇))	862-8652	熊本市東区渡鹿9-1-1	096-386-2634(熊本) 0967-67-3907(阿蘇)	
	熊本保健科学大学 附属図書館 (館長 岡部由紀子, 司書 山崎栄子)	861-5598	熊本市北区和泉町325	096-275-2264 (096-275-2265)	
	九州看護福祉大学 附属図書館 (館長 佐藤林正, 学術資料係長 福本直子)	865-0062	玉名市富尾888	0968-75-1840 (0968-75-1873)	
	日本文理大学 図書館 (館長 市川芳郎, 課長補佐 小平正典)	870-0397	大分市大字一木1727	097-524-2711 (097-593-5166)	
	立命館アジア太平洋大学 ライブラリー (センター長 ROSE John A. アカデミックオフィス課長 大嶋名生)	874-8577	別府市十文字原1-1	0977-78-1140 (0977-78-1141)	
	別府大学 附属図書館 (館長 佐藤瑠威, 事務長 平野純治)	874-8501	別府市大字北石垣82	0977-66-9633 (0977-66-9632)	
	九州保健福祉大学 附属図書館 (館長 園田 徹, 主任 内田ゆかり)	882-8508	延岡市吉野町1714-1	0982-23-5562 (0982-23-5560)	
	宮崎産業経営大学 附属図書館 (館長 田代裕子, 課長 宮下猛美)	880-0931	宮崎市古城町丸尾100	0985-52-3205 (0985-50-4699)	
	南九州大学・南九州短期大学 図書館 (館長 中根忠洋, 学務部長 中村 稔)	880-0032	宮崎市霧島5-1-2	0985-83-3430 (0985-83-3431)	
	宮崎学園 図書館 宮崎国際大学・宮崎学園短期大学 (館長 菅 邦男, 図書課長 小橋智子)	889-1605	宮崎市清武町加納丙1415	0985-85-1410 (0985-85-8189)	
	立	鹿児島国際大学 附属図書館 (館長 吉田春生, 図書館課長 仮屋淳子)	891-0197	鹿児島市坂之上8-34-1	099-263-0732 (099-261-1198)
		鹿児島純心女子大学 附属図書館 (館長 坂井恵子, 図書課長 森山 学)	895-0011	薩摩川内市天辰町2365	0996-23-5311 (0996-23-5030)
志学館大学 図書館 (館長 河原晶子, 課長 田上 豊)		890-8504	鹿児島市紫原一丁目59-1	099-812-8509 (099-257-0308)	
沖縄国際大学 図書館 (館長 原田優也, 課長 富里珠美)		901-2701	宜野湾市宜野湾2丁目6番1号	098-892-1111 (098-893-3274)	
沖縄大学 図書館 (館長 ティー・ファントラル, 事務長 糸数 晃)		902-8521	那覇市宇国場555	098-832-5577 (098-834-1127)	
沖縄キリスト教学院 図書館 (館長 内間清晴, 課長 多根宏治)		903-0207	沖縄県中頭郡西原町字翁長777	098-946-1236 (098-946-1237)	
沖縄科学技術大学院大学 図書館 (館長 ロバート・バックマン, 司書 上原藤子)		904-0495	沖縄県国頭郡恩納村字茶谷1919-1	098-966-8436 (098-966-8817)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ( )内はFAX番号
私立 短大	九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 図書館 (館長 山田千秋, 図書課長 小林由憲)	803-8511	北九州市小倉北区下到尾津5の1の1	093-561-3541 (093-592-6184)
	東九州短期大学 図書館 (館長 有吉英樹, 司書 釘丸知子)	871-0014	中津市大字一ツ松211	0979-22-2425 (0979-25-3935)
	鹿児島女子短期大学 附属図書館 (館長 古川恵子, 課長 南谷 久)	890-8565	鹿児島市高麗町6-9	099-254-9195 (099-254-5914)
	鹿児島純心女子短期大学 図書館 (館長 三島盛武, 課長 西 真知子)	890-8525	鹿児島市唐湊4丁目22の1	099-253-2677 (099-254-5247)



## 九州地区大学図書館協議会役員館一覽

年次 (回次)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和48年度 (24)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	福岡教育大学 長崎国際経済大学 福岡大学	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南大学	
昭和49年度 (25)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	九州工業大学 長崎国際経済大学 西南大学	九州芸術工科大学 長崎県立女子短大 福岡大学	
昭和50年度 (26)	九州大学	西南大学	国 公 私	佐賀大学 北九州大学 久留米大学	長崎大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和51年度 (27)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 九州歯科大学 久留米大学	大分大学 長崎国際経済大学 西南大学	
昭和52年度 (28)	九州大学	福岡大学	国 公 私	福岡教育大学 福岡女子大学 西南大学	鹿児島大学 熊本女子大学 九州産業大学	
昭和53年度 (29)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南大学	九州芸術工科大学 長崎国際経済大学 久留米大学	
昭和54年度 (30)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 北九州大学 九州産業大学	佐賀大学 九州歯科大学 久留米大学	
昭和55年度 (31)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎大学 福岡社会保育短大 西南大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和56年度 (32)	九州大学	西南大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本女子大学 九州産業大学	熊本大学 鹿児島県立短大 福岡大学	
昭和57年度 (33)	九州大学	福岡大学	国 公 私	長崎大学 北九州大学 八幡大学	鹿児島大学 福岡女子大学 熊本商科大学	
昭和58年度 (34)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	琉球大学 福岡社会保育短大 鹿児島経済大学	宮崎医科大学 鹿児島県立短大 八幡大学	
昭和59年度 (35)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 中村学園大学	大分医科大学 長崎県立女子短大 西日本工業大学	
昭和60年度 (36)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	宮崎大学 熊本女子大学 鹿児島経済大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 西日本工業大学	
昭和61年度 (37)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	熊本大学 北九州大学 長崎総合科学大学	大分大学 福岡社会保育短大 第一薬科大学	
昭和62年度 (38)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	宮崎医科大学 福岡女子大学 九州東海大学	大分医科大学 九州歯科大学 沖縄国際大学	

年次 (回数)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和63年度 (39)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 福岡大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 八幡大学	
平成元年度 (40)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 長崎県立女子短期大学 西南大学	佐賀大学 熊本女子大学 中村学園大学	
平成2年度 (41)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	福岡教育大学 北九州大学 九州産業大学	長崎大学 大分県立芸術文化短期大学 熊本商科大学	九州大学 大分医科大学 福岡女子大学 福岡大学 福岡女子短期大学
平成3年度 (42)	九州大学	福岡大学	国 公 私	九州工業大学 福岡県社会保育短期大学 久留米大学	鹿児島大学 長崎県立大学 西日本工業大学	九州大学 鹿屋体育大学 九州歯科大学 中村学園大学 筑紫女学園短期大学
平成4年度 (43)	九州大学	福岡女子短期大学	国 公 私	宮崎大学 福岡女子大学 鹿児島経済大学	大分大学 九州歯科大学 活水女子大学	九州大学 福岡教育大学 北九州大学 九州国際大学 東筑紫短期大学
平成5年度 (44)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎医科大学 熊本女子大学 活水女子大学	大分医科大学 鹿児島県立短期大学 鹿児島経済大学	九州大学 熊本大学 福岡女子大学 西南学院大学 筑紫女学園短期大学
平成6年度 (45)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	熊本大学 大分県立芸術文化短期大学 活水女子大学	佐賀医科大学 宮崎公立大学 鹿児島経済大学	九州大学 宮崎大学 福岡県立大学 九州産業大学 筑紫女学園短期大学
平成7年度 (46)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	鹿屋体育大学 北九州大学 第一薬科大学	琉球大学 長崎県立大学 南九州大学	九州大学 九州工業大学 九州歯科大学 九州共立大学 久留米大学 筑紫女学園短期大学
平成8年度 (47)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州東海大学	佐賀大学 九州歯科大学 熊本学園大学	九州大学 大分大学 北九州大学 九州共立大学 西南女学院短期大学
平成9年度 (48)	九州大学	福岡教育大学	国 公 私	九州工業大学 熊本県立大学 九州女子大学	宮崎大学 鹿児島県立短期大学 久留米工業大学	九州大学 佐賀大学 九州歯科大学 福岡大学 西南女学院短期大学

年次 (回数)	幹事館	副 幹 事 館		監 査 館	表彰委員館	編集委員館
平成10年度 (49)	九州大学	国 公 私 短	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州国際大学 中九州短期大学	中村学園大学	福岡教育大学 長崎大学 福岡県立大学 長崎県立女子短期大学 西日本工業大学 筑紫女学園大学	九州大学 佐賀医科大学 福岡女子大学 第一薬科大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成11年度 (50)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島経済大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 別府大学 中九州短期大学	九州大学 佐賀大学 長崎大学 福岡県立大学 熊本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成12年度 (51)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島国際大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡女子大学	大分大学 宮崎県立大学 宮崎国際大学 中九州短期大学	九州大学 沖縄国際大学 宮崎医科大学 北九州大学 西南女学院大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成13年度 (52)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡教育大学	宮崎医科大学 北九州市立大学 筑紫女学園大学 沖縄キリスト教短期大学	鹿児島大学 九州歯科大学 西九州大学 活水女子短期大学 九州大学 九州女子大学
平成14年度 (53)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡工業大学	大分医科大学 熊本県立大学 九州情報大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鹿児島純心女子大学 活水女子短期大学 九州大学 大分大学
平成15年度 (54)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	鹿屋体育大学 宮崎県立看護大学 九州ルーテル学院大学 筑紫女学園大学・短期大学	九州工業大学 福岡女子大学 九州看護福祉大学 西南女学院大学・短期大学 九州大学 宮崎大学
平成16年度 (55)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	西南学院大学	熊本大学 福岡女子大学 志學館大学 東九州女子短期大学	福岡教育大学 九州歯科大学 南九州大学・南九州短期大学 西南女学院大学・短期大学
平成17年度 (56)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	九州産業大学	琉球大学 沖縄県立看護大学 西南女学院大学 鹿児島純心女子短期大学	熊本大学 北九州市立大学 西日本工業大学 鹿児島純心女子短期大学
平成18年度 (57)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	佐賀大学 鹿児島県立短期大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	鹿屋体育大学 福岡県立大学 筑紫女学園大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

年次 (回数)	幹事館	副 幹 事 館		監 査 館	表彰委員館	編集委員館
平成19年度 (58)	九州大学	国 公 私 短	熊 本 大 学 宮 崎 県 立 看 護 大 学 福 岡 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	中村学園大学	九州工業大学 九州歯科大学 久留米工業大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 九州女子大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成20年度 (59)	九州大学	国 公 私 短	熊 本 大 学 宮 崎 県 立 看 護 大 学 福 岡 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学	宮 崎 大 学 大分県立看護科学大学 別 府 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	長 崎 大 学 九州歯科大学 鹿児島国際大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成21年度 (60)	九州大学	国 公 私 短	大 分 大 学 福 岡 県 立 大 学 九州産業大学 九州大谷短期大学	福岡女子大学	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学 鹿児島女子短期大学	鹿児島大学 北九州市立大学 西南女学院大学 中九州短期大学
平成22年度 (61)	九州大学	国 公 私 短	大 分 大 学 福 岡 県 立 大 学 九州産業大学 九州大谷短期大学	福岡大学	長 崎 大 学 福岡女子大学 鹿児島純心女子大学 鹿児島女子短期大学	九州工業大学 北九州学術研究都市学術情報センター 活水女子大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成23年度 (62)	九州大学	国 公 私 短	宮 崎 大 学 長 崎 県 立 大 学 熊本学園大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡工業大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	佐 賀 大 学 福岡県立大学 九州国際大学 九州大谷短期大学
平成24年度 (63)	九州大学	国 公 私 短	宮 崎 大 学 長 崎 県 立 大 学 熊本学園大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	大 分 大 学 沖縄県立看護大学 九州東海大学 九州大谷短期大学	琉 球 大 学 福岡女子大学 沖縄国際大学 鹿児島女子短期大学
平成25年度 (64)	九州大学	国 公 私 短	鹿 児 島 大 学 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学	西南学院大学	鹿屋体育大学 北九州市立大学 九州共立大学 鹿児島純心女子短期大学	宮 崎 大 学 九州歯科大学 聖マリア学院大学 鹿児島純心女子短期大学
平成26年度 (65)	九州大学	国 公 私 短	鹿 児 島 大 学 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学			

## 九州地区大学図書館協議会総会当番館一覧

回次	年度	県別	大 学
1	25	福岡	九州大学
2	26	熊本	熊本大学
3	27	長崎	長崎大学
4	28	佐賀	佐賀大学
5	29	鹿児島	鹿児島大学
6	30	宮崎	宮崎大学
7	31	大分	大分大学
8	32	福岡	西南学院大学
9	33	福岡	九州大学
10	34	熊本	熊本大学
11	35	福岡	九州工業大学
12	36	長崎	長崎大学
13	37	福岡	福岡大学
14	38	佐賀	佐賀大学
15	39	福岡	福岡教育大学
16	40	宮崎	宮崎大学
17	41	福岡	八幡大学
18	42	鹿児島	鹿児島大学
19	43	福岡	九州大学
20	44	熊本	熊本商科大学
21	45	福岡	久留米大学
22	46	大分	大分大学
23	47	福岡	北九州大学
24	48	長崎	長崎大学
25	49	福岡	九州産業大学
26	50	佐賀	佐賀大学
		〃	佐賀龍谷短期大学
27	51	沖縄	琉球大学
28	52	福岡	九州大学
29	53	大分	大分大学
30	54	宮崎	宮崎大学
31	55	福岡	九州歯科大学
		〃	福岡女子大学
		〃	福岡県社会保険短期大学
32	56	熊本	熊本女子大学
33	57	鹿児島	鹿児島大学
		〃	鹿児島県立短期大学
		〃	鹿児島経済大学

回次	年度	県別	大 学
34	58	福岡	西日本工業大学
35	59	長崎	長崎大学
36	60	宮崎	宮崎医科大学
		大分	大分県立芸術短期大学
		宮崎	南九州大学
		長崎	純心女子短期大学
37	61	福岡	九州芸術工科大学
38	62	佐賀	佐賀医科大学
39	63	沖縄	琉球大学
40	平成	福岡	北九州大学
41	2	大分	大分医科大学
42	3	鹿児島	鹿屋体育大学
43	4	福岡	西南学院大学
44	5	熊本	九州東海大学
45	6	宮崎	宮崎産業経営大学
46	7	福岡	九州工業大学
47	8	長崎	長崎大学
48	9	鹿児島	鹿児島経済大学
49	10	福岡	福岡女子大学
50	11	佐賀	佐賀大学
51	12	沖縄	沖縄国際大学
52	13	福岡	九州女子大学
53	14	大分	大分大学
54	15	宮崎	宮崎大学
55	16	福岡	福岡教育大学
56	17	熊本	熊本大学
57	18	鹿児島	鹿屋体育大学
58	19	福岡	九州大学
59	20	長崎	長崎大学
60	21	沖縄	琉球大学
61	22	福岡	福岡県立大学
		〃	九州歯科大学
		〃	北九州学術研究都市(学術情報センター)
62	23	佐賀	佐賀大学
63	24	鹿児島	鹿児島大学
64	25	福岡	福岡教育大学
65	26	大分	大分大学学術情報拠点

# ラクーナ<sup>®</sup>

閲覧テーブル



4人用閲覧テーブル+LED照明ユニット

このテーブルは、ユニット式閲覧テーブルです。  
フラットな天板からLED照明にスクリーンなど、  
用途に応じて機能を容易に変える事が出来ます。



標準ユニット

## サイズ (mm)

- |        |                        |
|--------|------------------------|
| 1. 4人用 | W1800 × D 980 × H 700  |
| 2.     | W1600 × D 1200 × H 700 |
| 3.     | W1800 × D 1200 × H 700 |
| 4. 6人用 | W2100 × D 1200 × H 700 |
| 5.     | W2400 × D 1200 × H 700 |

## 価格

### 閲覧テーブル本体

- |        |                     |         |
|--------|---------------------|---------|
| 1. 4人用 | ¥207,900 (¥198,000) | RT-0189 |
| 2.     | ¥220,500 (¥210,000) | RT-0162 |
| 3.     | ¥223,650 (¥213,000) | RT-0182 |
| 4. 6人用 | ¥267,750 (¥255,000) | RT-0112 |
| 5.     | ¥276,150 (¥263,000) | RT-0142 |

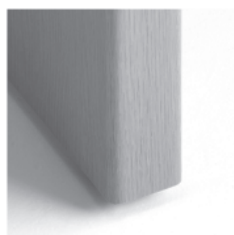
### スクリーンユニット

- |        |                     |         |
|--------|---------------------|---------|
| W1600用 | ¥ 69,300 (¥ 66,000) | RT-0360 |
| W1800用 | ¥ 71,400 (¥ 68,000) | RT-0380 |
| W2100用 | ¥ 89,250 (¥ 85,000) | RT-0310 |
| W2400用 | ¥100,800 (¥ 96,000) | RT-0340 |

### LED照明ユニット (スクリーン付)

- |        |                     |         |
|--------|---------------------|---------|
| W1600用 | ¥262,500 (¥250,000) | RT-0460 |
| W1800用 | ¥280,350 (¥267,000) | RT-0480 |
| W2100用 | ¥357,000 (¥340,000) | RT-0410 |
| W2400用 | ¥393,750 (¥375,000) | RT-0440 |

## 天板ポストフォーム



パネル脚ポストフォーム

## 材質

本体：ポストフォーム  
オレフィンシート合板  
メラミン化粧板

九州・山口地区 (L・キスト)

〒814-0162 福岡市早良区星の原団地20-403  
TEL: 092-863-0128 FAX: 092-863-0127



株式会社 伊藤伊

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-10  
TEL (03)5689-6230(代) FAX (03)5689-6232

伊藤伊

検索

http://www.itin.jp  
E-mail info@itin.jp

人も活き活き、地球も生き生き—新ユーデコスタイル  
新 Ud & Eco style

ITOKI



木の風合いとメタル素材の組合せが、スタイリッシュな書架空間を演出。  
照明の工夫により、ラウンジのような居心地の良さ  
「思考」の場に相応しい静かで落ち着きがあるスペースを実現します。

# A space that nurtures curiosity.

知的好奇心を育む、空間。

歴史的文献からデジタルコンテンツまで多様な「知識」が集積する図書館は  
さまざまな知識との出会いが利用者の好奇心を満たし、  
そこに集う人々との出会いと交流が、新たな価値と創造を生み出す場所です。  
地域社会や教育施設など、コミュニティの中の情報発信基地として、  
知識や情報とふれあい、豊かな創造性を育む学びの場であるために。  
イトーキは、空間コンセプトに最適な家具のあり方を通して  
知識と人、人と人との交流を演出する図書館空間づくりを総合的にご提案します。

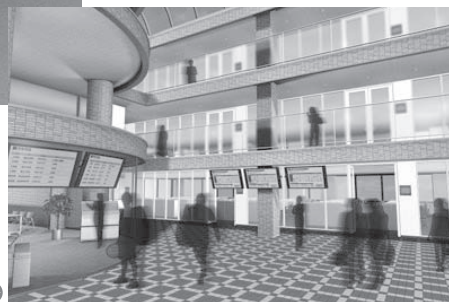


Smart Style I



LANShēet®  
LANシート®(二次元LANシステム)

学内インフォメーションシステム



株式会社イトーキ 福岡支店

福岡市博多区上呉服町10-10 呉服町ビジネスセンタービル4階 〒812-0036 tel.092-281-4061 お客様相談センター ☎ 0120-164177 URL <http://www.itoki.jp/>

# Scopus

www.scopus.com

## 英語論文探すなら Scopus!

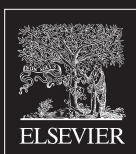


こんな便利な  
機能があったなんて  
知らなかった!  
やっぱり日本語だと  
ずっと目に入ってきますね  
(修士学生)

これなら初めての  
学部学生でも抵抗なく  
使えますね  
(教員)

### 待望の日本語インターフェースが登場

全分野対応、世界5,000社以上の出版社から5,000万論文収載  
被引用数順に並べ替えで重要な論文も漏らさずチェック



お問い合わせ先  
エルゼビア・ジャパン株式会社  
サイエンス&テクノロジー

〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布一丁目ビル4階  
TEL: 03-5561-5034  
E-mail: jp.pr@elsevier.com

世界最大規模の抄録・引用文献データベース

# Scopus



NEW

## 電動式移動棚 HPZS

- **Auto Power On-Off**
- **通路均等分散**



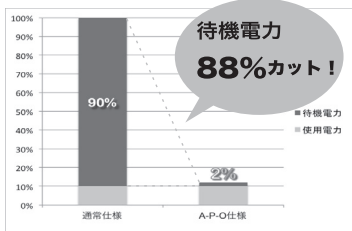
電動式移動棚 HPZS に、新機能

“**Auto Power On-Off** (オートパワーオンオフ)” と  
“**通路均等分散**” を搭載しました。

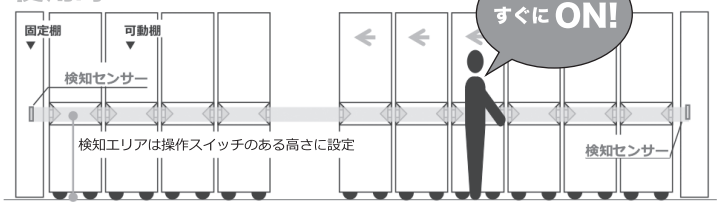
### 省エネ機能

## Auto Power On-Off

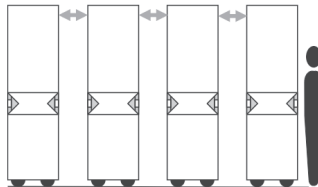
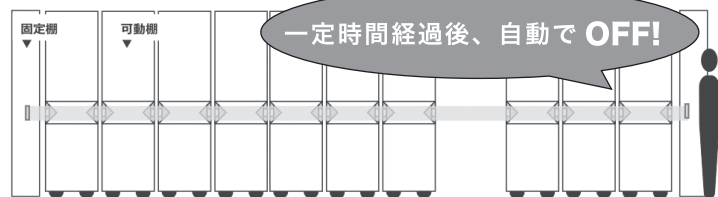
使用時は操作スイッチに手を近づけるだけで電源が入り、使用後は一定時間が経過すると電源が切れてスリープ状態になります。これによって待機電力を大幅にカットできます。



### 使用時



### 使用后



### 通路均等分散機能

ワンタッチで棚間を等間隔に分散させる機能です。  
棚間の通気性向上をサポートします。

NEW

## 木製傾斜スライド棚

地震対策に定評のある金剛の傾斜スライド棚に、**木製棚**が登場しました。

地震の揺れで棚板をスライド・傾斜させ、図書資料の落下を軽減します。  
傾斜後、女性の力でも簡単に復旧できます。



空間をデザインする  
**KONGO**  
www.kongo-corp.co.jp

**金剛株式会社**

福岡支店 / 福岡市東区名島3-2-10 TEL 092-681-6286

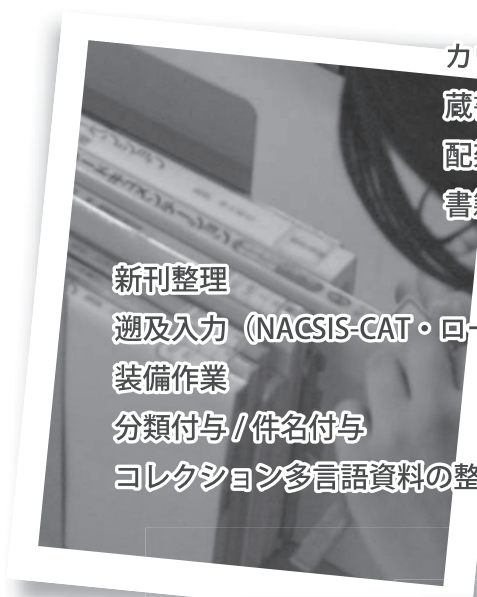
本社・工場 / 熊本市西区上熊本3-8-1 TEL (096) 355-1111 (大代)

営業拠点 / 仙台・東京・静岡・名古屋・金沢・大阪・岡山・広島・高松・大分・長崎・佐賀・熊本・八代・天草・宮崎・鹿児島・沖縄

ホームページにて、傾斜スライド棚の動画も公開中!

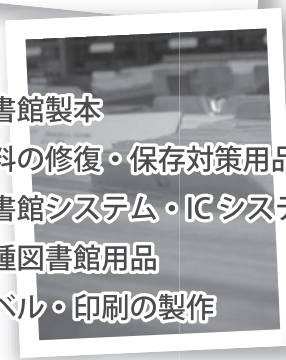
For the wisdom into the Next.

# 図書館を支える パートナーを目指して



カウンター業務・ILL 業務  
蔵書点検  
配架シミュレーション・書籍移動  
書籍保管・除籍

新刊整理  
遡及入力 (NACSIS-CAT・ローカル)  
装備作業  
分類付与/件名付与  
コレクション多言語資料の整理



図書館製本  
資料の修復・保存対策用品  
図書館システム・ICシステム  
各種図書館用品  
ラベル・印刷の製作



雑誌受入  
雑誌遡及入力  
製本準備・製本受入

ライブラリーソリューションセンターを中心として人材・ノウハウを整え、業務の運用・サービス向上などに、お客様とともに取り組んでいます。

120427

お問い合わせは

**ナカバヤシ株式会社** 図書館ソリューション営業部



東京本社	〒174-8602	東京都板橋区東坂下 2 丁目 5-1	TEL:03-3558-1251	FAX:03-3558-1260
大阪支社	〒536-0005	大阪市城東区中央 2 丁目 1-23	TEL:06-6930-6668	FAX:06-6935-2667
名古屋支店	〒456-0053	名古屋市熱田区一番 2 丁目 2-6	TEL:052-661-3771	FAX:052-661-3775
福岡支店	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭 5 丁目 7-11	TEL:092-641-3661	FAX:092-641-3699

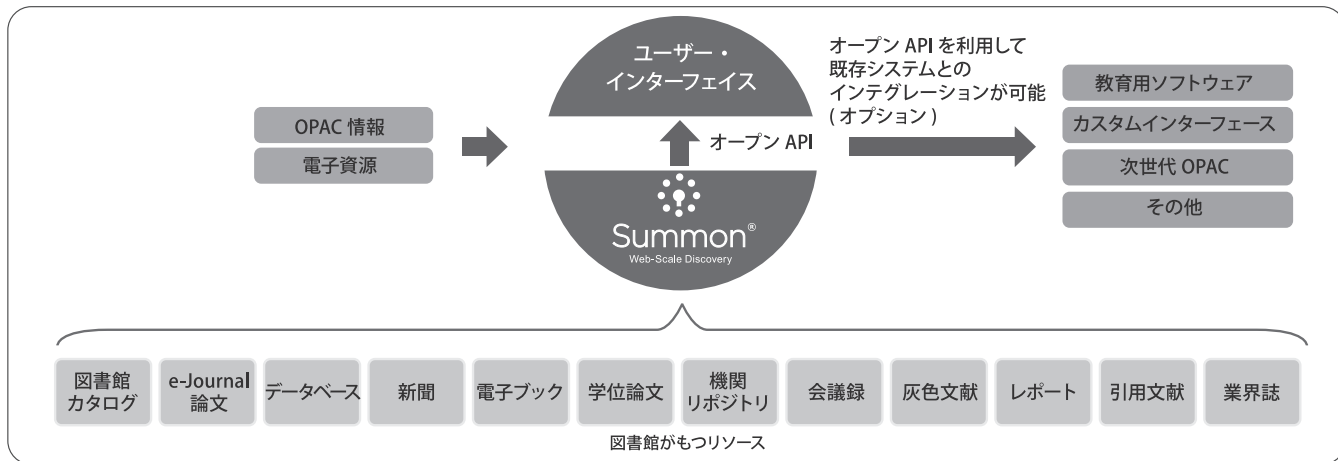
札幌営業所	TEL:011-846-7884	仙台営業所	TEL:022-284-3045	水戸営業所	TEL:029-254-1534
横浜営業所	TEL:045-952-0501	広島営業所	TEL:082-270-3141	高松出張所	TEL:087-831-5825

<http://www.nakabayashi.co.jp/> toshokan@nakabayashi.co.jp

JQA-1733の登録活動範囲:製本関連(図書館製本、輪装)の設計・開発及び製造  
JQM-EM1197の登録活動範囲:ナカバヤシで製造されている各種事務用品、事務機器に係る企画、管理、開発、販売、配送及び事務運営

Summon は統合検索や次世代 OPAC を越える全く新しい検索サービスです。グーグルのようなシンプルなインターフェイスから図書館独自の広範囲で信頼性の高い情報へすばやくアクセスすることができます。

図書館の所蔵資料や契約データベース・電子ジャーナル、機関リポジトリ、オープンアクセス誌といった図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせる手法でこれまでにない検索スピードを実現しました。



### POINT 1

#### すべてのリソースを一度に検索

すべてのリソースをたったひとつの検索窓から見つけることができます。現在のインターネットユーザーのニーズを満たす新しい学術情報の検索スタイルを提供します。

### POINT 2

#### 信頼のおけるコンテンツだけを検索

検索対象はすべて図書館のコンテンツです。信頼性が高く、しかも入手可能なコンテンツにのみアクセスすることができます。

### POINT 3

#### 瞬時に検索結果を表示

図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせるので、Google などの検索スピードを実現します。

## これまで見つけることが困難だった資料でも たった1つの検索窓から瞬時に見つけられます！



### 図書館システムと連携して 所蔵・貸出情報を リアルタイムで表示

冊子の検索結果には現在の貸出し状況や保管場所が表示されます。検索結果をクリックすると図書館 OPAC のライブリンクになっています。

availability : 貸出中、中央図書館所蔵

### SaaS 型サービスなので 導入・メンテナンスの 手間がかかりません

Software as a Service(SaaS) で提供されるため、サーバーの設置やアップデート、メンテナンスといった作業に人員を割く必要はありません。常に最新で最適な状態でサービスを利用することができます。

### 目的の資料への確にナビゲートします

ファセット機能によりフォーマット、主題、出版年などによる絞り込み検索を効率的に実行できます。また、360Link などのリンクリゾルバと連携して該当の資料に確実にたどり着くことができます。

360 360 LINK



# PierOnline ピアオンライン

PierOnlineは国内の学術出版社が発行する医学・薬学・看護系の学術誌を電子ジャーナルとして提供するホスティングサイトです。ご利用は、提供される電子ジャーナル1誌ごとに年間購読が可能です。冊子体（本誌）の非購読者は論文単位でのPayPerView購読が可能です。

## 南江堂の「外科」「内科」「整形外科」「別冊整形外科」「胸部外科」の5誌が「南江堂オンライン Journal」として新たに PierOnline に追加されました！



### 「南江堂オンライン Journal」の特長

- ・南江堂オンライン Journal は5誌セットでのご契約となります
- ・最新号から閲覧が可能です
- ・増刊号や増大号も閲覧対象です
- ・同時アクセスは無制限です
- ・お申込みは何月からでも可能です
- ・タイトルや著者名だけでなく、全文を対象とした検索が可能です
- ・論文のブックマークが可能です

ご希望の多かった  
「別冊整形外科」が追加されました！

### new!

南江堂の4誌に参考文献リストへのリンクが追加されました。対象誌は「外科」「内科」「整形外科」「胸部外科」の2013年1月号からです。PierOnlineの抄録ページに表示されている「文献リストはこちら」のアイコンをクリックすると参考文献リストが開きます。



### new! バックナンバーは13年分!

ご契約と同時に、PierOnline に収録されているバックナンバー全てが閲覧可能となります。「外科」「内科」「整形外科」は2001年からの13年間分、「別冊整形外科」は2000年からの14年間分、「胸部外科」は2004年から10年間分のバックナンバーをご覧いただけます。



バックナンバーは13年分!

## 南江堂オンライン Journal をご覧いただけるのは、PierOnline だけです！

### PierOnline には価値ある48誌を収録!

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| <p>▶ 癌と化学療法社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 癌と化学療法</li> <li>・ Liver Cancer</li> <li>・ Biotherapy</li> </ul> <p>▶ 最新医学社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最新医学</li> </ul> <p>▶ 南江堂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外科</li> <li>・ 内科 <b>new!</b></li> <li>・ 胸部外科 <b>new!</b></li> <li>・ 整形外科 <b>new!</b></li> <li>・ 別冊整形外科 <b>new!</b></li> </ul> <p>▶ メディカルレビュー社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PharmaMedica</li> <li>・ ゲノム医学</li> </ul> | <p>▶ 医歯薬出版</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医学のあゆみ</li> </ul> <p>▶ ライフサイエンス出版</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治療学</li> <li>・ Therapeutic Research</li> <li>・ 薬理と治療</li> <li>・ CORE Journal 循環器 <b>new!</b></li> </ul> <p>▶ UniBioPress</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Current Herpetology</li> <li>・ Journal of Mammalian Ova Research</li> <li>・ Mammal Study</li> <li>・ Ornithological Science</li> <li>・ Paleontological Research</li> <li>・ Zoological Science</li> <li>・ SpeciesDiversity</li> </ul> | <p>▶ メディカ出版</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インфекションコントロール</li> <li>・ エマージェンシー・ケア</li> <li>・ オペナリング</li> <li>・ 眼科ケア</li> <li>・ 呼吸器ケア</li> <li>・ サーキュレーション・アップ・トゥ・デート</li> <li>・ 産業看護</li> <li>・ 消化器外科ナーシング</li> <li>・ スマートナース</li> <li>・ 整形外科看護</li> <li>・ 透析ケア</li> <li>・ プロフェッショナルがんナーシング</li> <li>・ 糖尿病ケア</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナーシングビジネス</li> <li>・ ニュートリションケア</li> <li>・ ネオネイタルケア</li> <li>・ 脳神経外科速報</li> <li>・ ハートナーシング</li> <li>・ バスキュラー・ラボ</li> <li>・ 泌尿器ケア</li> <li>・ ブレインナーシング</li> <li>・ ペリネイタルケア</li> <li>・ リハビリナース</li> <li>・ 整形外科サージカルテクニック <b>new!</b></li> <li>・ 眼科グラフィック <b>new!</b></li> </ul> |
|---|--|--|--|

アクセスはこちらから → <http://www.pieronline.jp/>

### 今年も学術情報ソリューションセミナーを開催します!

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <p>大阪会場</p> <p>2014年7月1日(火)</p> <p>場所: グランフロント大阪</p> | <p>東京会場</p> <p>2014年7月4日(金)</p> <p>場所: 日本橋三井ホール</p> | <p>札幌会場</p> <p>2014年7月11日(金)</p> <p>場所: 札幌医科大学記念ホール</p> |
|--|---|---|

上記以外の会場については、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。

毎年夏に開催しております「学術情報ソリューションセミナー」は今年で第10回を迎えます!





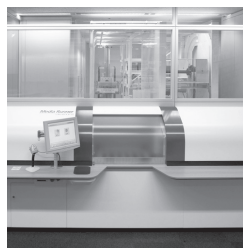
# Media Runner

自動書庫システム【メディアランナー】

図書館施設の24時間利用を可能にする、新発想の閉架書庫。

閉架書庫は、一般的には蔵書の管理保管スペースとして設置されています。しかし、最近の動向として、図書館施設の24時間利用を前提に、自動書庫化する大学が増えていきます。オカムラでは、物流市場におけるノウハウを活かし、図書館に特化した自動書庫システムの「メディアランナー」を開発。収蔵される書籍は、ICタグによる自動検出機能で、迅速かつ確実なピックアップと再格納を可能にします。

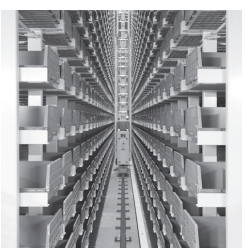
無人貸出し



ICタグ管理とタッチパネル操作



自動棚卸し



【西日本支社】

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-3-3 明治安田渡辺ビル TEL: 092(482)8822 FAX: 092(482)8824

<http://www.okamura.co.jp/> お客様サービスセンター ☎0120-81-9060 受付時間 9:00~17:20(土・祝日を除く)

よい品は結局おトクです

**オカムラ**  
株式会社 岡村製作所

法人向電子書籍サービス

# NetLibrary

<http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/netlibrary/>

- フルテキスト検索、コンテンツ間横断検索を実現！
- 搭載件数 45 万点以上、世界最大級のコレクション！（2013 年 10 月現在）
- 豊富な導入実績！全世界 26,000 以上の図書館が利用！（2013 年 10 月現在）
- 紙の本と同じ、1冊からの買切り方式！
- いつでもどこからでも…リモートアクセスが可能！
- NACIS 形式の MARC レコードを標準無償提供！
- 書架スペースの確保に最適！



お問合せ先

■ 紀伊國屋書店 福岡営業所

〒812-0012 福岡市博多区博多駅前中央街 2-1 博多バスターミナル 9F Tel: (092)437-5353 Fax: (092)437-5356

# ジュンク堂書店

淳久堂書店

## お店で選書ツアーができます

☆学生・先生・司書の皆さんで学校企画としていかがですか？  
各階専門書・地下一階に1万5000冊の洋書売場も充実！  
B1～4階フロア・140万冊の店舗で選書が可能です(要予約)

お問い合わせ先 E-mail [fk-gai@junkudo.co.jp](mailto:fk-gai@junkudo.co.jp)  
福岡市中央区天神 1-10-13 天神 MMT ビル  
電話・092-738-3405 FAX・092-738-3230

# 広げます あなたの未来 政府刊行物

探したい本はここで見つかる。  
政府刊行物のホームページ  
<http://www.gov-book.or.jp/>

## 政府刊行物サービス・ステーション

天神:福岡市中央区天神 4-5-10(チサン天神 1F) 市役所:福岡市中央区天神 1-8-1(福岡市役所 B1F)

TEL(092)721-4846

TEL(092)722-4861

県庁:福岡市博多区東公園 7-7(福岡県庁 B1F)

TEL(092)641-7838

政府刊行物普及株式会社・福岡県官報販売所  
福岡市中央区天神 4-5-17

TEL(092)761-1151 FAX(092)751-0385

# Auto Lib.

自動化書庫・オートライブ

## 導入成果の確かさで ご好評をいただいています

オートライブの最大の特徴は、膨大な図書・資料を効率的に保管し合理的な検索・出納システムによって利用者が求めた情報を迅速に、的確に提供できることです。入出庫の速さとともに、図書のサイズ別フリーロケーションとダブルコンテナ格納方式の採用により高密度保管と高速出納を両立させました。

### オートライブの特長

- ▶利用者へのサービスが大幅に向上します。
- ▶すべての自動化により、大幅な省力効果が得られます。
- ▶保管密度が極めて高く、大きなスペースセービング効果が得られます。
- ▶コンピュータによる蔵書点検など管理レベルが飛躍的に向上します。
- ▶蔵書データとの照合・確認を簡単に行うことができます。



よりよい保管システムを提供する

 **日本ファイリング**

本社 / 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2(新御茶ノ水アーバンビル) 支店 / 大阪・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・広島・福岡

資料請求・お問い合わせは ▶ <http://www.nipponfiling.co.jp> ☎ 0120-808-977 電話受付 / 月~金(土・日・祝日を除く) 9:00~17:00

# FUKUOKA KAIGAI LIMITED

洋書・洋雑誌・バックナンバー輸入販売



# 福岡海外株式会社

福岡市中央区天神4-1-18 〒810-0001

Tel: 092-741-2685 Fax: 092-741-8418

e-mail: fkaigai@lime.ocn.ne.jp



# 知を求める全ての人々に。

丸善は大学・図書館・企業など、あらゆる分野の方々へ学習情報と課題解決に向けたソリューションのご提供により、教育・研究を支援するベストパートナーを目指します。

書籍・学術資料の提供、大学キャンパス・学校施設・公共施設・図書館等各種施設のデザイン・設計・施工、図書館運営、アウトソーシング

**M MARUZEN**

**丸善株式会社 福岡支店**

〒815-0031 福岡市南区清水 2-15-11

Tel : 092-561-1831 Fax : 092-561-1854

URL <http://www.maruzen.co.jp/top/>

札幌 / 仙台 / 関東 / 名古屋 / 金沢 / 京都 / 大阪 / 神戸 / 岡山 / 広島 / 福岡

九州大学基幹教育院

検索

QREC

検索

九州大学大学院芸術工学研究院

検索

九州大学大学院数理学府

検索

学校法人中村学園女子中学校

検索

Fusic Co.,Ltd.

検索

edubase

検索

matchask

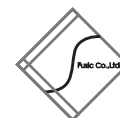
検索

九州大学大学院統合新領域学府

検索

QIR 九州大学学術情報リポジトリ

検索



Fusic Co., Ltd.

WEB システム・HP 開発実績



九州地区大学図書館協議会誌 第56号

平成26年3月発行

発行 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学附属図書館内  
九州地区大学図書館協議会

T E L (092) 642-2324

F A X (092) 642-2330

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>